

「第3期栗東市地域福祉計画」
策定に関する意識調査結果
報告書

平成29年3月

栗東市

目次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法	1
(3) 回収結果	1
(4) 報告書の見方について	1
2. 調査結果	2
1. 回答者の属性	2
2. 地域との関わりについて	5
3. 日常生活の課題について	36
4. ボランティア活動について	42
5. 災害への備えについて	53
6. 地域における福祉のあり方について	64
7. 福祉のまちづくりについて	69
3. 調査結果のまとめ	82
1. 近所との関係・地域について	82
2. 日常生活について	83
3. ボランティア活動について	83
4. 災害への備えについて	84
5. 福祉のまちづくりについて	85
4. 調査結果から見える課題	86
調査票	87

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

栗東市では、市民と関係機関、団体、行政が連携し、互いに支えあえる地域づくりに向けて、平成 19 年度に「栗東市地域福祉計画」を策定しました。平成 30 年度に 3 期計画を策定するにあたり、市民の福祉や地域づくりについての意識を問う意識調査を実施しました。

(2) 調査方法

- 調査対象：栗東市在住の 18 歳以上の市民 2,000 人を無作為抽出
- 調査方法：郵送による配布・回収
- 調査期間：平成 29 年 1 月 6 日～平成 29 年 1 月 23 日

(3) 回収結果

- 配布数：2,000 票
- 回収数：849 票
- 回収率：42.5%

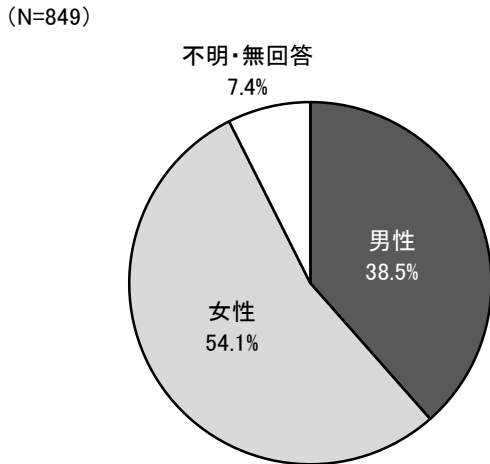
(4) 報告書の見方について

- 回答結果は、各項目の不明を含む有効サンプル数に対する百分比(%)で示し、百分比は小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを表示しています。そのため、単数回答(複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。
- 複数回答(複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの比率を示しています。そのため、合計が 100.0%をこえる場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものであります。
- 図表中の「N」は集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を示しています。
- グラフ、表中の選択肢は簡略化している場合があります。

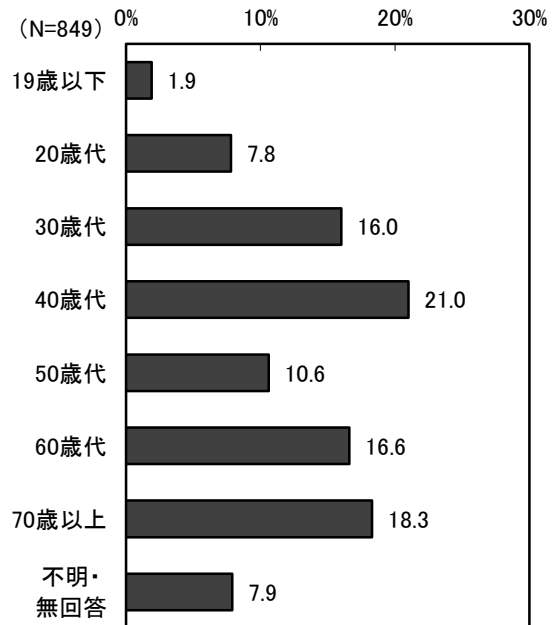
2. 調査結果

1. 回答者の属性

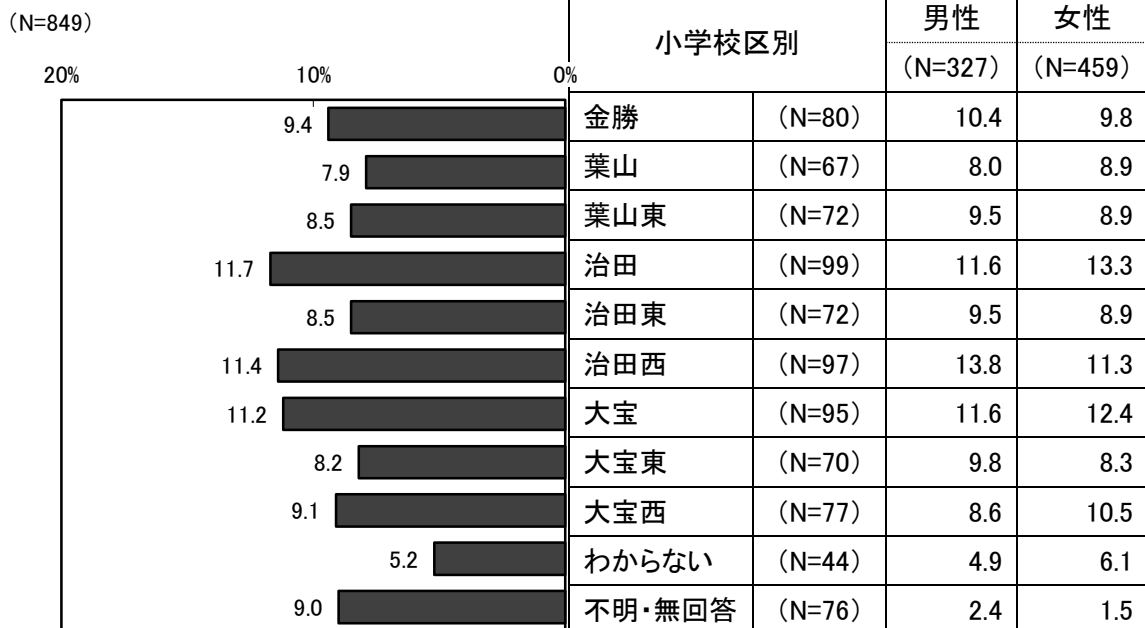
(F 1) あなたの性別 (単数回答)



(F 2) あなたの年齢 (単数回答)

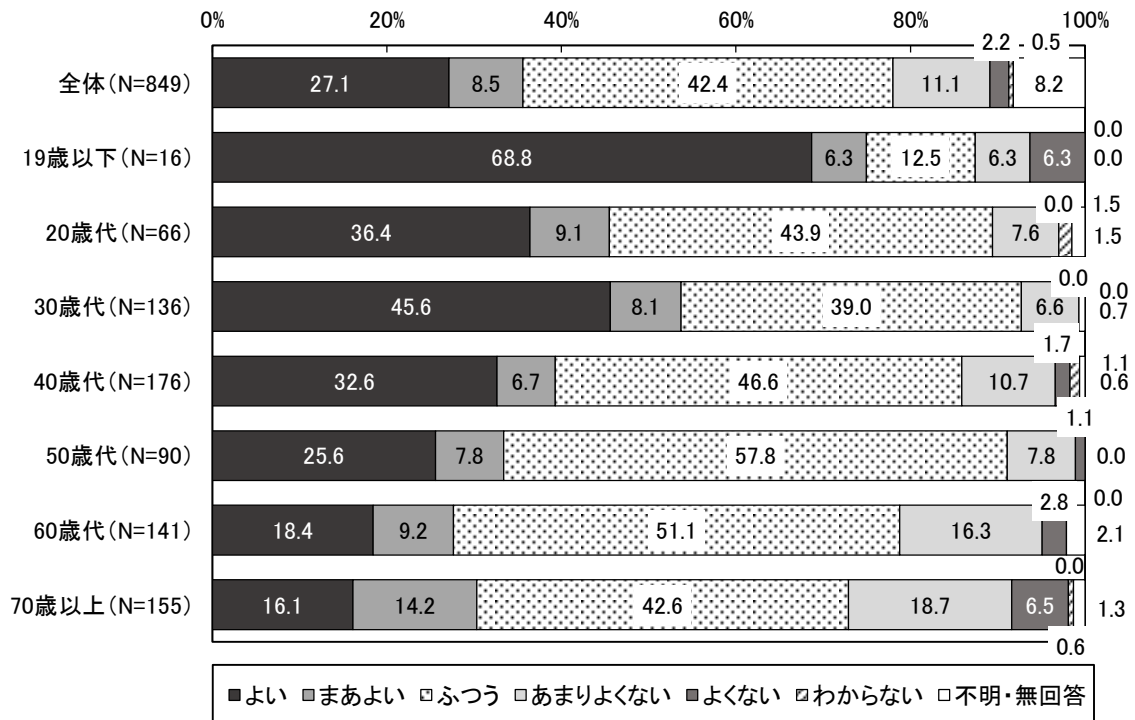


(F 3) お住まいの小校区 (単数回答)

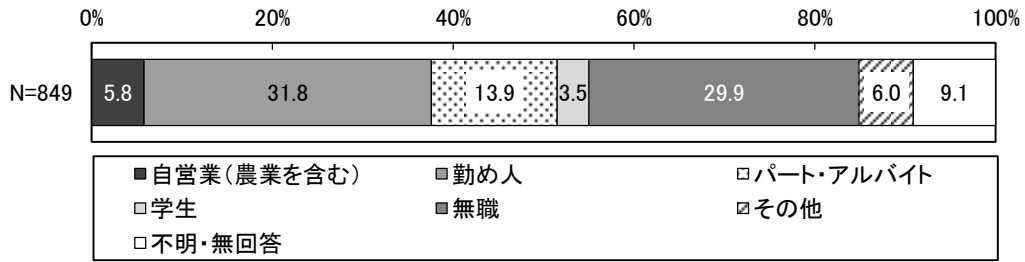


小学校区別		19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明・無回答
小学校区	金勝 (N=80)	2.5	3.8	15.0	16.3	11.3	27.5	23.8	0.0
	葉山 (N=67)	0.0	6.0	14.9	14.9	16.4	19.4	26.9	1.5
	葉山東 (N=72)	2.8	4.2	9.7	22.2	15.3	22.2	23.6	0.0
	治田 (N=99)	1.0	14.1	20.2	19.2	9.1	18.2	17.2	1.0
	治田東 (N=72)	1.4	6.9	11.1	18.1	11.1	22.2	29.2	0.0
	治田西 (N=97)	1.0	7.2	21.6	22.7	12.4	14.4	19.6	1.0
	大宝 (N=95)	5.3	6.3	14.7	28.4	13.7	15.8	13.7	2.1
	大宝東 (N=70)	2.9	7.1	22.9	40.0	7.1	7.1	12.9	0.0
	大宝西 (N=77)	2.6	5.2	14.3	22.1	14.3	22.1	19.5	0.0
	わからない (N=44)	0.0	31.8	29.5	27.3	0.0	6.8	4.5	0.0
	不明・無回答 (N=76)	0.0	1.3	5.3	1.3	1.3	2.6	6.6	81.6

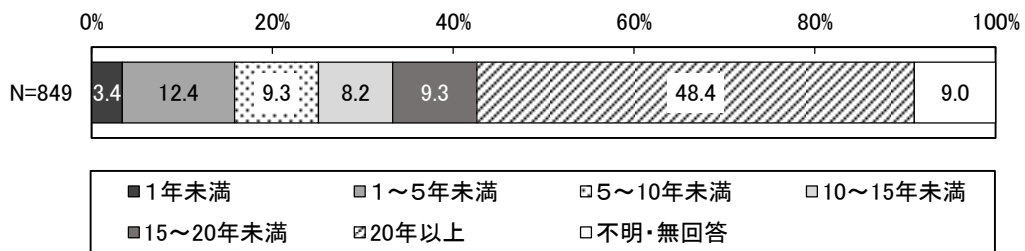
(F4) あなたの健康状態 (単数回答)



(F5) あなたの職業 (単数回答)

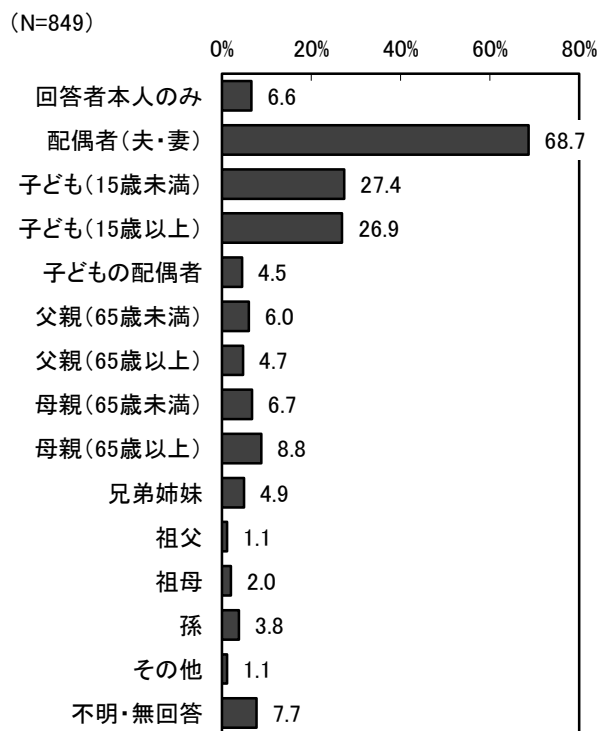


(F6) 栗東市での居住年数 (単数回答)

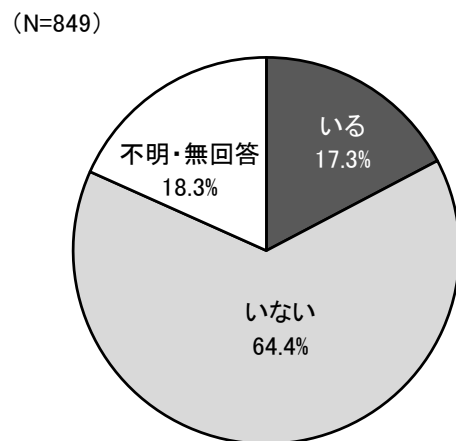


(F7) 一緒に暮らしている家族について

① 家族構成 (複数回答)



② 家族の中に高齢や障がいなどにより配慮が必要な人の有無 (単数回答)



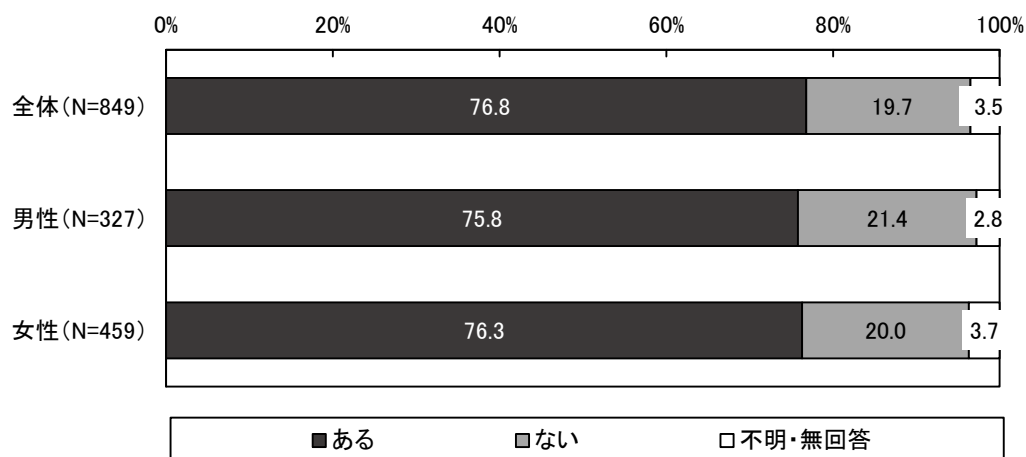
2. 地域との関わりについて

問1 あなたは地域の活動や行事に参加したことがありますか。(単数回答)

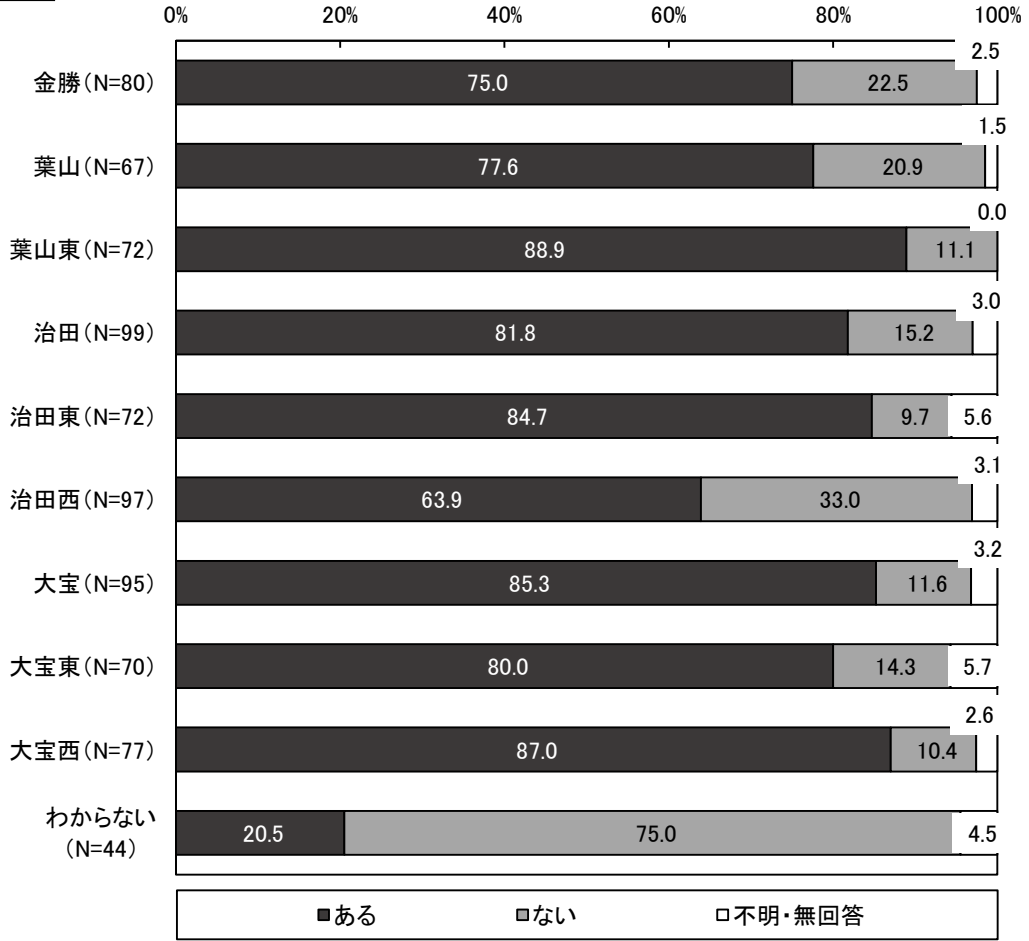
○地域の活動や行事に参加したことがあるかについては、「ある」が76.8%で、「ない」の19.7%を大きく上回っています。

○校區別にみると、参加したことがあるという割合は「葉山東」が88.9%と最も高く、次いで「大宝西」が87.0%となっています。参加したことがあるという回答が最も少ないのは「治田西」で、63.9%となっています。

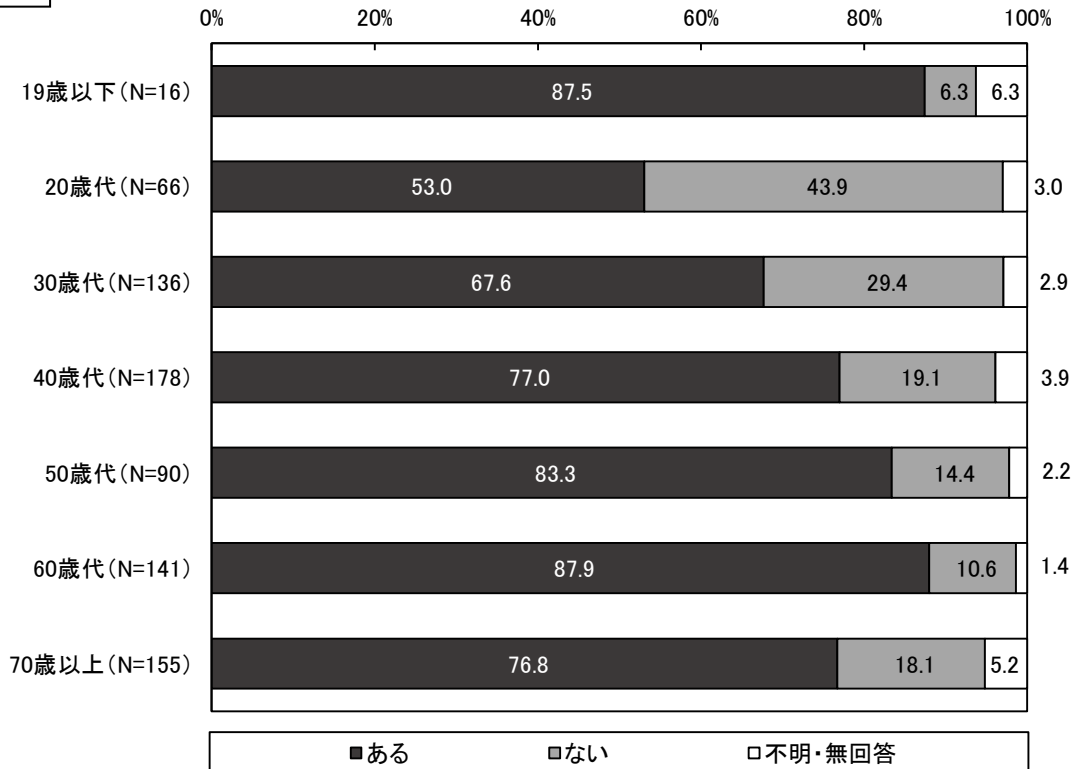
○年代別では、参加したことがあるという割合は60歳代が87.9%と最も高く、次いで19歳以下で87.5%となっています。参加したことがあるという割合が最も低いのは20歳代の53.0%で、参加したことがないという回答が43.9%となっています。



小学校区別

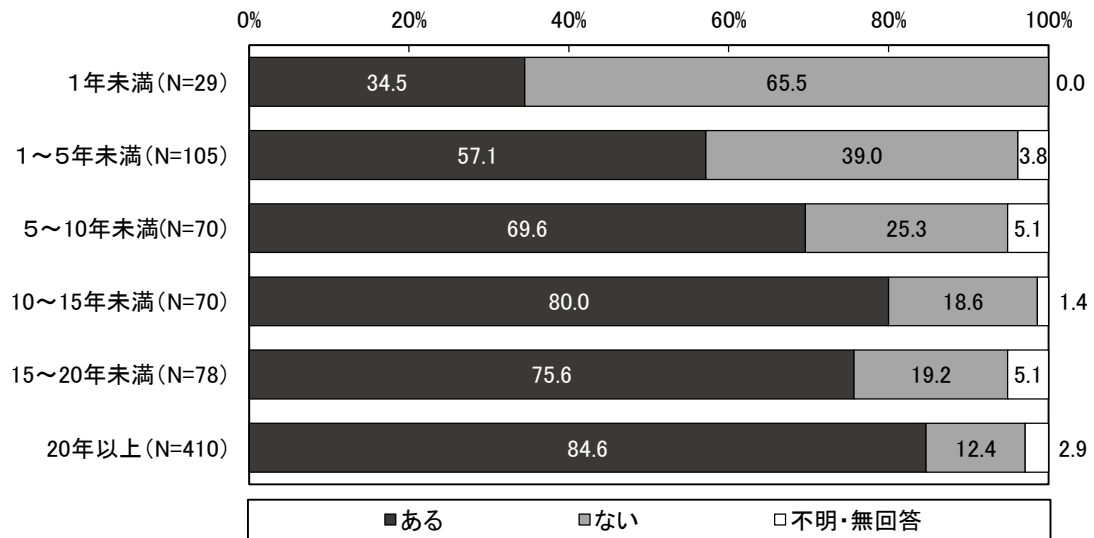


年代別



問1 地域の活動や行事の参加×居住年数（単数回答）

○地域の活動や行事に参加したことがあるという回答は、20年以上居住している方の84.6%が「ある」と回答し、居住年数が長い方ほど参加割合が高い傾向となっています。1年未満の方は、「ない」という回答が6割以上となっています。



問1で「1 ある」と回答した人

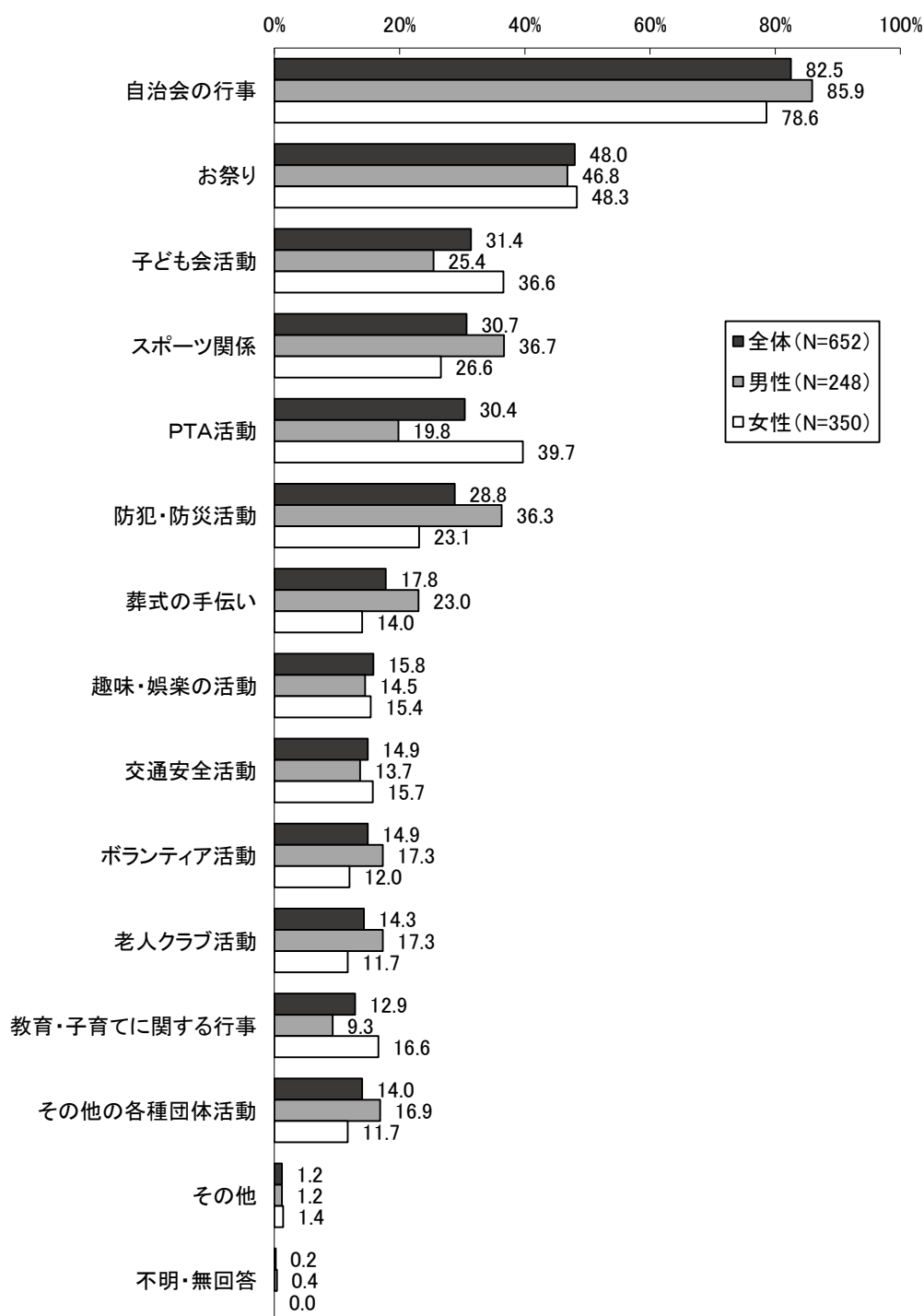
問 1-1 それは、どのような活動ですか。(複数回答)

○活動内容については、「自治会の行事」が82.5%と最も高く、次いで「お祭り」が48.0%、「子ども会活動」が31.4%となっています。

○男女別では、「自治会の行事」、「お祭り」が男女ともに高くなっていますが、「子ども会活動」や「PTA活動」では女性が、「スポーツ関係」や「防犯・防災活動」では男性が高くなっています。

○校区別では、「金勝」、「葉山」、「葉山東」、「治田」では「お祭り」が50%を超えています。

○年代別では、40歳代、50歳代で「PTA活動」や「子ども会活動」が高い割合を示しています。「防犯・防災活動」は50歳代で高くなっています。



小学校区別 年代別			自治会の 行事	老人ク ラブ活 動	子ど も会活 動	P T A 活 動	交 通安 全活 動	防 犯・ 防 災活 動	関 する 行 事・ 子 育 てに	ス ポ ー ツ 関 係	趣 味・ 娯 楽の 活 動
小 学 校 区	金勝	(N=60)	83.3	16.7	26.7	30.0	20.0	38.3	16.7	35.0	26.7
	葉山	(N=52)	82.7	28.8	34.6	26.9	13.5	19.2	9.6	32.7	17.3
	葉山東	(N=64)	81.3	21.9	34.4	31.3	23.4	39.1	18.8	32.8	20.3
	治田	(N=81)	80.2	6.2	38.3	32.1	12.3	25.9	13.6	25.9	16.0
	治田東	(N=61)	83.6	16.4	37.7	23.0	8.2	24.6	9.8	36.1	16.4
	治田西	(N=62)	82.3	16.1	38.7	32.3	14.5	27.4	12.9	24.2	11.3
	大宝	(N=81)	82.7	8.6	32.1	39.5	18.5	24.7	17.3	37.0	11.1
	大宝東	(N=56)	83.9	8.9	17.9	37.5	16.1	35.7	16.1	30.4	10.7
	大宝西	(N=67)	77.6	10.4	29.9	31.3	10.4	26.9	6.0	23.9	9.0
	わからない	(N=9)	66.7	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0
年 代	19歳以下	(N=14)	50.0	0.0	50.0	14.3	7.1	14.3	0.0	42.9	0.0
	20歳代	(N=35)	57.1	2.9	25.7	8.6	0.0	2.9	0.0	25.7	5.7
	30歳代	(N=92)	80.4	1.1	27.2	23.9	6.5	14.1	18.5	19.6	5.4
	40歳代	(N=137)	84.7	2.9	40.9	56.2	20.4	26.3	20.4	29.2	8.8
	50歳代	(N=75)	88.0	6.7	54.7	61.3	22.7	45.3	25.3	46.7	16.0
	60歳代	(N=124)	87.1	11.3	25.8	22.6	13.7	34.7	5.6	26.6	16.9
	70歳以上	(N=119)	80.7	48.7	16.8	7.6	16.0	33.6	6.7	34.5	31.9

		お 祭 り	葬 式 の 手 伝 い	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	団 体 の 他 の 各 種 活 動	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
小 学 校 区	金勝	50.0	36.7	23.3	25.0	1.7	0.0
	葉山	51.9	23.1	9.6	17.3	0.0	0.0
	葉山東	54.7	29.7	25.0	18.8	3.1	0.0
	治田	56.8	13.6	6.2	8.6	1.2	1.2
	治田東	47.5	19.7	18.0	19.7	0.0	0.0
	治田西	46.8	11.3	14.5	14.5	0.0	0.0
	大宝	37.0	9.9	14.8	7.4	1.2	0.0
	大宝東	41.1	14.3	12.5	8.9	1.8	0.0
	大宝西	43.3	10.4	9.0	7.5	3.0	0.0
	わからない	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
年 代	19歳以下	50.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
	20歳代	62.9	0.0	5.7	11.4	2.9	0.0
	30歳代	48.9	3.3	1.1	5.4	0.0	0.0
	40歳代	47.4	10.2	11.7	6.6	0.0	0.0
	50歳代	57.3	29.3	16.0	18.7	1.3	0.0
	60歳代	43.5	25.0	20.2	21.0	1.6	0.8
	70歳以上	38.7	30.3	22.7	20.2	3.4	0.0

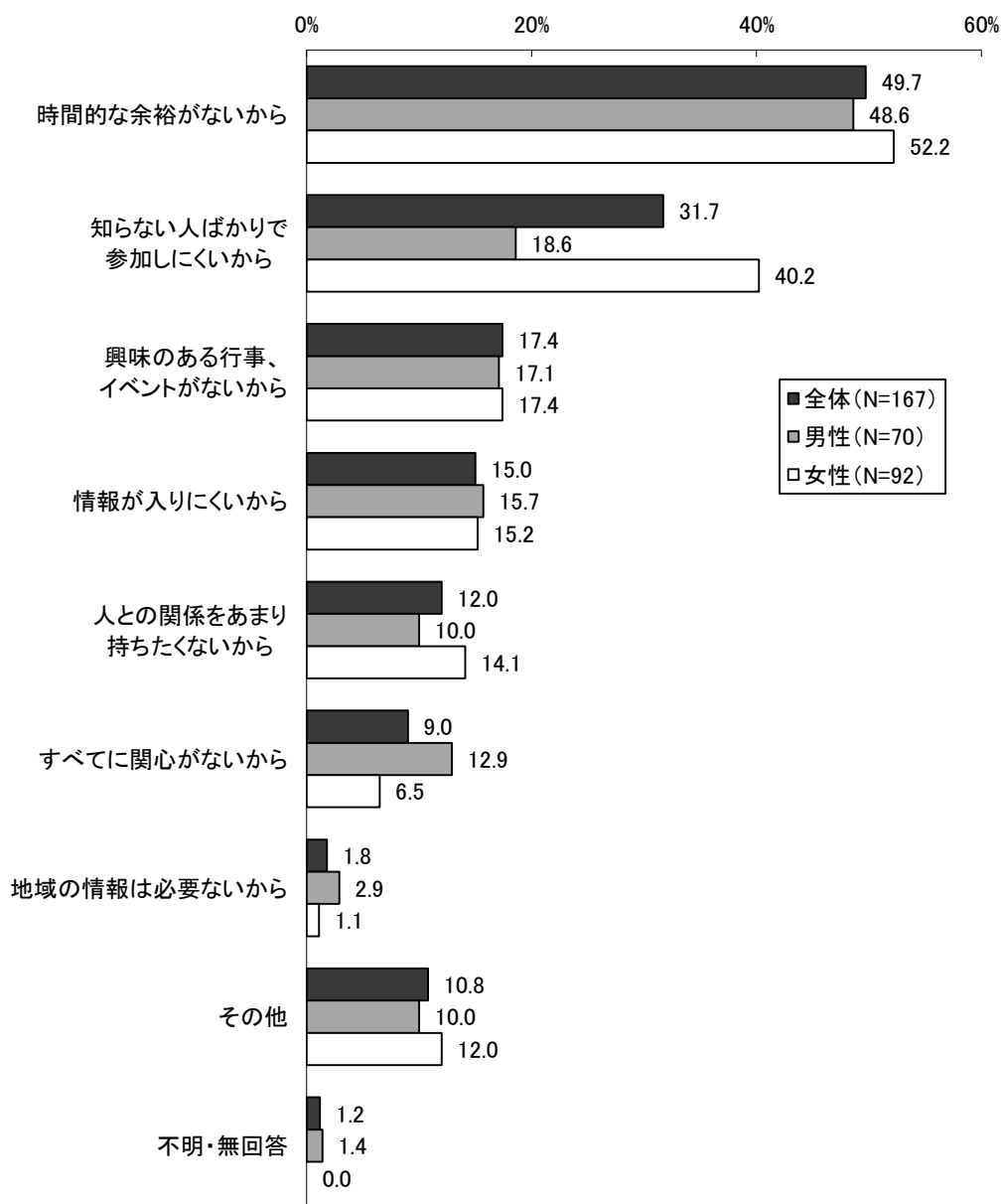
問1で「2 ない」と回答した人

問1-2 それは、どのような理由ですか。(複数回答)

○参加したことがない理由については、「時間的な余裕がないから」が49.7%と最も高く、次いで「知らない人ばかりで参加しにくいから」が31.7%、「興味のある行事、イベントがないから」が17.4%となっています。

○男女別では、女性は「知らない人ばかりで参加しにくいから」が40.2%と男性に比べて高い割合を示しています。

○年代別では、20～60歳代は「時間的な余裕がないから」が最も高くなっていますが、70歳以上では「すべてに関心がないから」、「人との関係をあまり持ちたくないから」の割合が高くなっています。



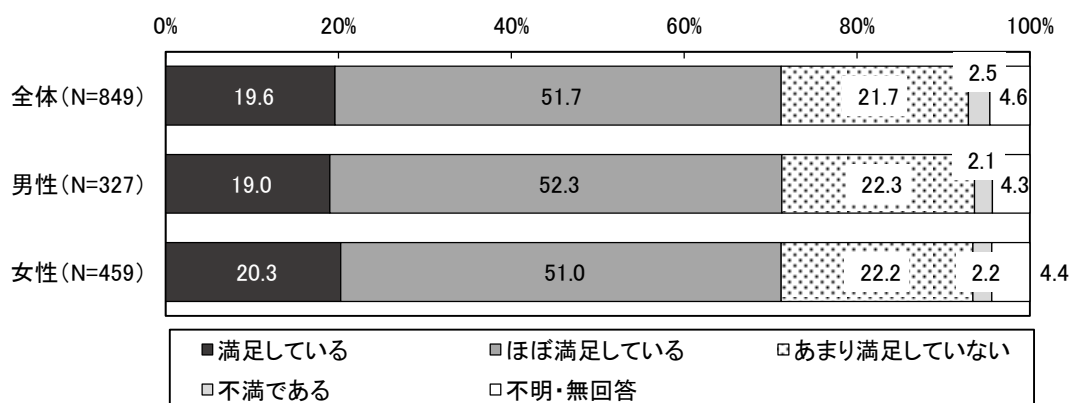
年代別			興味のある行事、 イベントがないから	人との関係をあまり 持ちたくないから	情報が入りにくいから	地域の情報は必要ないから	時間的な余裕がないから	知らない人ばかりで 参加しにくいから	すべてに関心がないから	その他	不明・無回答
年代	19歳以下	(N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	(N=29)	20.7	10.3	20.7	0.0	48.3	41.4	10.3	0.0	0.0
	30歳代	(N=40)	20.0	2.5	15.0	2.5	72.5	32.5	5.0	2.5	0.0
	40歳代	(N=34)	17.6	23.5	23.5	2.9	52.9	41.2	5.9	5.9	2.9
	50歳代	(N=13)	15.4	7.7	7.7	0.0	84.6	38.5	7.7	0.0	0.0
	60歳代	(N=15)	20.0	6.7	20.0	6.7	46.7	20.0	0.0	20.0	0.0
	70歳以上	(N=28)	7.1	21.4	3.6	0.0	3.6	10.7	25.0	42.9	0.0

問2 あなたは、今のご近所との付き合いに満足（普段から協力や助け合える関係が築けているなど）していますか。（単数回答）

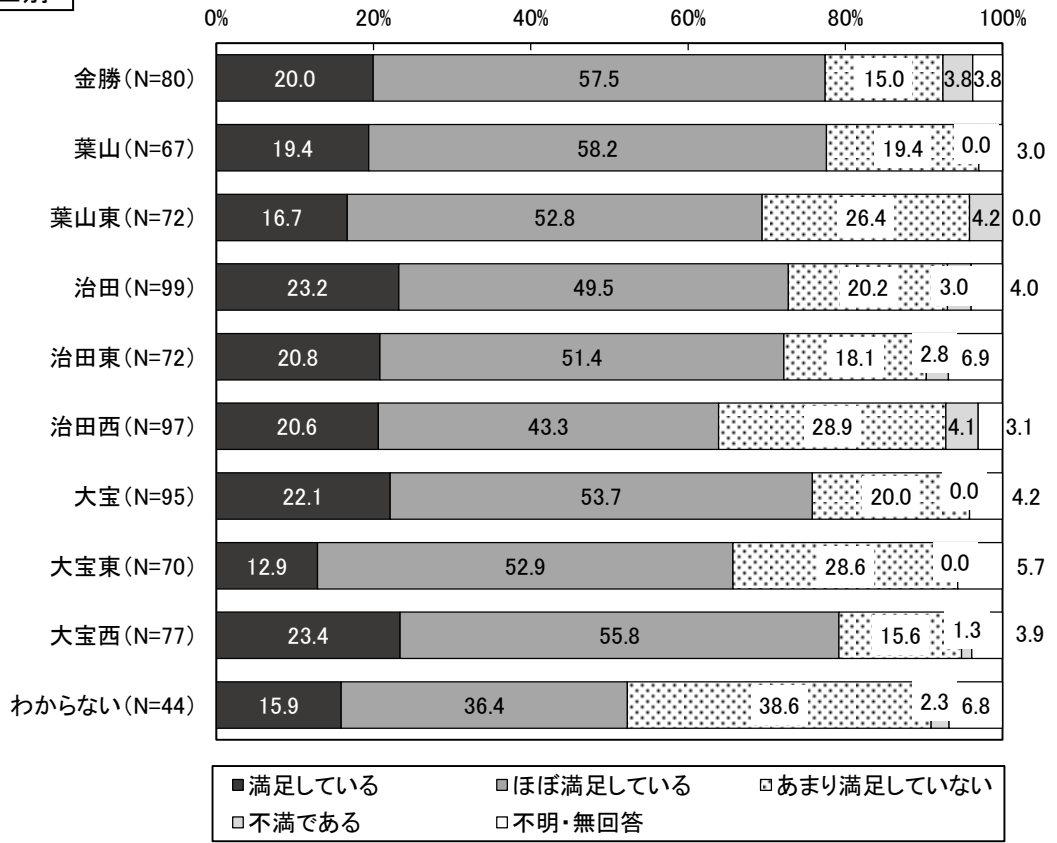
○ご近所付き合いについては、男女ともに「ほぼ満足している」を含めて70%以上が満足していると回答しています。

○校区別で、「ほぼ満足している」を含めて満足している割合をみると、「大宝西」が79.2%と最も高く、次いで「葉山」が77.6%となっています。満足している割合が低いのは、「治田西」の63.9%となっています。

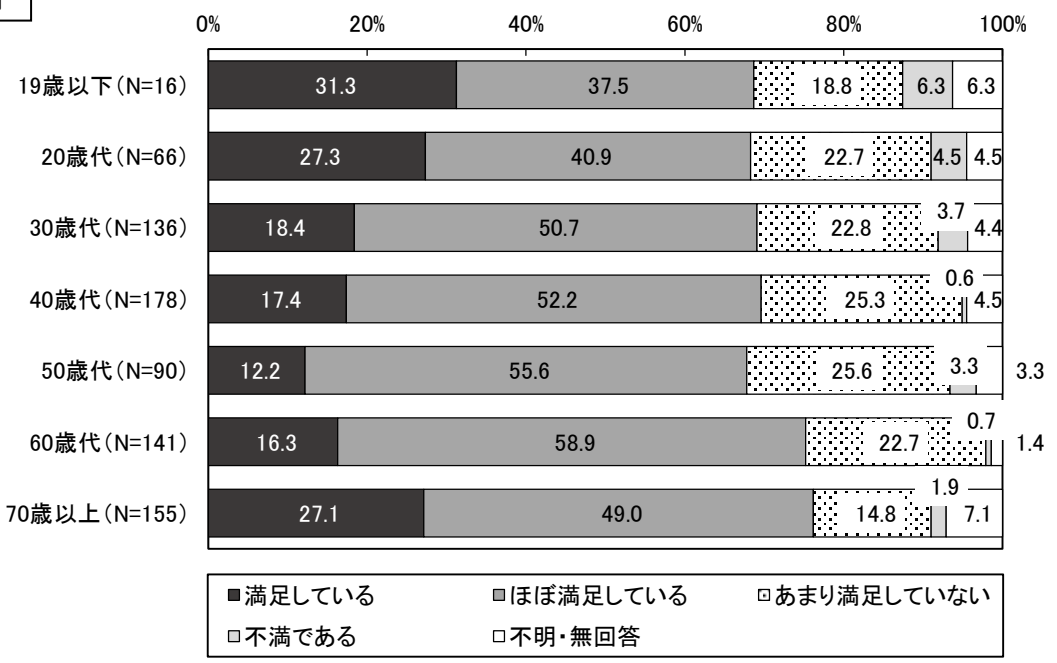
○年代別では、70歳以上は満足度が高くなっていますが、50歳代の割合はほかの年代に比べて低くなっています。



小学校区別



年代別

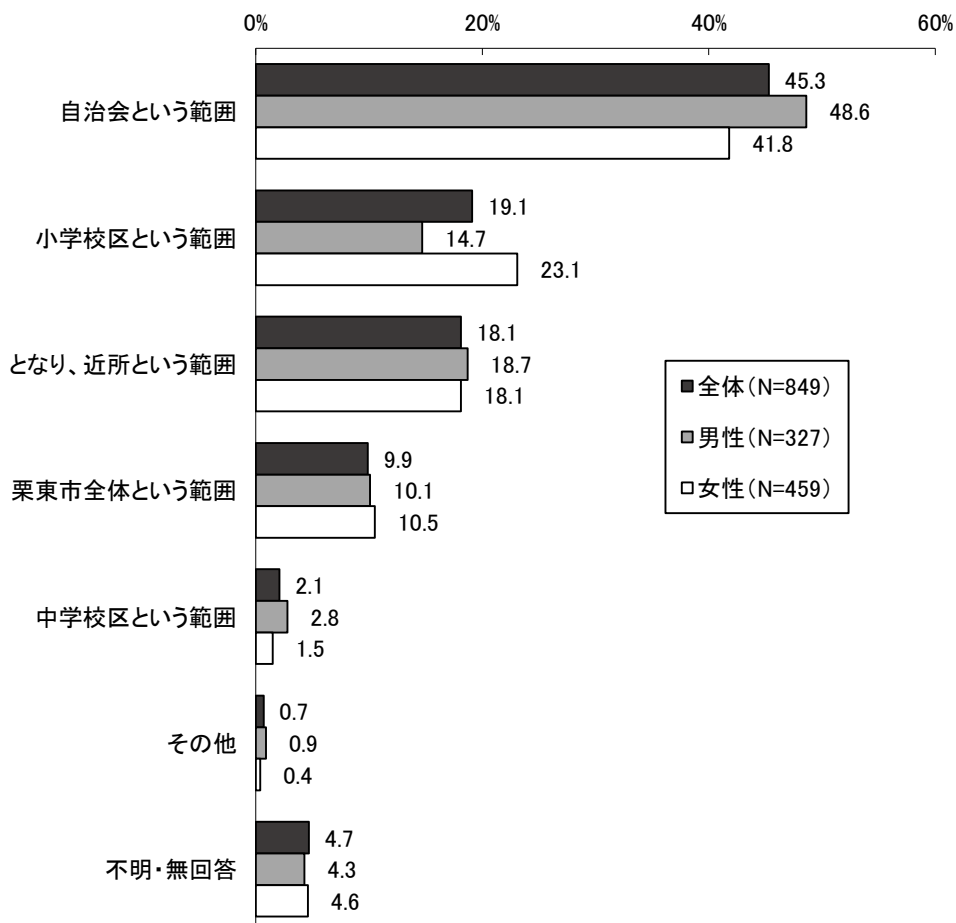


問3 あなたの考える「地域」の範囲をお答えください。(単数回答)

○あなたの考える「地域」の範囲については、「自治会という範囲」が45.3%と最も高く、次いで「小学校区という範囲」が19.1%、「となり、近所という範囲」が18.1%となっています。

○校區別でも、年代別でも「自治会という範囲」が最も高くなっていますが、「大宝東」では「小学校区という範囲」が同じ割合となっています。

○30歳代、40歳代では「小学校区という範囲」、70歳以上では「となり、近所という範囲」も高い割合となっています。



小学校区別 年代別		となり、 範囲、 近所	自治会 という 範囲	小学校区 という 範囲	中学校区 という 範囲	栗東市 という 範囲全体	その他	不明・無 回答
小学校区	金勝 (N=80)	16.3	48.8	22.5	0.0	10.0	0.0	2.5
	葉山 (N=67)	10.4	53.7	16.4	4.5	11.9	0.0	3.0
	葉山東 (N=72)	18.1	55.6	11.1	1.4	11.1	2.8	0.0
	治田 (N=99)	20.2	42.4	21.2	0.0	10.1	0.0	6.1
	治田東 (N=72)	13.9	52.8	16.7	1.4	9.7	0.0	5.6
	治田西 (N=97)	23.7	41.2	18.6	2.1	10.3	0.0	4.1
	大宝 (N=95)	18.9	33.7	21.1	5.3	15.8	0.0	5.3
	大宝東 (N=70)	7.1	38.6	38.6	2.9	7.1	0.0	5.7
	大宝西 (N=77)	24.7	39.0	19.5	2.6	7.8	2.6	3.9
	わからない (N=44)	25.0	52.3	9.1	0.0	6.8	2.3	4.5
年代	19歳以下 (N=16)	0.0	31.3	18.8	25.0	18.8	0.0	6.3
	20歳代 (N=66)	18.2	42.4	22.7	0.0	9.1	1.5	6.1
	30歳代 (N=136)	14.0	37.5	31.6	0.7	11.0	0.0	5.1
	40歳代 (N=178)	13.5	43.8	24.7	2.2	10.7	0.0	5.1
	50歳代 (N=90)	12.2	50.0	18.9	3.3	13.3	0.0	2.2
	60歳代 (N=141)	19.9	51.1	11.3	2.8	11.3	1.4	2.1
	70歳以上 (N=155)	31.6	45.2	10.3	0.0	5.8	1.3	5.8

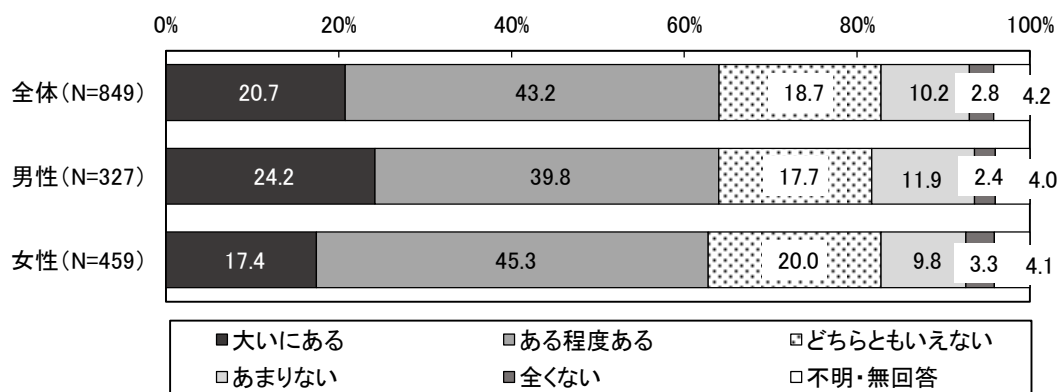
問4 あなたは、今住んでいる地域に愛着（住み続けたいと思うなど）がありますか。
（単数回答）

○地域への愛着度については、「大いに」と「ある程度」を合わせて60%以上が「愛着がある」と回答しています。

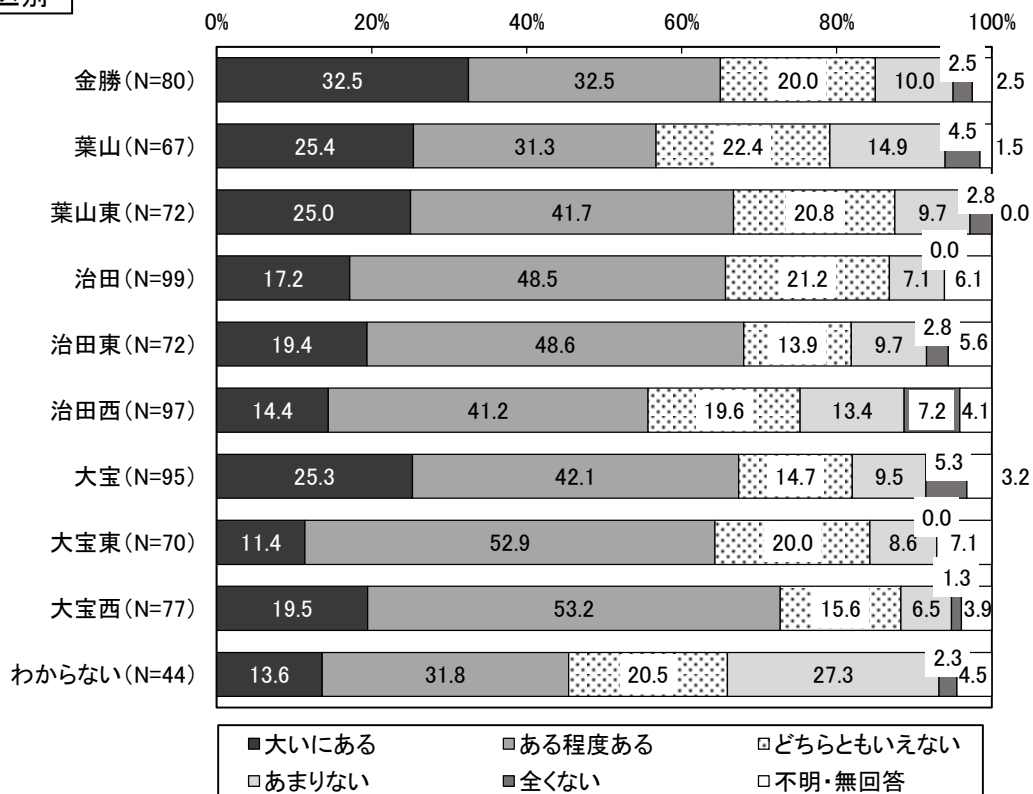
○「大いにある」という割合は、女性よりも男性のほうが高くなっています。

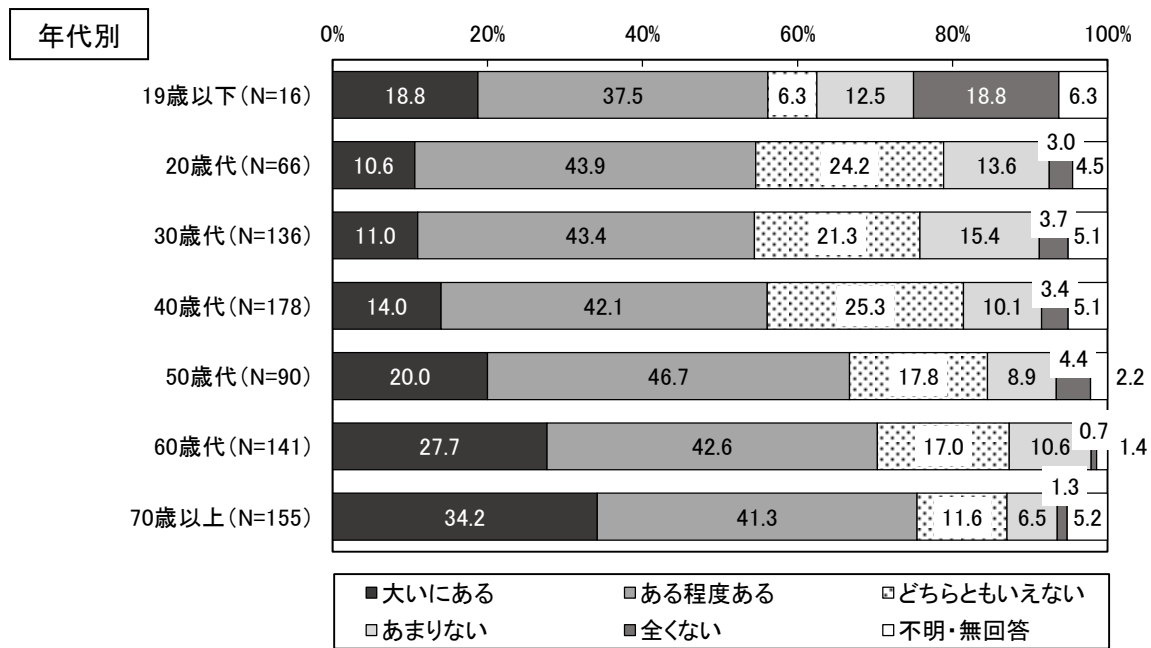
○「大いに」、「ある程度」を含めて「愛着がある」という回答は、校区别では、「大宝西」、「治田東」、「大宝」の順に高くなっています。

○「愛着がある」という回答は年代が上がるにつれて高く、20歳代が最も低くなっています。



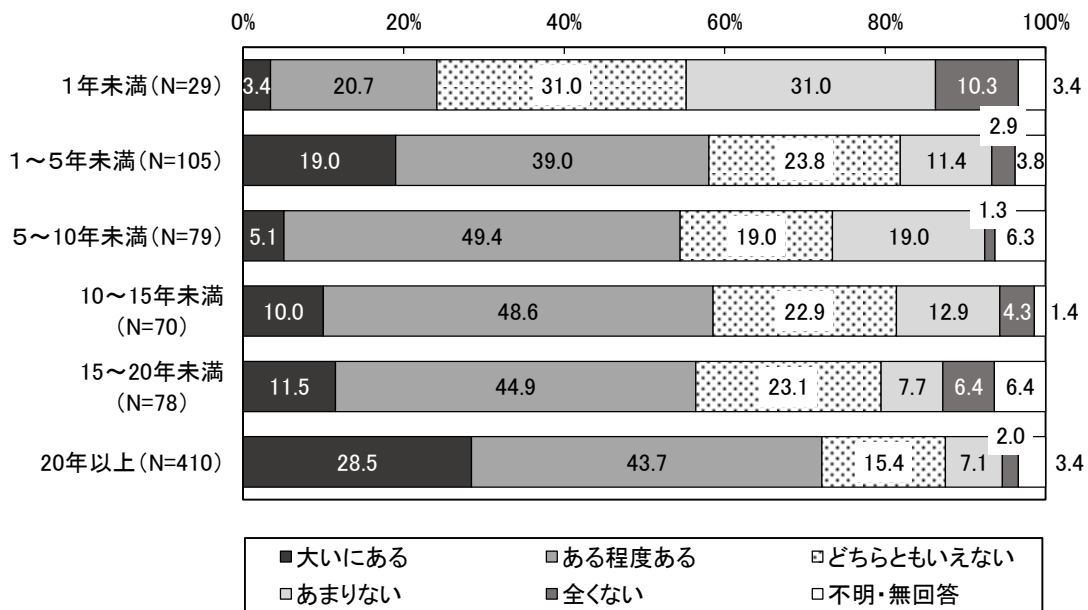
小学校区別





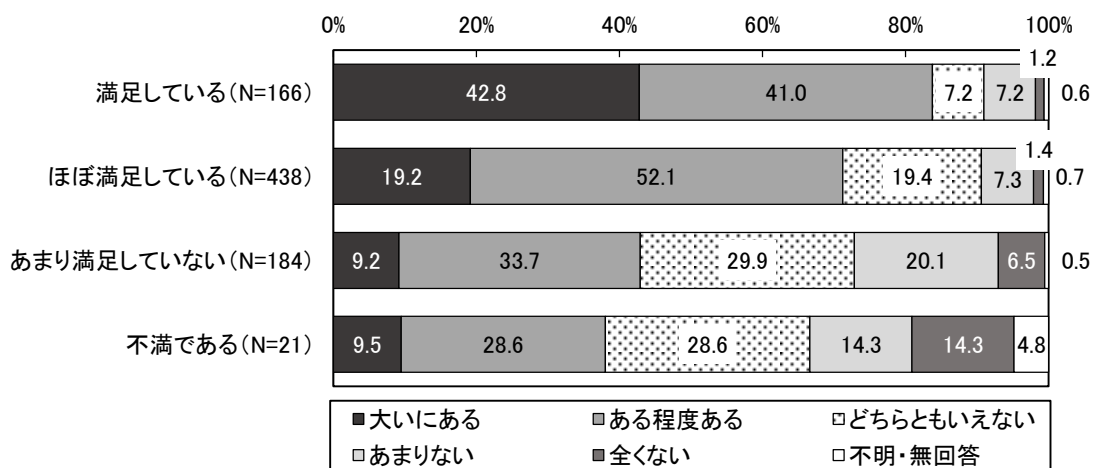
問4 地域への愛着×居住年数（単数回答）

○地域への愛着については、20年以上居住している方は、「大いに」、「ある程度」を合わせて7割以上が「ある」と回答しています。「あまりない」、「全くない」を合わせた割合が高いのは「5～10年未満」の20.3%で、「1～5年未満」よりも高い割合となっています。



問4 地域への愛着×近所付き合い（単数回答）

○地域への愛着について、ご近所との付き合いの満足度別にみると、「満足している」人は42.8%が「大いにある」と回答し、「ある程度ある」を合わせると8割以上が「満足している」と回答しています。ご近所付き合いに「あまり満足していない」、「不満である」と回答している人は、地域への愛着も、「あまりない」「全くない」の割合が高くなっています。



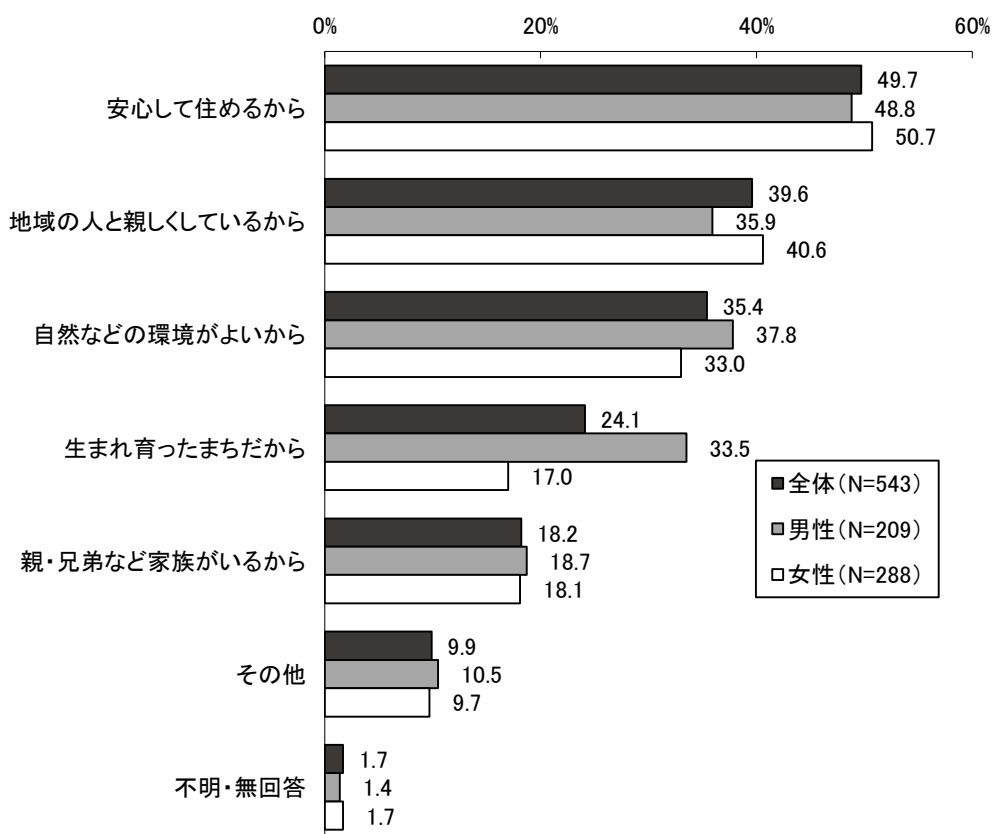
問4で「1 大いにある」「2 ある程度ある」と回答した人

問4-1 愛着があると感じるのはなぜですか。(複数回答)

○愛着がある理由については、「安心して住めるから」が49.7%と最も高く、次いで「地域の人と親しくしているから」が39.6%、「自然などの環境がよいから」が35.4%となっています。

○男性は、「生まれ育ったまちだから」の割合が女性の2倍近くになっています。女性は、「地域の人と親しくしているから」の割合が男性より高いのが目立ちます。

○ほとんどの校区で「安心して住めるから」が最も高くなっていますが、「葉山東」では「自然などの環境がよいから」が最も高くなっています。「治田東」では、「生まれ育ったまちだから」、「自然などの環境がよいから」が高くなっています。



小学校区別 年代別		だ か ら	生 ま れ 育 つ た ま ち	が 親 い る か ら	親 ・ 兄 弟 な ど 家 族	し て い る か ら	地 域 の 人 と 親 し く	よ い か ら	自 然 な ど の 環 境 が	住 め る か ら	安 心 し て	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
小 学 校 区	金勝	(N=52)	34.6	28.8	48.1	32.7	42.3	7.7	3.8				
	葉山	(N=38)	42.1	34.2	28.9	55.3	50.0	2.6	0.0				
	葉山東	(N=48)	33.3	22.9	43.8	45.8	43.8	4.2	2.1				
	治田	(N=65)	18.5	21.5	53.8	29.2	50.8	9.2	1.5				
	治田東	(N=49)	36.7	18.4	30.6	36.7	30.6	8.2	2.0				
	治田西	(N=54)	13.0	9.3	42.6	35.2	44.4	18.5	1.9				
	大宝	(N=64)	23.4	12.5	37.5	40.6	62.5	10.9	0.0				
	大宝東	(N=45)	17.8	11.1	22.2	28.9	68.9	6.7	0.0				
	大宝西	(N=56)	14.3	12.5	42.9	25.0	53.6	10.7	1.8				
	わからない	(N=20)	0.0	10.0	10.0	25.0	45.0	35.0	5.0				
年 代	19歳以下	(N=9)	44.4	33.3	33.3	22.2	55.6	11.1	0.0				
	20歳代	(N=36)	41.7	27.8	19.4	19.4	47.2	8.3	0.0				
	30歳代	(N=74)	21.6	23.0	35.1	23.0	41.9	16.2	0.0				
	40歳代	(N=100)	19.0	12.0	33.0	42.0	52.0	11.0	1.0				
	50歳代	(N=60)	25.0	13.3	30.0	36.7	53.3	11.7	3.3				
	60歳代	(N=99)	19.2	18.2	45.5	35.4	55.6	10.1	2.0				
	70歳以上	(N=117)	25.6	19.7	52.1	41.9	46.2	5.1	2.6				

問4で「3 どちらともいえない」「4 あまりない」「5 全くない」と回答した人

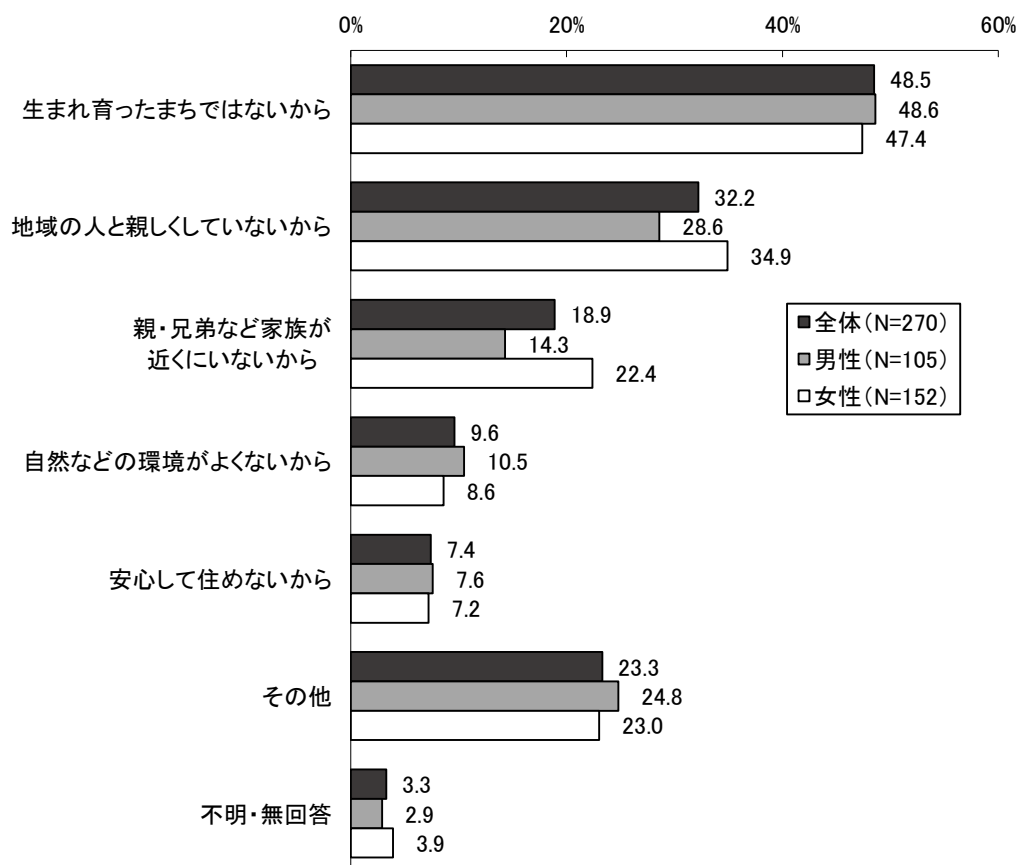
問4-2 愛着がない、どちらともいえないと感じるのはなぜですか。(複数回答)

○愛着がない、どちらともいえないと感じる理由は、「生まれ育ったまちではないから」が48.5%と最も高く、次いで「地域の人と親しくしていないから」が32.2%、「その他」が23.3%となっています。

○女性は、「地域の人と親しくしていないから」と「親・兄弟など家族が近くにいないから」が男性に比べて高くなっています。

○校區別でも、「生まれ育ったまちではないから」が最も高くなっていますが、「大宝東」では「地域の人と親しくしていないから」がほかの校区と比べて高い割合を示しています。

○年代別では、19歳以下と70歳以上で「地域の人と親しくしていないから」が最も高くなっています。



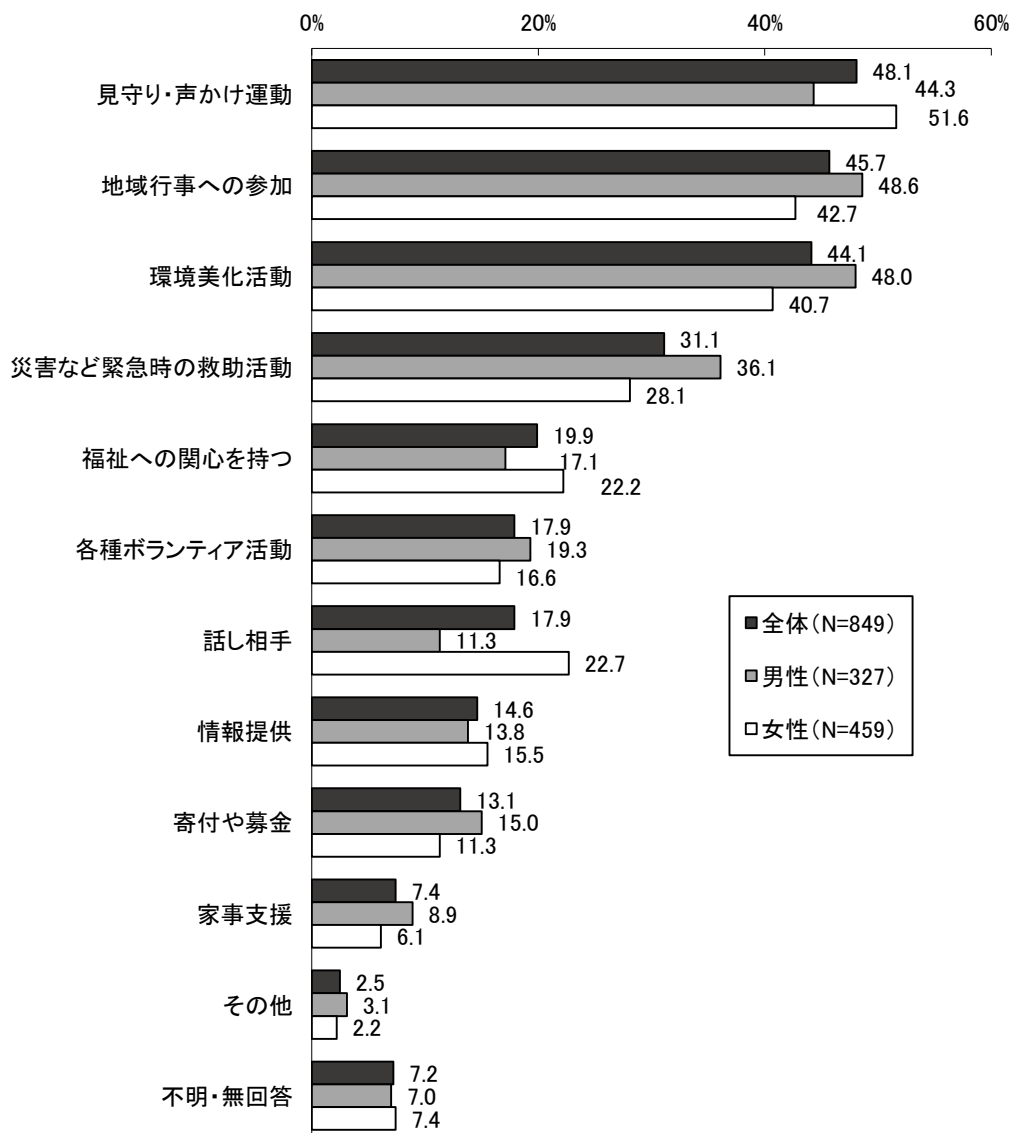
小学校区別 年代別		生ま れ育 つた まち	近 く・ 兄 弟 な ど 家 族 が	地 域 の 人 と 親 し く	よ く 自 然 な ど の 環 境 が	か ら 安 心 し て 住 め な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
小 学 校 区	金勝 (N=26)	34.6	19.2	30.8	15.4	7.7	30.8	7.7
	葉山 (N=28)	50.0	17.9	28.6	7.1	10.7	32.1	0.0
	葉山東 (N=24)	45.8	8.3	29.2	8.3	4.2	41.7	0.0
	治田 (N=28)	53.6	32.1	28.6	7.1	10.7	14.3	3.6
	治田東 (N=19)	42.1	10.5	21.1	10.5	15.8	21.1	5.3
	治田西 (N=39)	51.3	17.9	38.5	5.1	2.6	23.1	7.7
	大宝 (N=28)	50.0	25.0	39.3	10.7	7.1	21.4	0.0
	大宝東 (N=20)	55.0	10.0	45.0	10.0	5.0	15.0	0.0
	大宝西 (N=18)	33.3	11.1	22.2	11.1	0.0	33.3	5.6
	わからない (N=22)	54.5	27.3	27.3	13.6	9.1	13.6	0.0
年 代	19歳以下 (N=6)	0.0	0.0	50.0	0.0	16.7	33.3	0.0
	20歳代 (N=27)	40.7	25.9	29.6	3.7	3.7	25.9	3.7
	30歳代 (N=55)	67.3	23.6	32.7	16.4	7.3	21.8	0.0
	40歳代 (N=69)	49.3	21.7	30.4	5.8	4.3	30.4	1.4
	50歳代 (N=28)	57.1	21.4	35.7	0.0	10.7	28.6	3.6
	60歳代 (N=40)	40.0	10.0	22.5	12.5	7.5	25.0	5.0
	70歳以上 (N=30)	23.3	13.3	46.7	16.7	10.0	6.7	13.3

問5 地域住民が安心して暮らせるためにあなた自身ができると思われることは何ですか。(複数回答)

○地域住民が安心して暮らせるためにできることについては、「見守り・声かけ運動」が48.1%と最も高く、次いで「地域行事への参加」が45.7%、「環境美化活動」が44.1%となっています。

○男女別では、女性は「見守り・声かけ運動」が最も高くなっていますが、男性は「地域行事への参加」、「環境美化活動」が高くなっています。

○年代別では、50歳代以上で「地域行事への参加」が高くなっていますが、20～40歳代は「見守り・声かけ運動」が高くなっています。



小学校区別 年代別		見 守 り 運 動	環 境 美 化 活 動	災 害 な ど 緊 急 時 の 救 助 活 動	各 種 ホ ラ ン テ ィ ア 活 動	地 域 行 事 へ の 参 加	家 事 支 援	寄 付 や 募 金	話 し 相 手	福 祉 へ の 関 心 を 持 つ	情 報 提 供	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答	
小 学 校 区	金勝	(N=80)	52.5	57.5	30.0	21.3	47.5	10.0	17.5	21.3	30.0	11.3	1.3	5.0
	葉山	(N=67)	46.3	41.8	29.9	11.9	41.8	9.0	17.9	17.9	25.4	9.0	4.5	7.5
	葉山東	(N=72)	59.7	55.6	40.3	26.4	51.4	12.5	12.5	23.6	20.8	20.8	4.2	2.8
	治田	(N=99)	49.5	35.4	29.3	19.2	47.5	9.1	9.1	23.2	20.2	18.2	2.0	8.1
	治田東	(N=72)	43.1	44.4	30.6	23.6	54.2	1.4	18.1	11.1	18.1	8.3	2.8	6.9
	治田西	(N=97)	48.5	40.2	24.7	17.5	40.2	6.2	10.3	9.3	20.6	14.4	1.0	11.3
	大宝	(N=95)	54.7	44.2	34.7	16.8	42.1	7.4	8.4	18.9	16.8	17.9	2.1	4.2
	大宝東	(N=70)	44.3	55.7	45.7	21.4	44.3	8.6	10.0	21.4	21.4	15.7	4.3	5.7
	大宝西	(N=77)	46.8	37.7	27.3	10.4	53.2	5.2	13.0	15.6	15.6	6.5	1.3	9.1
	わからない	(N=44)	29.5	27.3	25.0	6.8	29.5	2.3	13.6	20.5	13.6	29.5	2.3	6.8
年 代	19歳以下	(N=16)	37.5	43.8	31.3	18.8	37.5	6.3	6.3	18.8	31.3	0.0	0.0	6.3
	20歳代	(N=66)	40.9	28.8	31.8	15.2	31.8	10.6	6.1	22.7	15.2	12.1	3.0	6.1
	30歳代	(N=136)	53.7	47.8	28.7	11.0	50.7	3.7	12.5	10.3	16.9	15.4	1.5	7.4
	40歳代	(N=178)	55.1	42.1	37.6	13.5	40.4	4.5	9.0	15.7	19.1	21.9	1.7	6.7
	50歳代	(N=90)	51.1	51.1	42.2	27.8	53.3	4.4	12.2	11.1	21.1	20.0	1.1	5.6
	60歳代	(N=141)	49.6	50.4	30.5	22.0	50.4	9.9	16.3	20.6	22.0	11.3	2.1	4.3
	70歳以上	(N=155)	37.4	38.7	21.3	20.0	43.2	11.0	18.7	25.8	21.9	7.7	5.8	12.3

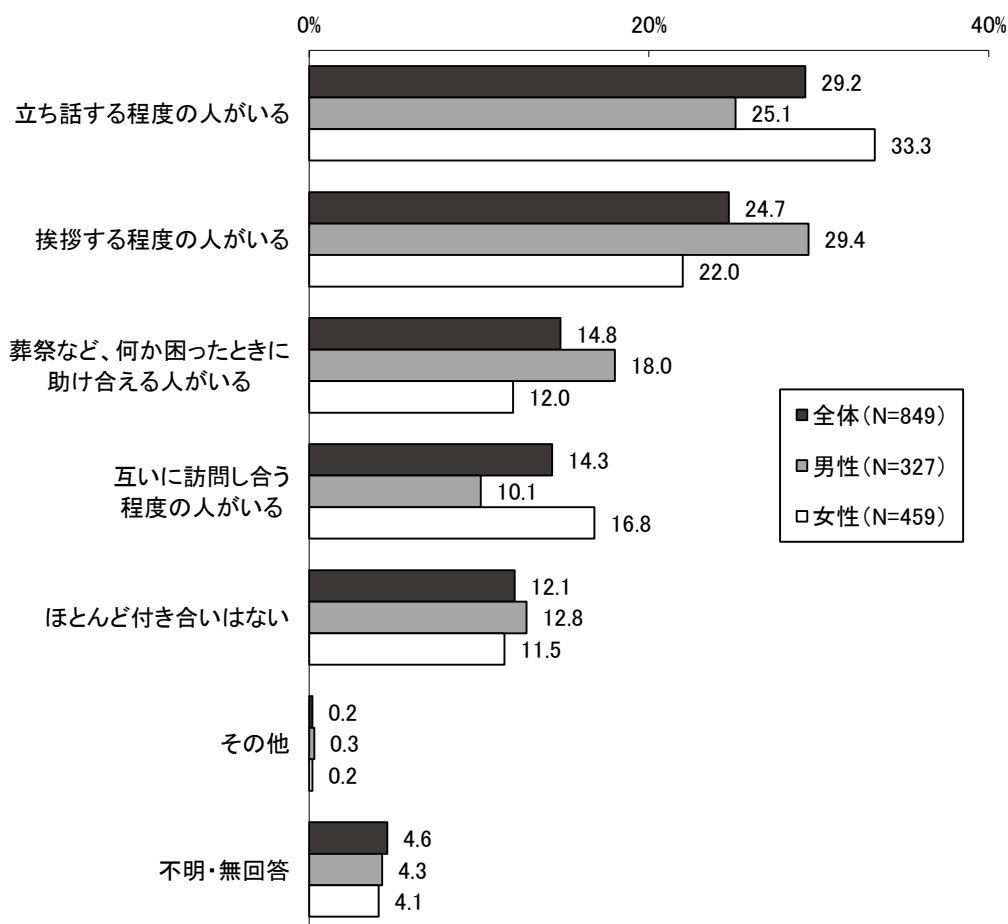
問6 あなたと、ご近所の人との関係はどれに近いですか。(複数回答)

○あなたとご近所の人との関係については、「立ち話する程度の人がいる」が29.2%と最も高く、次いで「挨拶する程度の人がいる」が24.7%と、近所との関係は希薄になっている状況がうかがえます。

○男性は、「挨拶する程度の人がいる」、「葬祭など、何か困ったときに助け合える人がある」の割合が女性に比べて目立って高くなっています。女性は、「立ち話する程度の人がいる」、「互いに訪問し合う程度の人がある」が男性に比べて高くなっています。

○ほとんどの校区では、「立ち話する程度の人がある」が最も高くなっていますが、「金勝」では「葬祭など、何か困ったときに助け合える人がある」が最も高くなっています。「治田東」、「大宝西」では、「葬祭など、何か困ったときに助け合える人がある」割合が10%を下回っています。

○年代別では、40歳代以上では「立ち話する程度の人がある」が高くなっていますが、30歳代以下では「挨拶する程度の人がある」が高くなっています。

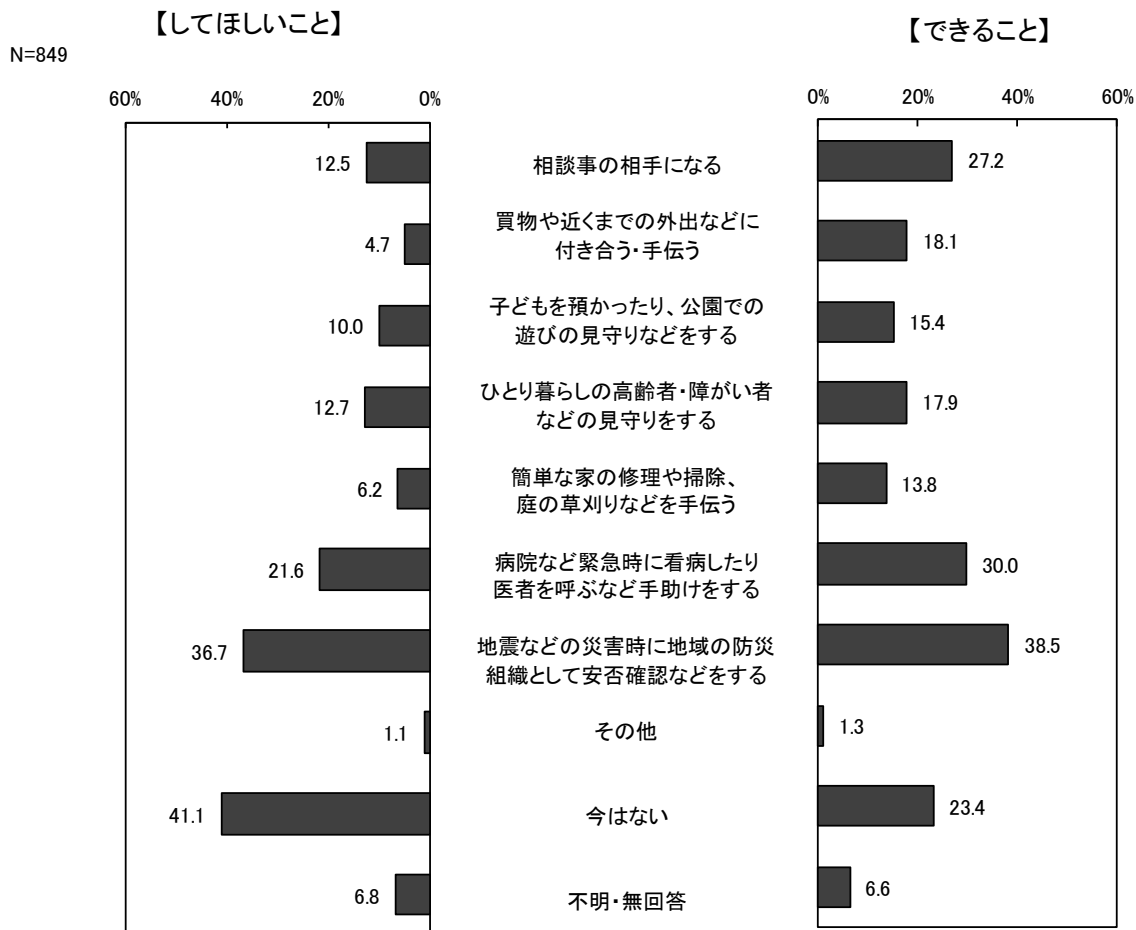


小学校区別 年代別			に 葬 祭 な ど、 何 か 困 っ た と き に 助 け 合 え る 人 が い る	互 い に 訪 問 し 合 う 程 度 の 人 が い る	立 ち 話 す る 程 度 の 人 が い る	挨 拶 す る 程 度 の 人 が い る	ほ と ん ど 付 き 合 い は な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
小 学 校 区	金勝	(N=80)	31.3	17.5	25.0	17.5	5.0	0.0	3.8
	葉山	(N=67)	20.9	11.9	26.9	25.4	11.9	0.0	3.0
	葉山東	(N=72)	25.0	16.7	26.4	19.4	8.3	1.4	2.8
	治田	(N=99)	13.1	13.1	41.4	17.2	12.1	0.0	3.0
	治田東	(N=72)	8.3	19.4	47.2	15.3	4.2	0.0	5.6
	治田西	(N=97)	11.3	10.3	18.6	32.0	22.7	0.0	5.2
	大宝	(N=95)	11.6	17.9	30.5	30.5	5.3	0.0	4.2
	大宝東	(N=70)	15.7	4.3	30.0	30.0	14.3	0.0	5.7
	大宝西	(N=77)	6.5	20.8	35.1	31.2	3.9	0.0	2.6
	わからない	(N=44)	0.0	4.5	6.8	34.1	47.7	2.3	4.5
年 代	19歳以下	(N=16)	6.3	18.8	18.8	37.5	12.5	0.0	6.3
	20歳代	(N=66)	4.5	9.1	7.6	47.0	27.3	0.0	4.5
	30歳代	(N=136)	8.1	7.4	24.3	35.3	21.3	0.0	3.7
	40歳代	(N=178)	8.4	11.8	36.5	23.6	14.0	1.1	4.5
	50歳代	(N=90)	17.8	10.0	36.7	24.4	8.9	0.0	2.2
	60歳代	(N=141)	19.9	15.6	37.6	19.9	4.3	0.0	2.8
	70歳以上	(N=155)	25.8	24.5	26.5	12.3	4.5	0.0	6.5

問7 あなたが隣近所で手助けしてほしいこと、また、手助けできることは何ですか。
(複数回答)

○隣近所で手助けしてほしいことについては、「今はない」が41.1%と最も高く、次いで「地震などの災害時に地域の防災組織として安否確認などをする」が36.7%となっています。

○手助けできることについては、「地震などの災害時に地域の防災組織として安否確認などをする」が38.5%と最も高く、次いで「病気など緊急時に看病したり医者を呼ぶなど手助けをする」が30.0%となっています。

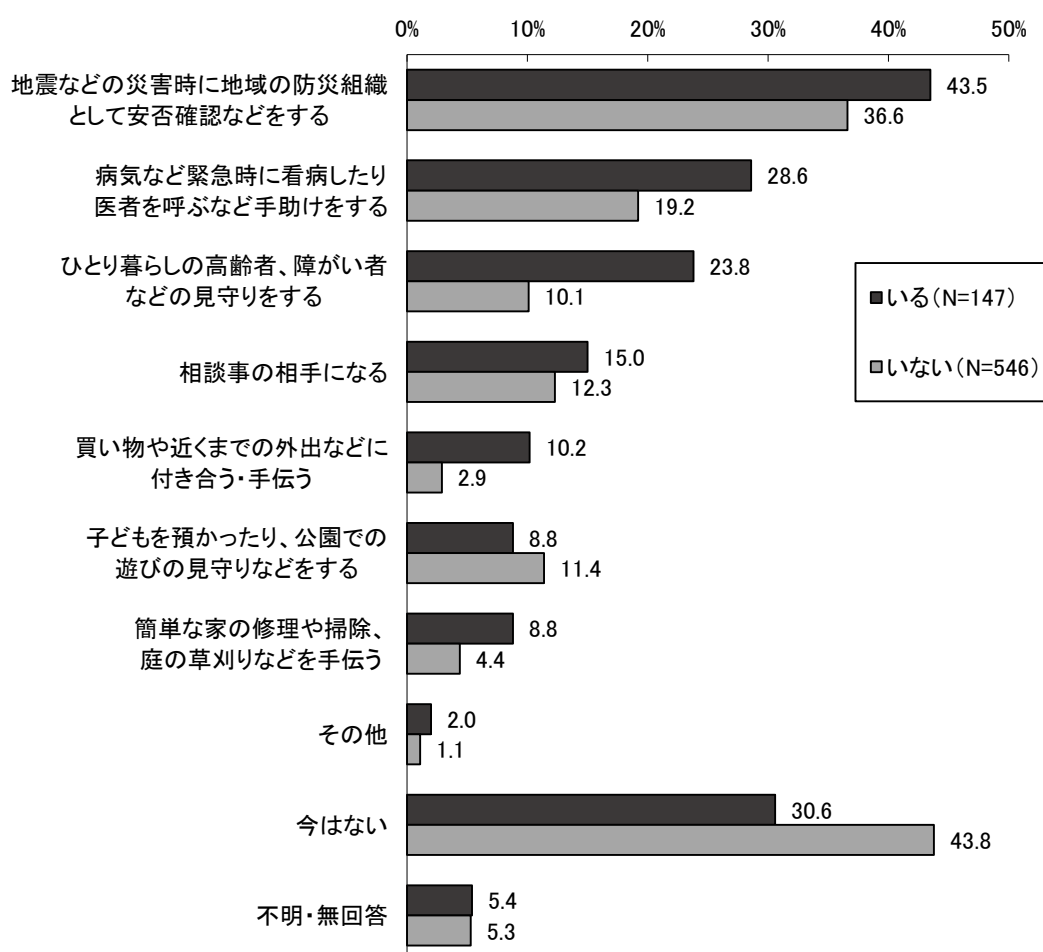


問7 隣近所で手助けしてほしいこと×家族に配慮が必要な人がいるか（複数回答）

○隣近所で手助けしてほしいことについては、家族に高齢や障がいなど配慮が必要な人が「いる」と回答したほうが、「いない」と回答した方より、ほとんどの項目で高くなっています。

○家族に高齢や障がいなどで配慮が必要な人がいると回答した方の中で、隣近所で手助けしてほしいことは「地震などの災害時に地域の防災組織として安否確認などをする」という回答が43.5%と最も高く、次いで「病気など緊急時に看病したり医者をお呼ぶなど手助けをする」が28.6%となっています。

○「今はない」という回答は、配慮が必要な方が「いる」と回答した方よりも、「いない」と回答した方のほうが、高い割合となっています。



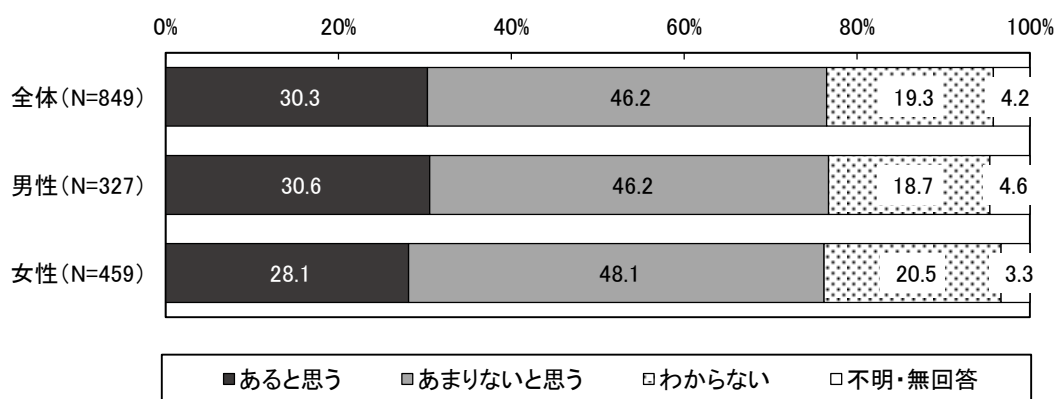
問8 あなたは、地域とのつながりがあると思いますか。(単数回答)

○地域のとつながりがあると思うかについては、「あまりないと思う」が 46.2%で、「あると思う」の 30.3%を上回っています。

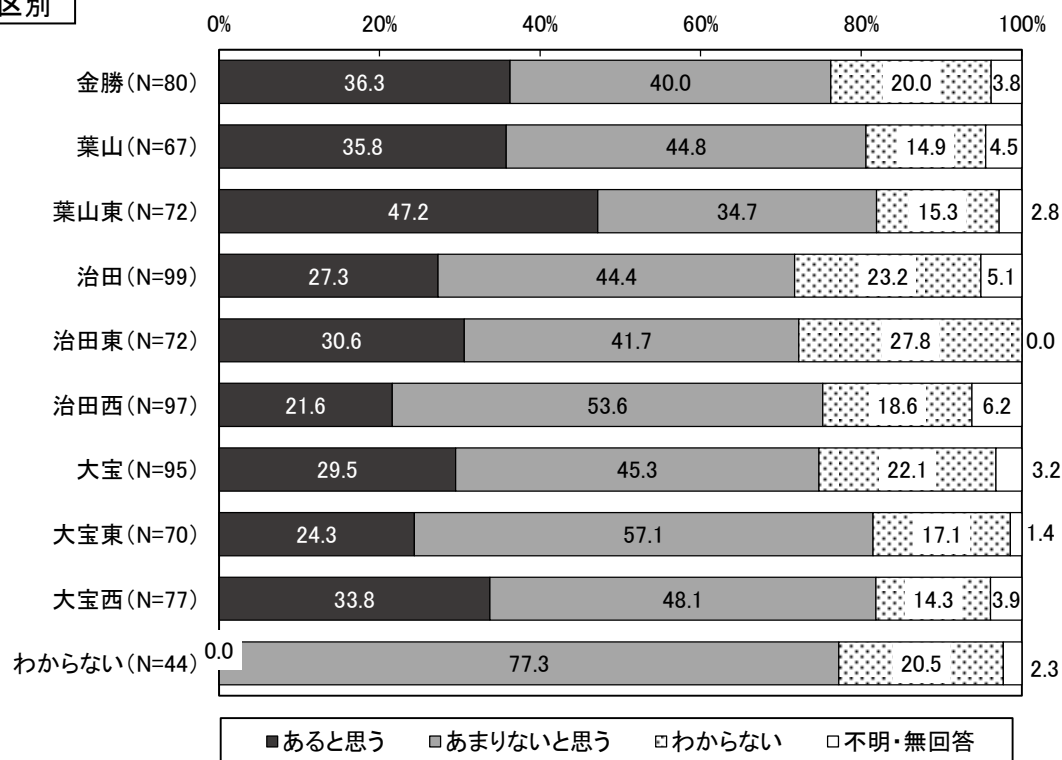
○「あると思う」という割合は、女性より男性のほうが高くなっています。

○校区别では、「あると思う」が「あまりないと思う」を上回っているのは「葉山東」だけで、そのほかは「あまりないと思う」のほうが高くなっています。

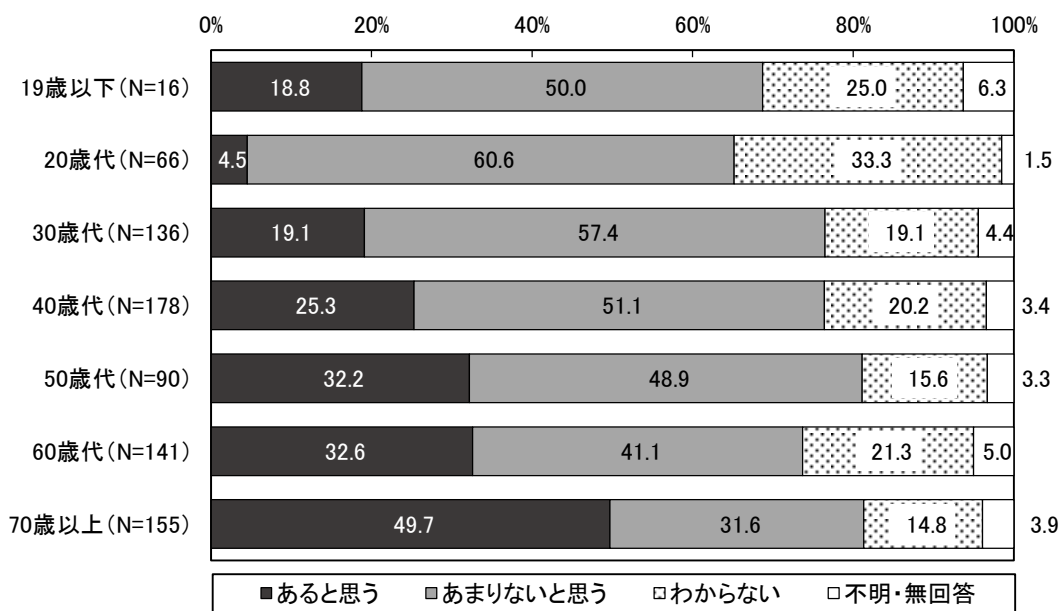
○年代別では、70 歳以上では「あると思う」が「あまりないと思う」を上回っていますが、そのほかの年代は「あまりないと思う」のほうが高くなっています。20 歳代では、「あると思う」が 4.5%と低くなっています。



小学校区別

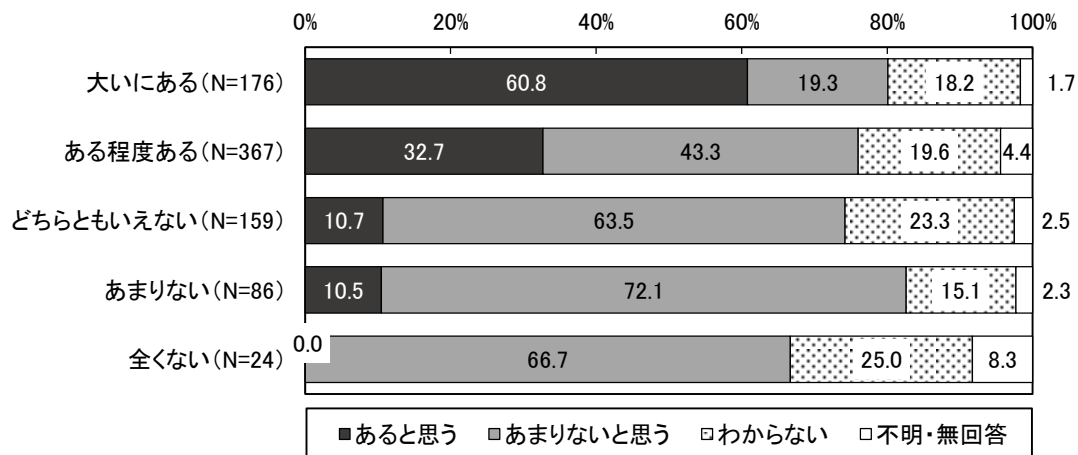


年代別



問8 地域とのつながり×地域への愛着（単数回答）

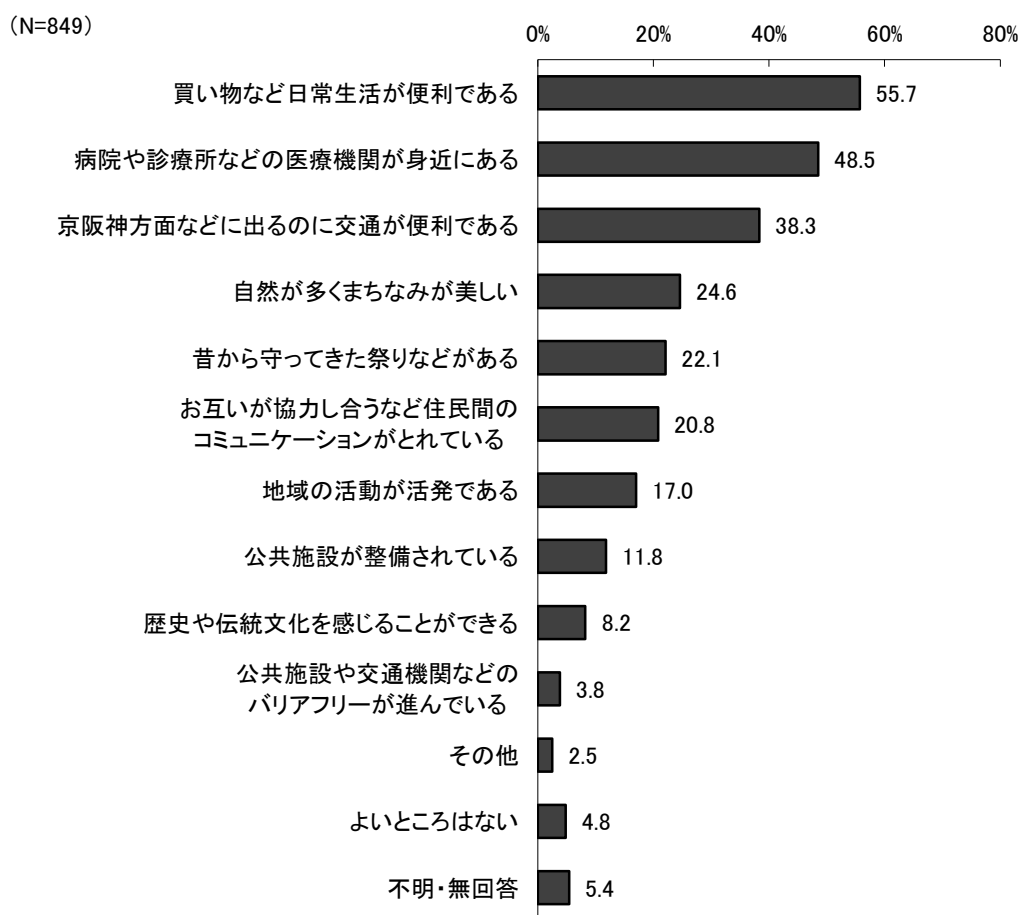
○地域とのつながりがあると思うかについては、地域への愛着が「大いにある」と回答した方の60.8%が「あると思う」と回答しています。しかし、「ある程度ある」と回答した方では、「あまりないと思う」が43.3%で、「あると思う」を上回っています。地域とのつながりが「全くない」と回答した方は、地域への愛着がある方はいない状況となっています。



問9 現在住んでいる地域のよいところはどんなところだと思いますか。(複数回答)

○現在住んでいる地域のよいところについては、「買い物など日常生活が便利である」が55.7%と最も高く、次いで「病院や診療所などの医療機関が身近にある」が48.5%、「京阪神方面などに出るのに交通が便利である」が38.3%となっています。

○校区別では、「治田」、「治田西」、「大宝」、「大宝東」、「大宝西」はいずれも「買い物など日常生活が便利である」の割合が高くなっています。「葉山」、「治田東」は、「病院や診療所などの医療機関が身近にある」が高く、「金勝」、「葉山東」は「自然が多くまちなみが美しい」が高くなっています。



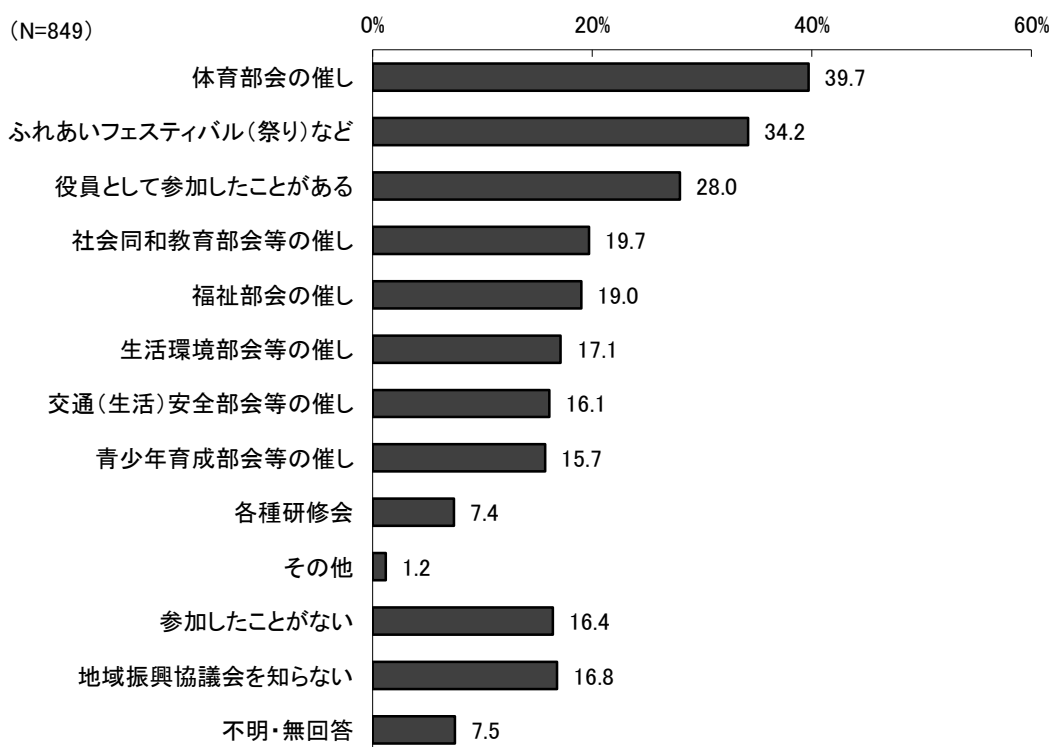
小学校区別		お互いの協力し合うなど 住民間のコミュニケーションがとれている	地域の活動が活発である	美しい自然が多くまちなみが	歴史や伝統文化を感じることが出来る	昔から守ってきた祭りなどがある	買い物など日常生活が便利である	公共施設が整備されている	京阪神方面などに出るのに交通が便利である
小学校区	金勝 (N=80)	31.3	16.3	43.8	11.3	33.8	20.0	8.8	13.8
	葉山 (N=67)	20.9	22.4	23.9	3.0	32.8	44.8	7.5	26.9
	葉山東 (N=72)	30.6	33.3	37.5	19.4	33.3	30.6	6.9	31.9
	治田 (N=99)	25.3	17.2	19.2	14.1	31.3	70.7	8.1	39.4
	治田東 (N=72)	16.7	16.7	33.3	8.3	23.6	38.9	15.3	26.4
	治田西 (N=97)	22.7	20.6	14.4	4.1	19.6	55.7	7.2	41.2
	大宝 (N=95)	16.8	15.8	23.2	8.4	17.9	81.1	17.9	61.1
	大宝東 (N=70)	14.3	10.0	28.6	8.6	7.1	81.4	31.4	55.7
	大宝西 (N=77)	23.4	14.3	9.1	1.3	11.7	64.9	6.5	44.2
	わからない (N=44)	4.5	2.3	20.5	0.0	6.8	54.5	9.1	29.5

		公共施設や交通機関など バリアフリーが進んでいる	病院や診療所などの 医療機関が身近にある	その他	よいところはない	不明・無回答
小学校区	金勝	0.0	42.5	1.3	5.0	6.3
	葉山	1.5	56.7	0.0	10.4	4.5
	葉山東	4.2	38.9	5.6	6.9	2.8
	治田	2.0	43.4	1.0	3.0	4.0
	治田東	5.6	44.4	5.6	9.7	4.2
	治田西	3.1	39.2	3.1	5.2	4.1
	大宝	3.2	56.8	2.1	1.1	5.3
	大宝東	11.4	74.3	0.0	0.0	1.4
	大宝西	2.6	51.9	2.6	1.3	6.5
	わからない	4.5	38.6	6.8	11.4	6.8

問 10 小学校区ごとの地域振興協議会で取り組んでいる地域活動に参加されたことがありますか。(複数回答)

○地域振興協議会で取り組んでいる地域活動への参加については、「体育部会の催し」が39.7%と最も高く、次いで「ふれあいフェスティバル(祭り)など」が34.2%、「役員として参加したことがある」が28.0%となっています。

○校區別では、ほとんどの校区で「体育部会の催し」が最も高くなっています。「葉山」では、「ふれあいフェスティバル(祭り)など」が高くなっています。



役員として参加(参画)したことがある

学区運動会・球技大会など体育部会の催し

学区敬老会や福祉に関する講演会・ボランティア活動など、福祉部会等の催し

生活環境美化活動やごみの減量化に関する研修など、生活環境部会等の催し

交通安全や防災・防犯など、交通(生活)安全部会等の催し

人権・同和問題講演会など、社会同和教育部会等の催し

子育て講演会やこども110番・パトロールなど、青少年育成部会等の催し

各学区コミュニティセンターを主会場に催されるふれあいフェスティバル(祭り)など

男女共同参画セミナーや手づくり講座など各種研修会

さまざまな催しがあることは知っているが、参加したことがない

地域振興協議会を知らない

小学校区別		役員として参加（参画）したことがある	学区運動会・球技大会など体育部会の催し	学区敬老会や福祉に関する催し	講演会・ボランティア活動など、福祉部会等の催し	生活環境美化活動やごみの減量化に関する研修など、生活環境部会等の催し	交通安全や防災・防犯など、交通安全（生活）安全部会等の催し	人権・同和問題講演会など、社会同和教育部会等の催し	子育て講演会やこども1110番部会等の催し
小学校区	金勝	(N=80)	28.8	28.8	22.5	26.3	21.3	17.5	17.5
	葉山	(N=67)	31.3	28.4	20.9	11.9	16.4	25.4	17.9
	葉山東	(N=72)	38.9	47.2	23.6	18.1	19.4	23.6	22.2
	治田	(N=99)	20.2	42.4	17.2	15.2	11.1	13.1	12.1
	治田東	(N=72)	40.3	54.2	29.2	16.7	12.5	23.6	12.5
	治田西	(N=97)	25.8	33.0	19.6	19.6	15.5	17.5	11.3
	大宝	(N=95)	26.3	52.6	18.9	15.8	17.9	21.1	16.8
	大宝東	(N=70)	32.9	44.3	11.4	24.3	24.3	15.7	21.4
	大宝西	(N=77)	27.3	45.5	18.2	16.9	18.2	26.0	22.1
	わからない	(N=44)	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	4.5	2.3

		各学区コミュニティセンターなど	男女共同参画セミナーや各種研修会	その他	さまざまな催しがあることは知らない	地域振興協議会を知らない	不明・無回答
小学校区	金勝	26.3	10.0	0.0	12.5	17.5	12.5
	葉山	38.8	11.9	3.0	19.4	14.9	7.5
	葉山東	43.1	8.3	1.4	11.1	9.7	8.3
	治田	28.3	6.1	1.0	18.2	16.2	6.1
	治田東	34.7	9.7	1.4	15.3	6.9	4.2
	治田西	30.9	5.2	1.0	23.7	25.8	6.2
	大宝	41.1	7.4	0.0	12.6	12.6	6.3
	大宝東	41.4	4.3	0.0	20.0	11.4	2.9
	大宝西	41.6	11.7	3.9	9.1	11.7	6.5
	わからない	4.5	2.3	0.0	25.0	63.6	4.5

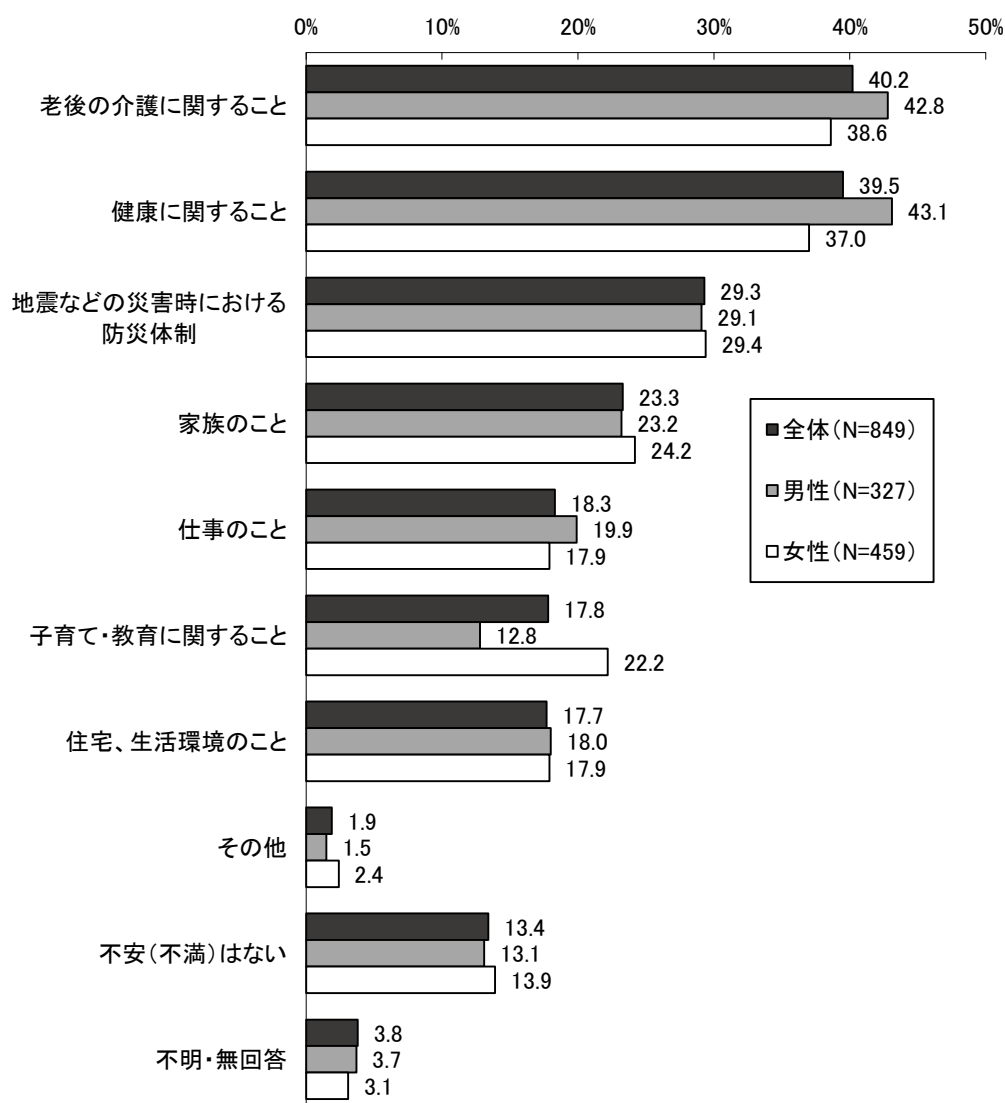
3. 日常生活の課題について

問 11 自分自身のことで不安（不満）に思っていることは何ですか。（複数回答）

○現在不安（不満）に思っていることについては、「老後の介護に関すること」が40.2%と最も高く、次いで「健康に関すること」が39.5%、「地震などの災害時における防災体制」が29.3%となっています。

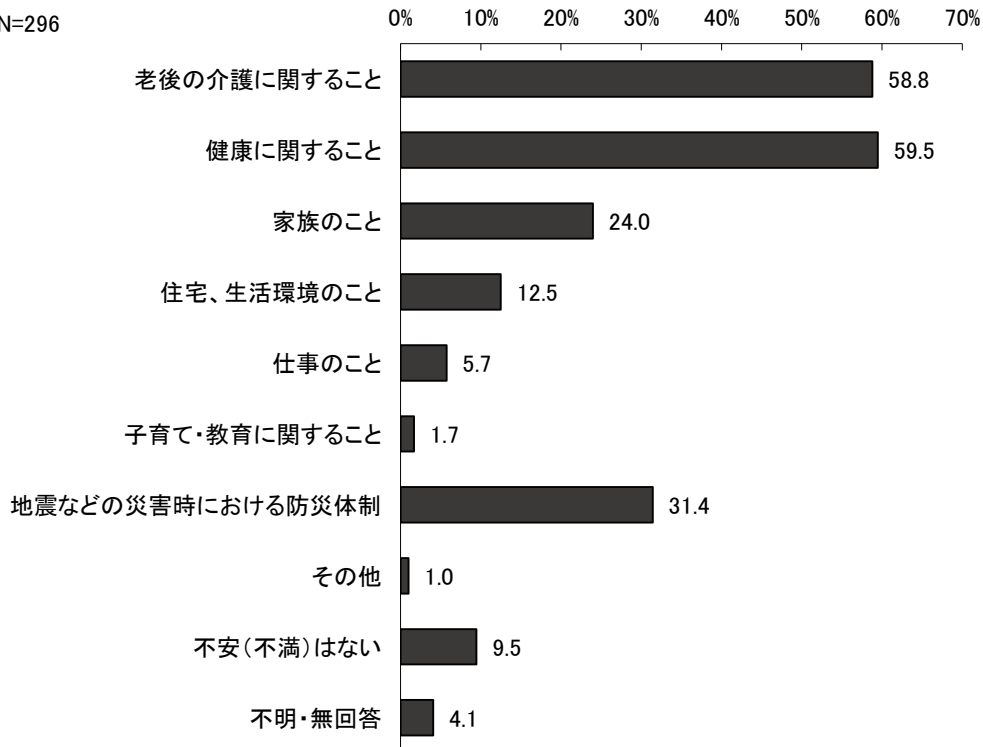
○ほとんどの校区において、「老後の介護に関すること」の割合が高く、目立った違いはありません。

○年代別では、30～40 歳代では、「子育て・教育に関すること」の割合が高く、40 歳代以上では「老後の介護に関すること」が高くなっています。20 歳代以下では、「不安（不満）はない」が多くなっています。



60歳代以上

N=296



小学校区別 年代別		老後の介護に関すること	健康に関すること	家族のこと	住宅、生活環境のこと	仕事のこと	子育て・教育に関すること	地震などの災害時における防災体制	その他	不安(不満)はない	不明・無回答
小学校区	金勝 (N=80)	45.0	37.5	22.5	18.8	17.5	17.5	30.0	2.5	10.0	3.8
	葉山 (N=67)	50.7	50.7	25.4	19.4	17.9	11.9	22.4	1.5	10.4	3.0
	葉山東 (N=72)	52.8	50.0	30.6	8.3	9.7	12.5	31.9	6.9	8.3	2.8
	治田 (N=99)	39.4	41.4	26.3	17.2	16.2	25.3	27.3	0.0	16.2	3.0
	治田東 (N=72)	38.9	50.0	22.2	15.3	16.7	5.6	33.3	4.2	15.3	0.0
	治田西 (N=97)	38.1	36.1	28.9	21.6	28.9	21.6	30.9	0.0	11.3	4.1
	大宝 (N=95)	31.6	30.5	17.9	16.8	10.5	25.3	24.2	2.1	14.7	6.3
	大宝東 (N=70)	37.1	38.6	31.4	14.3	31.4	21.4	35.7	0.0	14.3	1.4
	大宝西 (N=77)	33.8	39.0	16.9	20.8	14.3	13.0	29.9	2.6	22.1	2.6
	わからない (N=44)	34.1	22.7	13.6	31.8	29.5	29.5	31.8	2.3	15.9	2.3
年代	19歳以下 (N=16)	6.3	18.8	18.8	12.5	6.3	12.5	12.5	6.3	37.5	6.3
	20歳代 (N=66)	12.1	7.6	15.2	24.2	24.2	22.7	24.2	4.5	34.8	1.5
	30歳代 (N=136)	20.6	25.7	16.9	20.6	29.4	47.1	30.1	2.2	14.0	3.7
	40歳代 (N=178)	30.9	30.3	25.8	19.1	29.8	29.8	29.2	1.7	12.4	3.4
	50歳代 (N=90)	52.2	38.9	36.7	27.8	20.0	5.6	27.8	3.3	10.0	1.1
	60歳代 (N=141)	55.3	63.1	27.7	17.7	11.3	2.1	30.5	0.7	5.7	5.0
	70歳以上 (N=155)	61.9	56.1	20.6	7.7	0.6	1.3	32.3	1.3	12.9	3.2

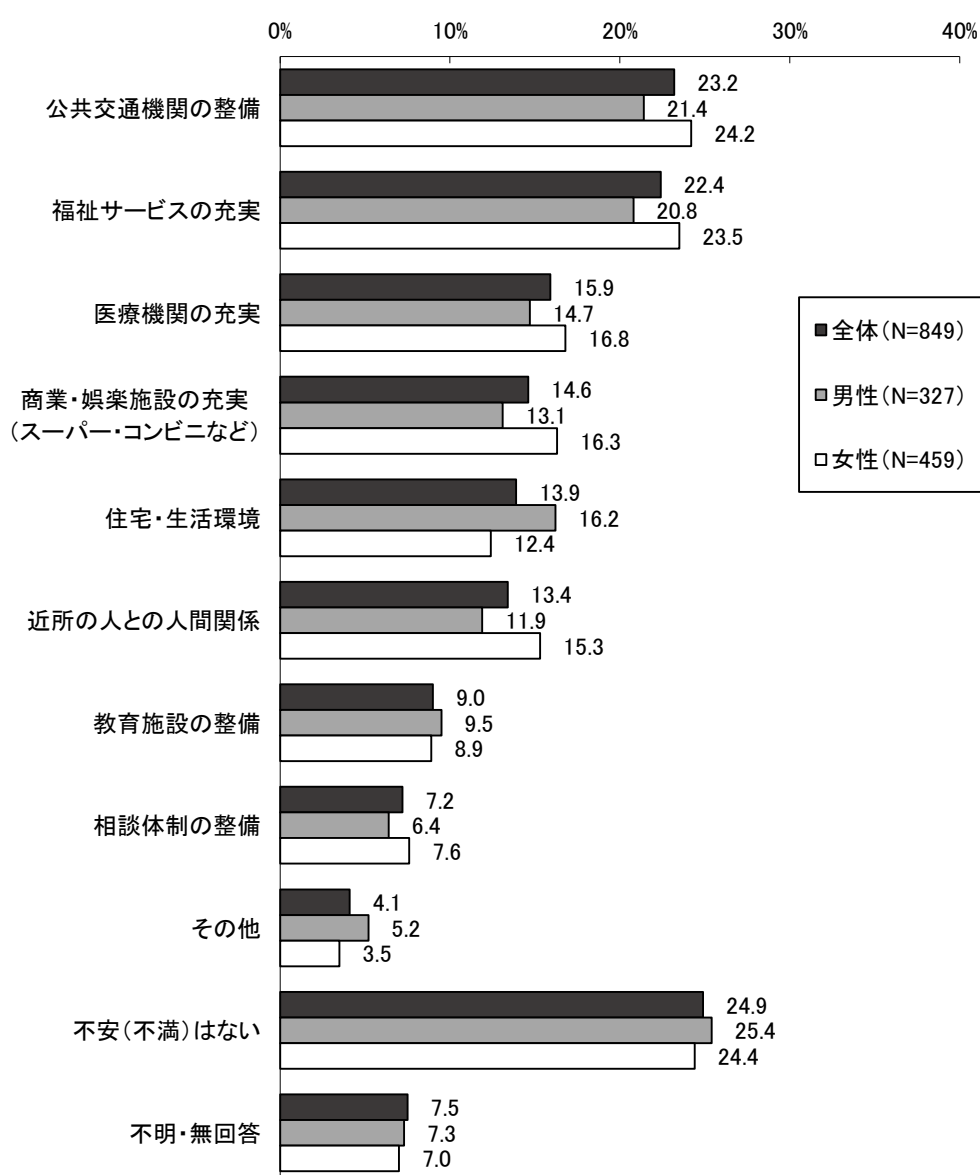
問 12 住んでいる地域のなかで不安（不満）に感じていることは何ですか。

（複数回答）

○住んでいる地域のなかで不安（不満）に感じていることについては、「公共交通機関の整備」が23.2%と最も高く、次いで「福祉サービスの充実」が22.4%、「医療機関の充実」が15.9%となっています。一方、「不安（不満）はない」も24.9%と高い割合を示しています。

○校区别では、「金勝」、「葉山」、「葉山東」、「治田東」は「公共交通機関の整備」が最も高く、「治田」は「福祉サービスの充実」が高くなっています。「治田西」など4校区は「不安（不満）はない」が最も高くなっています。

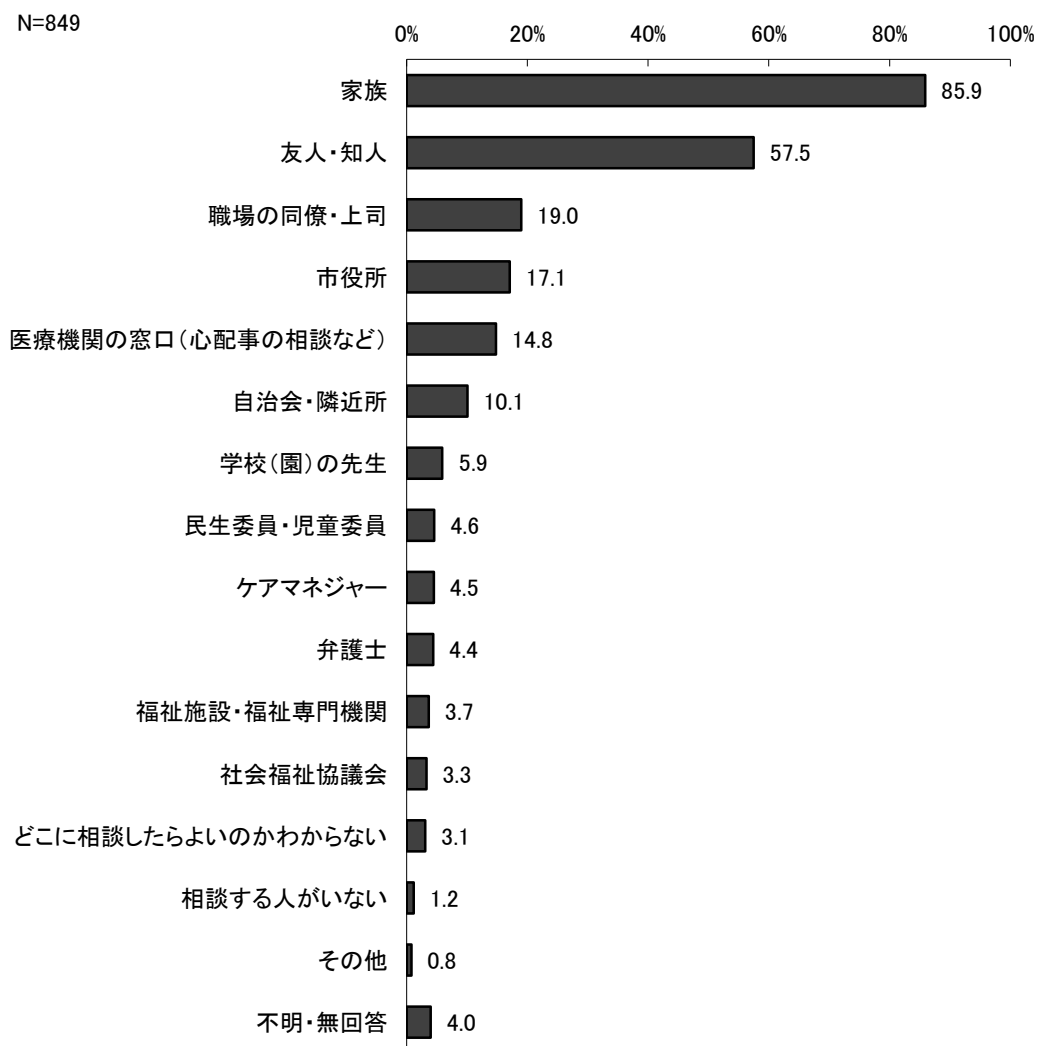
○年代別でも、50歳代以下は「不安（不満）はない」が最も高くなっていますが、60歳代は「福祉サービスの充実」、70歳以上は「公共交通機関の整備」が最も高くなっています。



小学校区別 年代別			近所の 人との 人間関係	相談 体制の 整備	住宅・ 生活環境	公共 交通 機関の 整備	教育 施設 の整備	商業・ 娯楽 施設の 充実 (スー パー・ コン ビニ など)	医療 機関 の充 実	福祉 サー ビス の充 実	その他	不安 (不満) はない	不明・ 無回 答
小 学 校 区	金勝	(N=80)	13.8	7.5	15.0	41.3	8.8	22.5	25.0	23.8	1.3	13.8	8.8
	葉山	(N=67)	20.9	4.5	13.4	34.3	10.4	11.9	13.4	26.9	0.0	22.4	7.5
	葉山東	(N=72)	18.1	9.7	11.1	34.7	4.2	29.2	19.4	18.1	5.6	12.5	8.3
	治田	(N=99)	15.2	9.1	16.2	21.2	9.1	11.1	15.2	25.3	4.0	22.2	6.1
	治田東	(N=72)	15.3	6.9	11.1	31.9	6.9	19.4	23.6	20.8	6.9	19.4	2.8
	治田西	(N=97)	12.4	4.1	15.5	17.5	9.3	13.4	16.5	18.6	5.2	26.8	4.1
	大宝	(N=95)	10.5	8.4	13.7	7.4	18.9	5.3	12.6	29.5	5.3	33.7	8.4
	大宝東	(N=70)	12.9	7.1	5.7	15.7	7.1	12.9	8.6	18.6	4.3	32.9	4.3
	大宝西	(N=77)	6.5	7.8	16.9	18.2	6.5	14.3	10.4	24.7	1.3	33.8	11.7
	わからない	(N=44)	18.2	4.5	22.7	11.4	6.8	15.9	11.4	13.6	9.1	34.1	4.5
年 代	19歳以下	(N=16)	6.3	0.0	18.8	31.3	6.3	25.0	18.8	12.5	0.0	37.5	6.3
	20歳代	(N=66)	12.1	4.5	12.1	18.2	9.1	12.1	7.6	19.7	1.5	40.9	3.0
	30歳代	(N=136)	11.0	2.9	15.4	19.9	22.1	19.9	11.8	20.6	7.4	22.1	6.6
	40歳代	(N=178)	15.2	7.3	14.0	20.8	11.2	11.8	12.9	16.9	6.7	29.2	3.9
	50歳代	(N=90)	15.6	6.7	23.3	24.4	7.8	14.4	14.4	21.1	4.4	24.4	4.4
	60歳代	(N=141)	15.6	9.2	16.3	23.4	4.3	14.2	21.3	33.3	2.8	18.4	9.2
	70歳以上	(N=155)	13.5	9.0	5.8	27.1	1.9	14.8	21.9	24.5	1.3	21.3	12.3

問 13 さまざまな場面で困ったとき、誰に相談しますか。(複数回答)

- 困ったときに相談する相手については、「家族」が 85.9%と最も高く、次いで「友人・知人」57.5%、「職場の同僚・上司」が 19.0%となっています。
- 「家族」や「友人・知人」以外で相談する相手は、20～50 歳代は「職場の同僚・上司」が高くなっていますが、60 歳代以上では「市役所」が高くなっています。



年代別		家族	友人・知人	職場の同僚・上司	学校（園）の先生	自治会・隣近所	市役所	医療機関	社会福祉協議会	民生委員・児童委員
年代	19歳以下	(N=16)	93.8	93.8	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	(N=66)	92.4	71.2	37.9	4.5	1.5	4.5	4.5	0.0
	30歳代	(N=136)	91.9	72.8	27.9	13.2	5.1	8.8	11.0	0.0
	40歳代	(N=178)	87.1	65.2	27.5	12.4	6.7	13.5	12.9	1.1
	50歳代	(N=90)	88.9	54.4	28.9	3.3	11.1	13.3	10.0	0.0
	60歳代	(N=141)	81.6	52.5	7.1	0.0	10.6	31.2	19.9	4.3
	70歳以上	(N=155)	80.6	32.3	0.6	0.0	19.4	25.2	23.9	11.6

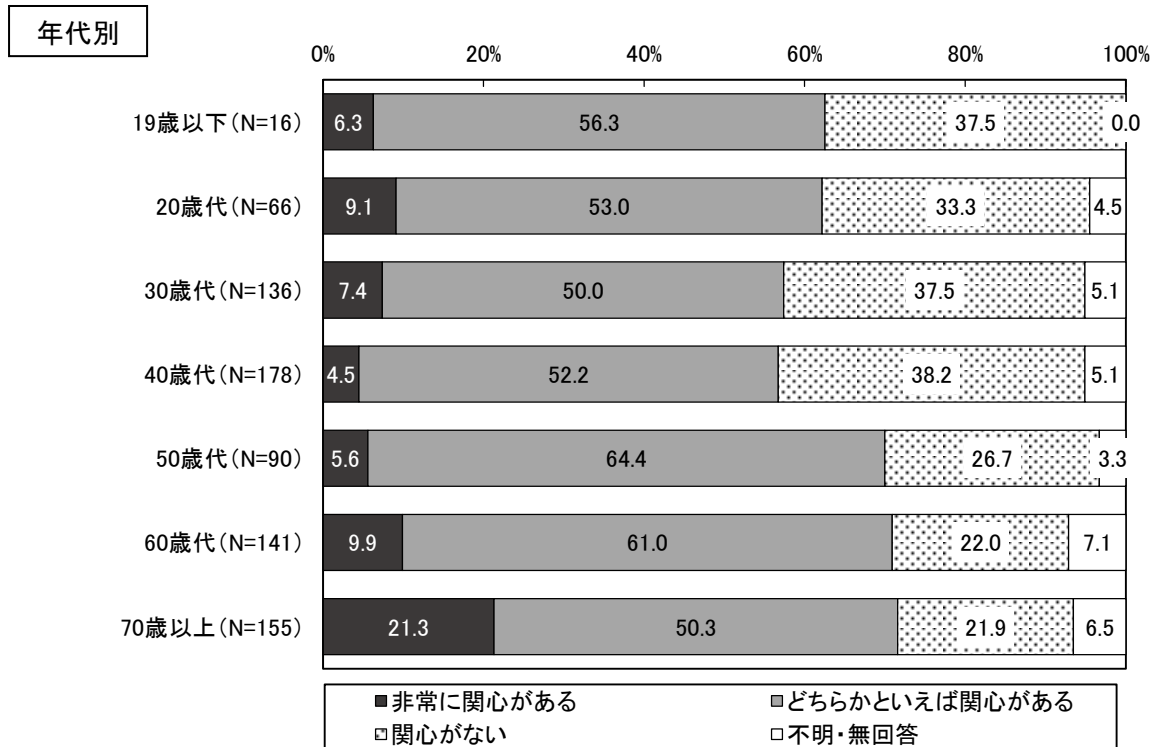
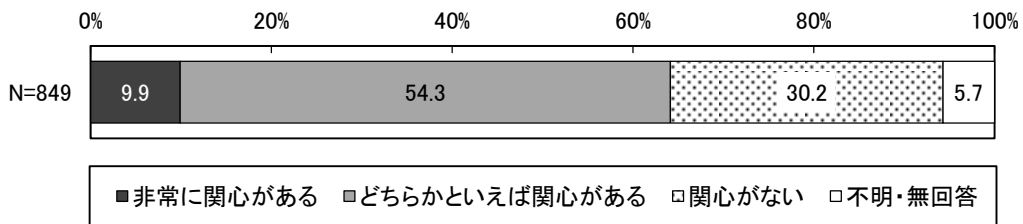
		ケアマネジャー	福祉施設・福祉専門機関	弁護士	その他	どこに相談したらよいかわからない	相談する人がいない	不明・無回答
年代	19歳以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5	1.5	3.0
	30歳代	0.0	0.7	3.7	0.7	0.7	1.5	5.1
	40歳代	0.6	1.7	5.1	0.6	2.8	1.7	4.5
	50歳代	12.2	1.1	3.3	2.2	6.7	1.1	0.0
	60歳代	4.3	4.3	6.4	1.4	4.3	1.4	3.5
	70歳以上	10.3	9.0	5.8	0.6	3.9	0.6	3.9

4. ボランティア活動について

問 14 あなたは、福祉に関心をお持ちですか。(単数回答)

○福祉に関心を持っているかについては、「非常に関心がある」、「どちらかといえば関心がある」を合わせると6割を超え、「関心がない」の30.2%を大きく上回っています。

○年代別では、50歳代以上で「どちらかといえば」も含めて7割以上が関心があると回答しています。「関心がない」の割合が最も高いのは、40歳代となっています。

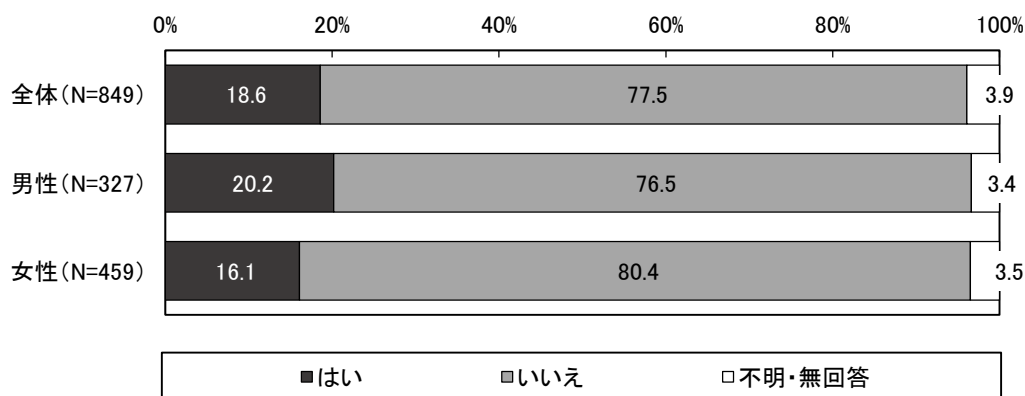


問 15 あなたは、市内・市外を問わずボランティア活動をしていますか。(単数回答)

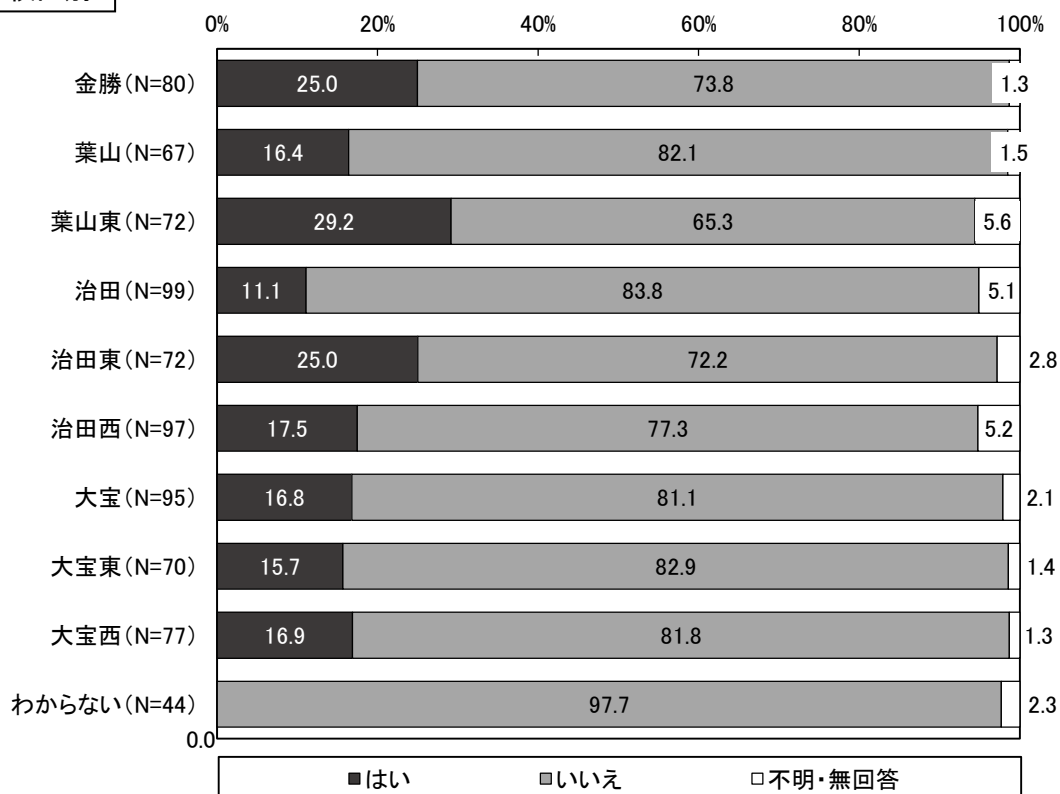
○ボランティア活動をしているかについては、「いいえ」が77.5%で、「はい」の18.6%を大きく上回っています。

○校区别でボランティア活動をしている割合が最も高いのは、「葉山東」で、次いで「金勝」と「治田東」となっています。

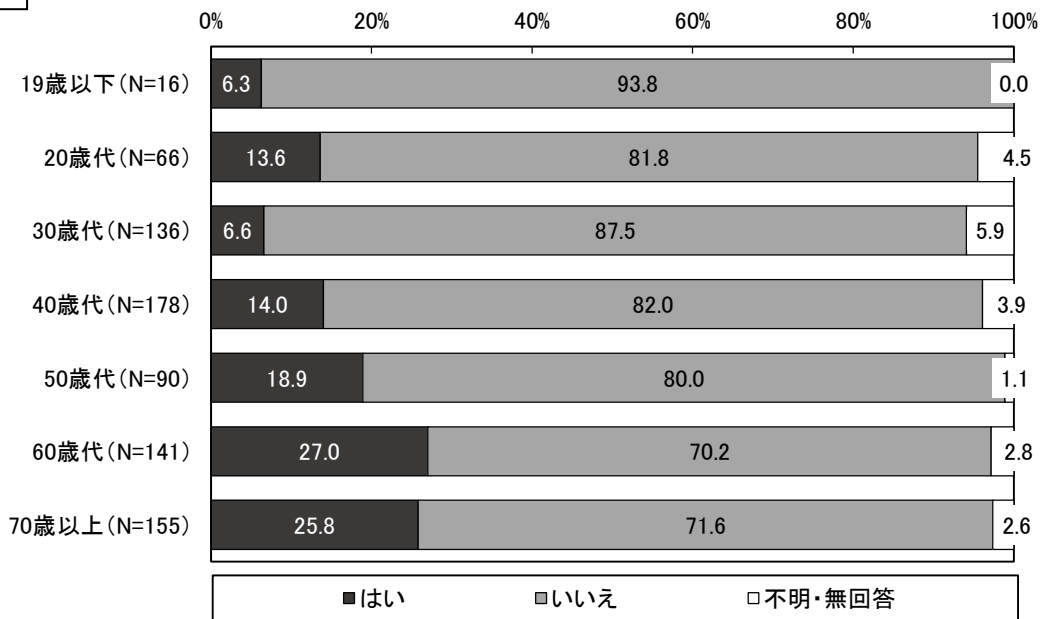
○年代別では、60歳代が最も高く、次いで70歳以上、50歳代となっています。ボランティア活動をしていない割合が最も高いのは、19歳以下となっています。



小学校区別

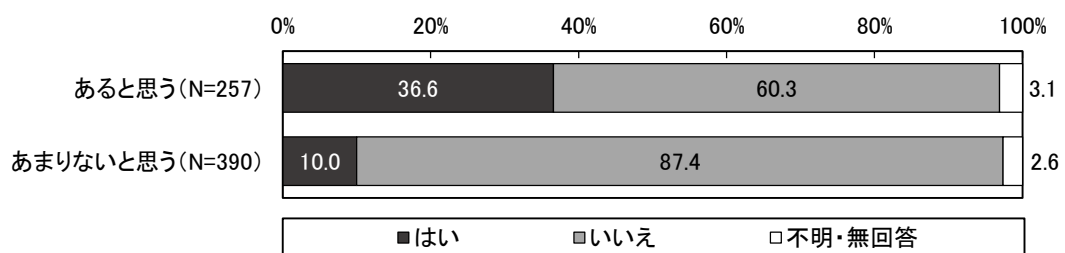


年代別



問 15 ボランティア活動×地域とのつながり (単数回答)

○地域とのつながりが「あると思う」という方の 36.6%がボランティア活動をしていると回答し、地域とのつながりが「あまりないと思う」という方よりも高くなっています。



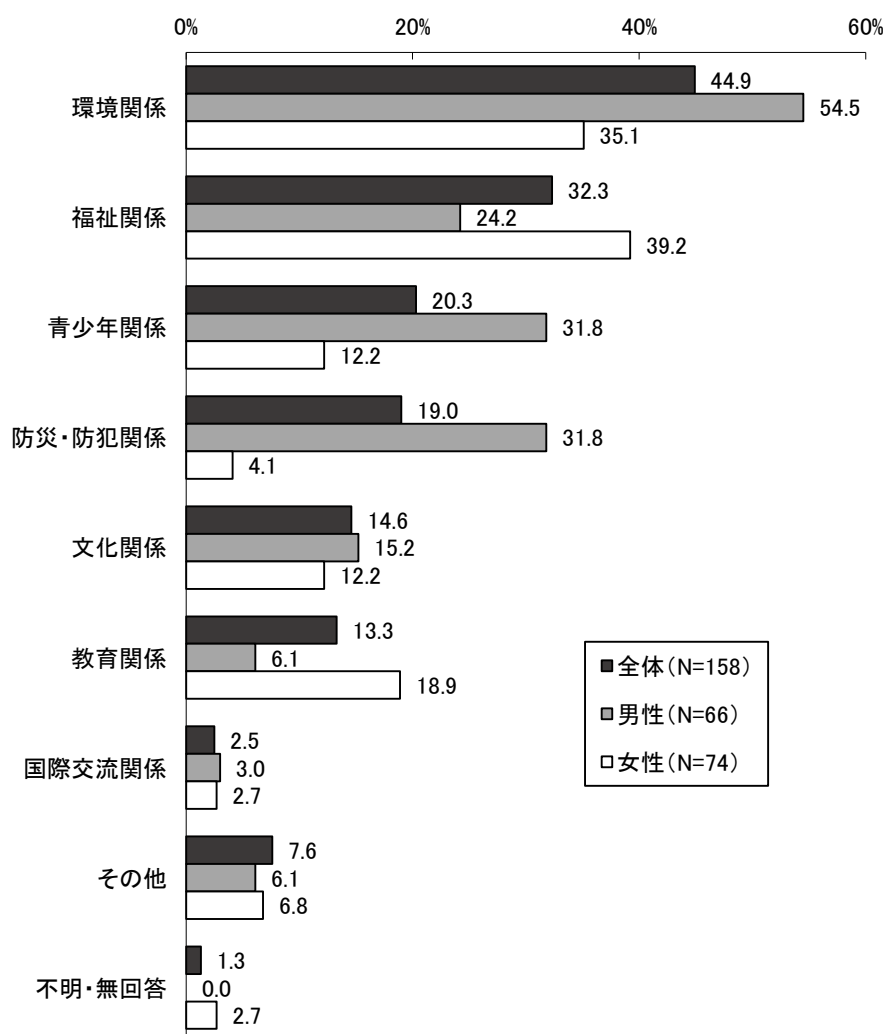
問 15で「1 はい」と回答した人

問 15-1-1 それは、どのような方面の活動ですか。(複数回答)

○ボランティアの活動内容については、環境美化活動などの「環境関係」が44.9%と最も高く、次いで障がい児・者、高齢者の支援などの「福祉関係」が32.3%、スポーツの指導などの「青少年関係」が20.3%となっています。

○校區別でも、「環境関係」が多くなっていますが、「治田」、「治田西」では「福祉関係」が最も多くなっています。

○年代別でも同様の傾向が見られますが、30歳代では「福祉関係」が最も高く、6割以上となっています。



福祉関係 (例:障がい児・者、高齢者の支援など)

環境関係 (例:環境美化活動など)

防災・防犯関係 (例:自衛消防団など)

教育関係 (例:学習支援、学校での活動など)

青少年関係 (例:スポーツの指導、非行防止パトロールなど)

文化関係 (例:文化や芸術を伝える活動など)

国際交流関係 (例:通訳、ガイドなど)

小学校区別 年代別		福祉 関係	環境 関係	防災・ 防犯 関係	教育 関係	青少 年 関係	文化 関係	国際 交流 関係	その他	不明・ 無回 答
小学校区	金勝 (N=20)	40.0	65.0	35.0	25.0	25.0	15.0	5.0	0.0	0.0
	葉山 (N=11)	27.3	45.5	9.1	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	葉山東 (N=21)	42.9	52.4	23.8	9.5	23.8	19.0	0.0	4.8	0.0
	治田 (N=11)	45.5	9.1	9.1	27.3	36.4	18.2	9.1	0.0	0.0
	治田東 (N=18)	22.2	27.8	11.1	11.1	5.6	16.7	5.6	11.1	11.1
	治田西 (N=17)	52.9	52.9	29.4	0.0	35.3	23.5	0.0	0.0	0.0
	大宝 (N=16)	6.3	37.5	6.3	18.8	12.5	6.3	6.3	6.3	0.0
	大宝東 (N=11)	18.2	54.5	9.1	9.1	9.1	18.2	0.0	27.3	0.0
	大宝西 (N=13)	23.1	46.2	7.7	7.7	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0
年代	19歳以下 (N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (N=9)	22.2	22.2	0.0	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0
	30歳代 (N=9)	66.7	44.4	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代 (N=25)	12.0	40.0	12.0	28.0	20.0	24.0	4.0	12.0	0.0
	50歳代 (N=17)	11.8	35.3	29.4	5.9	35.3	17.6	11.8	5.9	0.0
	60歳代 (N=38)	42.1	47.4	23.7	7.9	18.4	7.9	2.6	2.6	0.0
	70歳以上 (N=40)	40.0	52.5	17.5	7.5	22.5	15.0	0.0	7.5	5.0

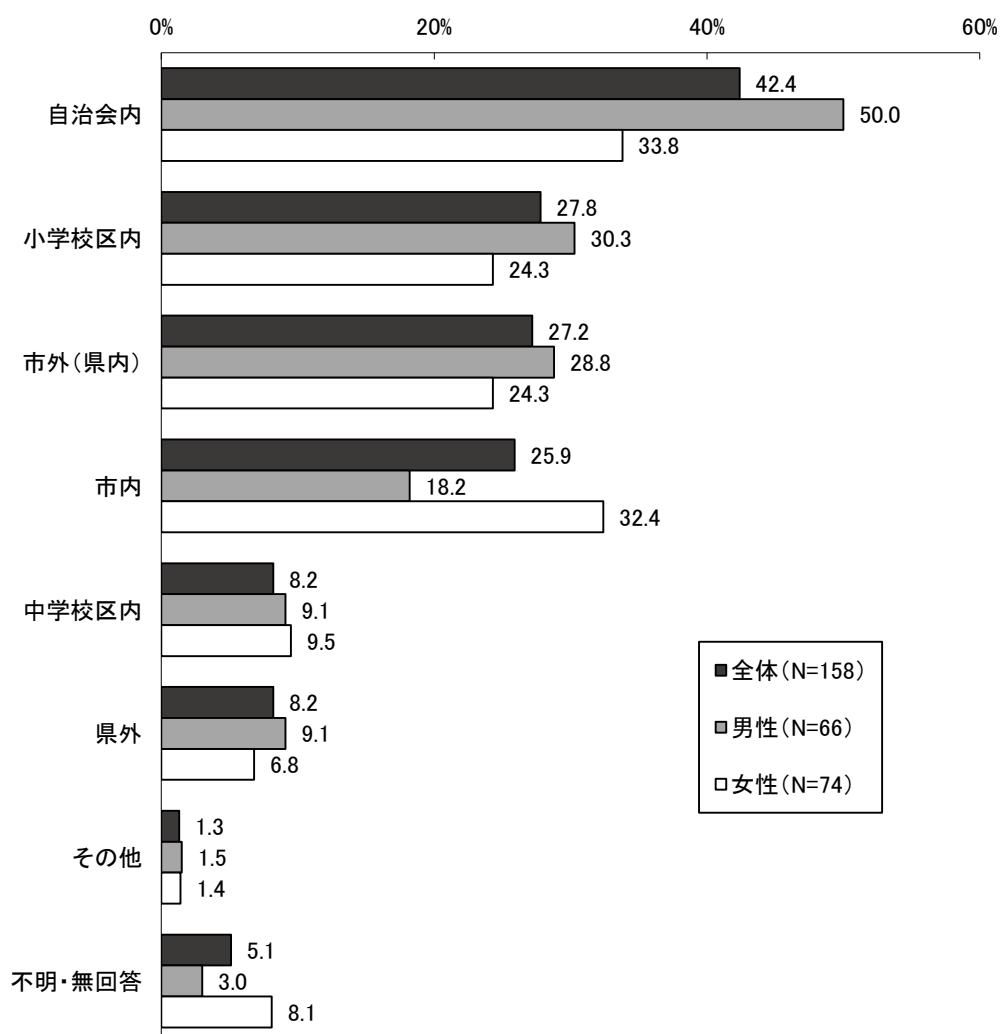
問 15-1-2 主な活動場所はどこですか。(複数回答)

○主な活動場所については、「自治会内」が 42.4%と最も高く、次いで「小学校区内」が 27.8%、「市外（県内）」が 27.2%、「市内」が 25.9%となっています。

○男性は「自治会内」が最も多く、女性では「市内」の割合が目立って高くなっています。

○校区別では、「金勝」など6校区で「自治会内」の割合が高くなっていますが、「大宝」など3校区では「市外（県内）」が最も高くなっています。

○年代別でも、50歳代以上は「自治会内」が最も多くなっていますが、40歳代以下では「市外（県内）」の割合が高くなっています。



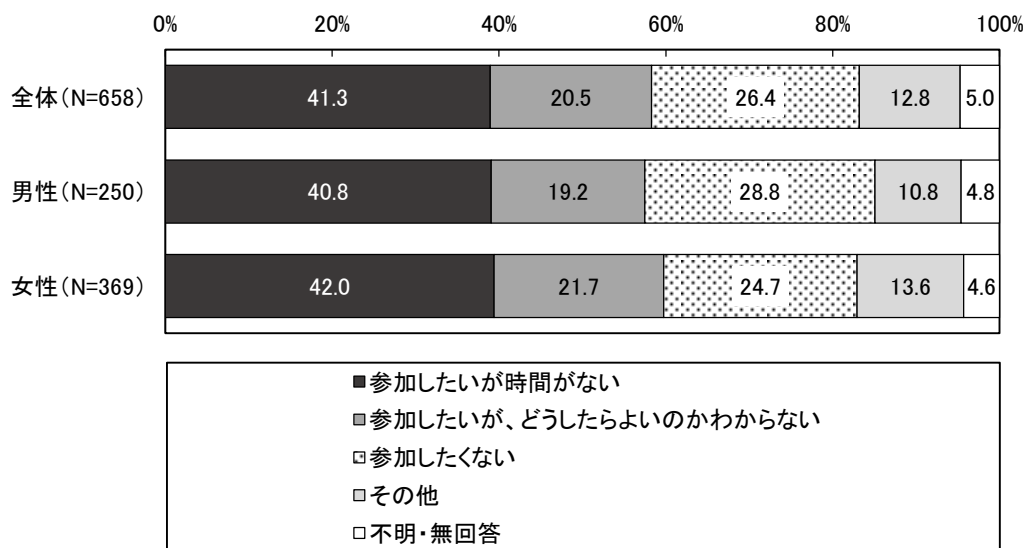
小学校区別 年代別			自治会内	小学校区内	中学校区内	市内	市外 (県内)	県外	その他	不明・無回答
小学校区	金勝	(N=20)	75.0	25.0	20.0	35.0	15.0	10.0	0.0	5.0
	葉山	(N=11)	54.5	27.3	0.0	27.3	27.3	0.0	0.0	0.0
	葉山東	(N=21)	47.6	47.6	9.5	23.8	23.8	0.0	0.0	0.0
	治田	(N=11)	9.1	27.3	18.2	36.4	36.4	0.0	9.1	18.2
	治田東	(N=18)	44.4	16.7	5.6	22.2	22.2	5.6	0.0	0.0
	治田西	(N=17)	41.2	41.2	11.8	23.5	11.8	17.6	0.0	5.9
	大宝	(N=16)	18.8	18.8	6.3	12.5	37.5	18.8	6.3	12.5
	大宝東	(N=11)	36.4	18.2	9.1	18.2	45.5	9.1	0.0	9.1
	大宝西	(N=13)	30.8	15.4	0.0	30.8	30.8	7.7	0.0	7.7
年代	19歳以下	(N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	(N=9)	22.2	0.0	0.0	0.0	44.4	11.1	0.0	22.2
	30歳代	(N=9)	22.2	0.0	0.0	22.2	44.4	22.2	0.0	0.0
	40歳代	(N=25)	28.0	24.0	12.0	20.0	48.0	12.0	0.0	4.0
	50歳代	(N=17)	41.2	17.6	11.8	17.6	29.4	11.8	0.0	0.0
	60歳代	(N=38)	42.1	28.9	5.3	28.9	13.2	2.6	5.3	7.9
	70歳以上	(N=40)	57.5	40.0	12.5	37.5	15.0	5.0	0.0	5.0

問 15で「2 いいえ」と回答した人

問 15-2 その理由は何ですか。(複数回答)

○ボランティア活動をしていない理由については、「参加したいが時間がない」が41.3%と最も高く、次いで「参加したくない」が26.4%、「参加したいが、どうしたらよいのかわからない」が20.5%となっています。

○年代別では、60歳代以下では「参加したいが時間がない」が最も高いですが、70歳以上では「参加したくない」が最も高くなっています。

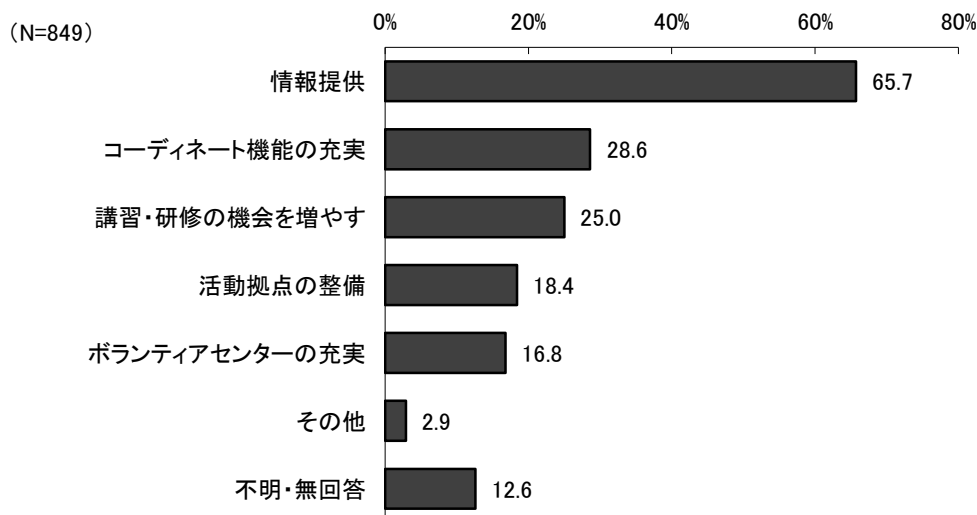


小学校区別 年代別			参加したいが時間がない	参加したいかわからない	参加したくない	その他	不明・無回答
小学校区	金勝	(N=59)	37.3	23.7	23.7	11.9	5.1
	葉山	(N=55)	45.5	16.4	25.5	10.9	7.3
	葉山東	(N=47)	44.7	12.8	21.3	23.4	4.3
	治田	(N=83)	32.5	24.1	24.1	16.9	6.0
	治田東	(N=52)	40.4	17.3	23.1	17.3	3.8
	治田西	(N=75)	46.7	18.7	29.3	13.3	1.3
	大宝	(N=77)	54.5	20.8	23.4	5.2	5.2
	大宝東	(N=58)	41.4	22.4	24.1	15.5	1.7
	大宝西	(N=63)	38.1	22.2	30.2	12.7	3.2
	わからない	(N=43)	30.2	27.9	44.2	0.0	4.7
年代	19歳以下	(N=15)	60.0	0.0	33.3	6.7	0.0
	20歳代	(N=54)	38.9	35.2	25.9	5.6	3.7
	30歳代	(N=119)	49.6	20.2	26.9	7.6	1.7
	40歳代	(N=146)	47.9	19.2	26.7	8.9	3.4
	50歳代	(N=72)	55.6	25.0	26.4	2.8	4.2
	60歳代	(N=99)	34.3	26.3	20.2	19.2	2.0
	70歳以上	(N=111)	18.9	10.8	29.7	27.9	14.4

問 16 ボランティア活動をさらに活発にするために、栗東市がどのような取り組みを行うべきだと思いますか。(複数回答)

○ボランティア活動を活発するために栗東市が行うべきと思う取り組みについて、「情報提供」が65.7%で、次いで「コーディネート機能の充実」が28.6%、「講習・研修（ボランティアのスキルアップ・フォロー研修等）の機会を増やす」が25.0%となっています。

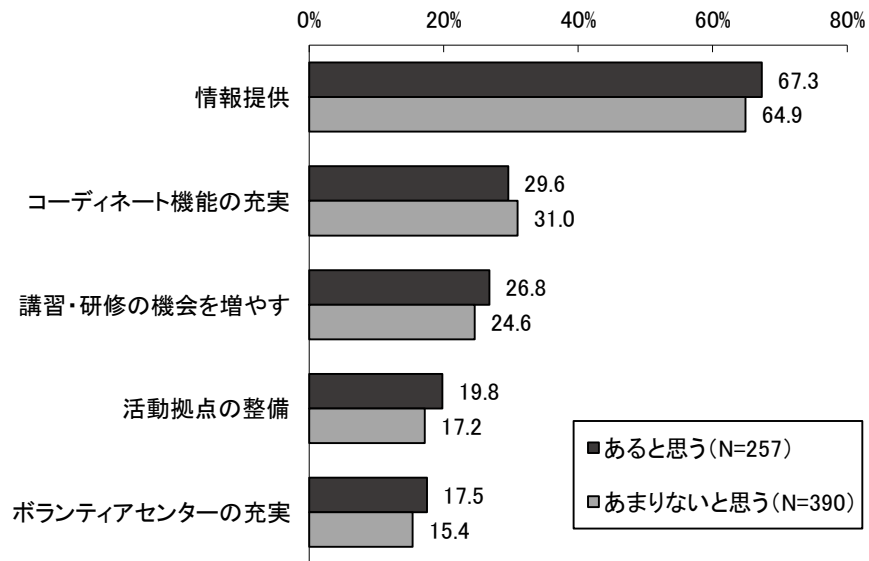
○校区別、年代別による目立った違いはありません。



小学校区別 年代別		情報提供	講習・研修等（ボランティアのスキルアップ・フォロー研修の機会を増やす）	ボランティアセンターの充実	（コーディネート機能の需要と供給の橋渡し）	活動拠点の整備	その他	不明・無回答
小学校区	金勝 (N=80)	70.0	26.3	21.3	40.0	17.5	1.3	13.8
	葉山 (N=67)	76.1	20.9	17.9	28.4	14.9	3.0	14.9
	葉山東 (N=72)	61.1	27.8	13.9	29.2	20.8	6.9	13.9
	治田 (N=99)	70.7	20.2	15.2	28.3	19.2	0.0	13.1
	治田東 (N=72)	59.7	33.3	22.2	30.6	19.4	4.2	9.7
	治田西 (N=97)	59.8	19.6	17.5	19.6	16.5	5.2	14.4
	大宝 (N=95)	64.2	28.4	13.7	26.3	11.6	3.2	11.6
	大宝東 (N=70)	68.6	25.7	14.3	37.1	27.1	0.0	5.7
	大宝西 (N=77)	70.1	23.4	15.6	26.0	24.7	1.3	10.4
	わからない (N=44)	68.2	22.7	20.5	29.5	13.6	4.5	6.8
年代	19歳以下 (N=16)	68.8	18.8	6.3	25.0	18.8	0.0	6.3
	20歳代 (N=66)	71.2	19.7	18.2	31.8	24.2	4.5	6.1
	30歳代 (N=136)	71.3	27.9	14.0	31.6	16.2	2.2	10.3
	40歳代 (N=178)	67.4	24.2	16.3	38.2	19.7	2.2	10.1
	50歳代 (N=90)	70.0	24.4	20.0	40.0	18.9	4.4	1.1
	60歳代 (N=141)	68.8	28.4	16.3	22.0	20.6	0.7	13.5
	70歳以上 (N=155)	51.0	21.3	18.7	14.8	15.5	5.2	26.5

問 16 ボランティア活動を活発にするための取り組み×地域とのつながり（複数回答）

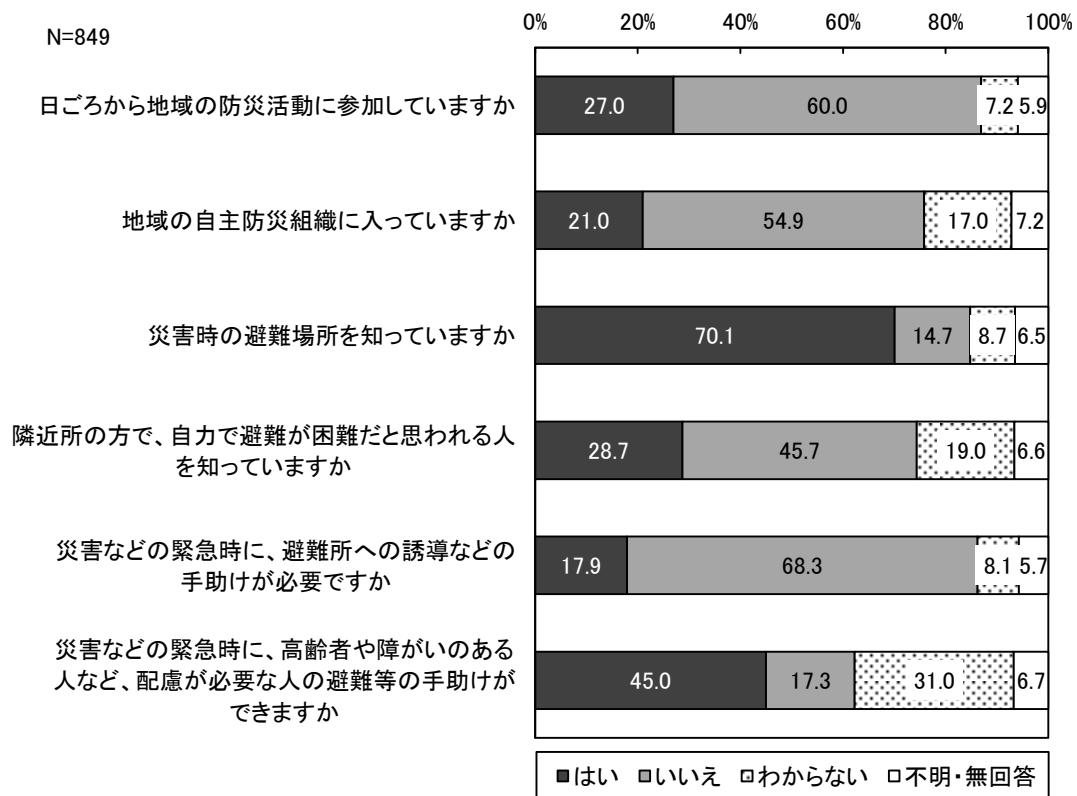
○ボランティア活動を活発にするために、栗東市が行う取り組みについては、地域とのつながりが「あると思う」と回答した方も、「あまりないと思う」と回答した方も、大きな違いは見られません。



5. 災害への備えについて

問 17 防災に対する取り組みや災害など緊急時の対応について、どのようにお考えですか。(単数回答)

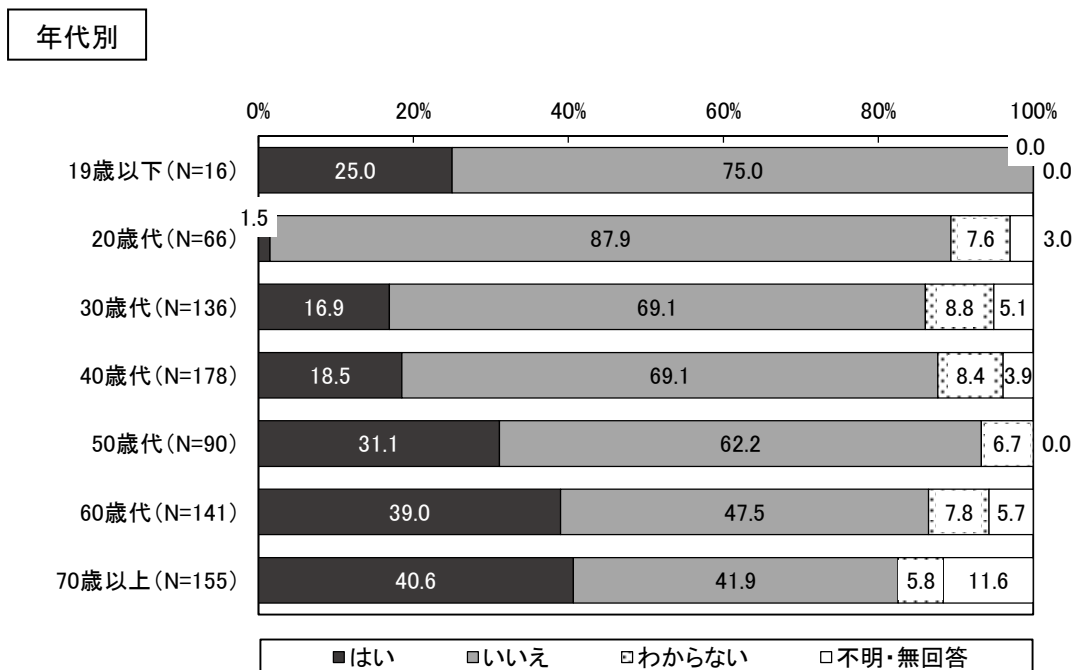
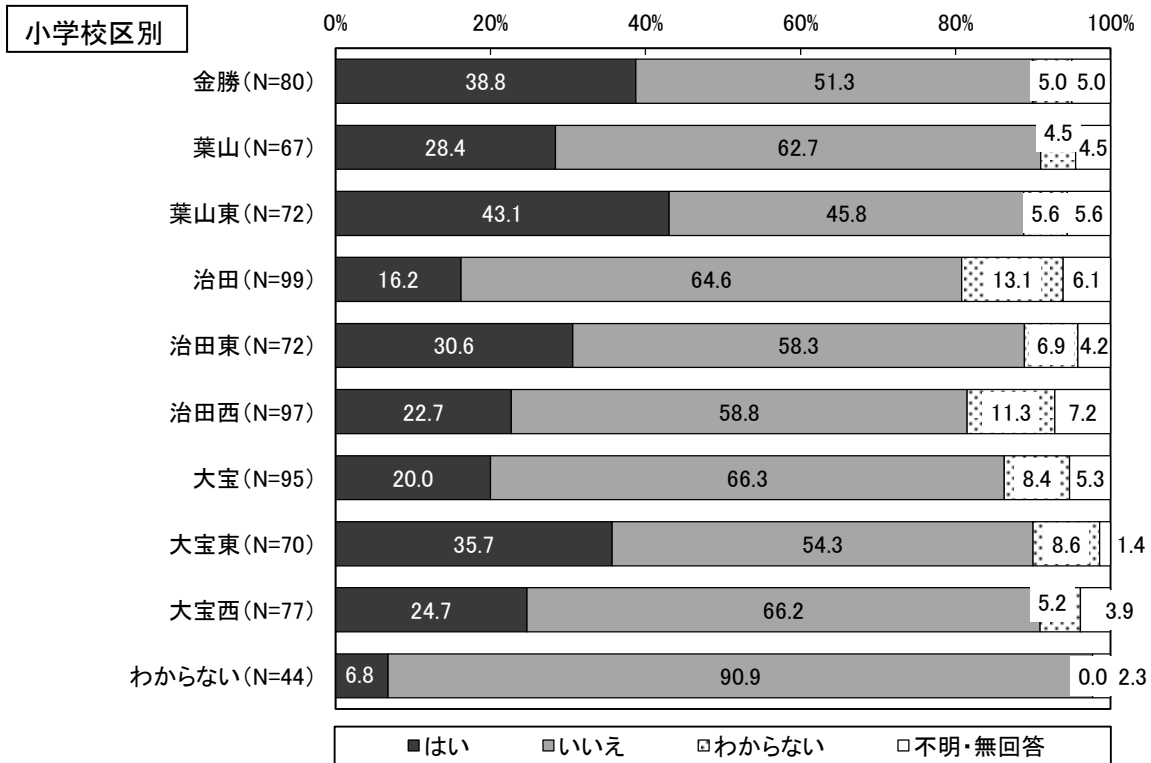
○災害に対する取り組みや緊急時の対応については、「災害時の避難場所を知っている」が70.1%と最も高く、次いで「災害などの緊急時に、高齢者や障がいのある人など、配慮が必要な人の避難等の手助けができる」が45.0%となっています。地域の防災活動については、参加していないと回答した人が60.0%と高くなっています。



ア) 日ごろから地域の防災活動に参加していますか。

○参加しているという回答は、校区別では、「葉山東」が43.1%と最も高く、「金勝」、「大宝東」の順になっています。参加していないという割合が高いのは、「大宝」、次いで「大宝西」の順となっています。

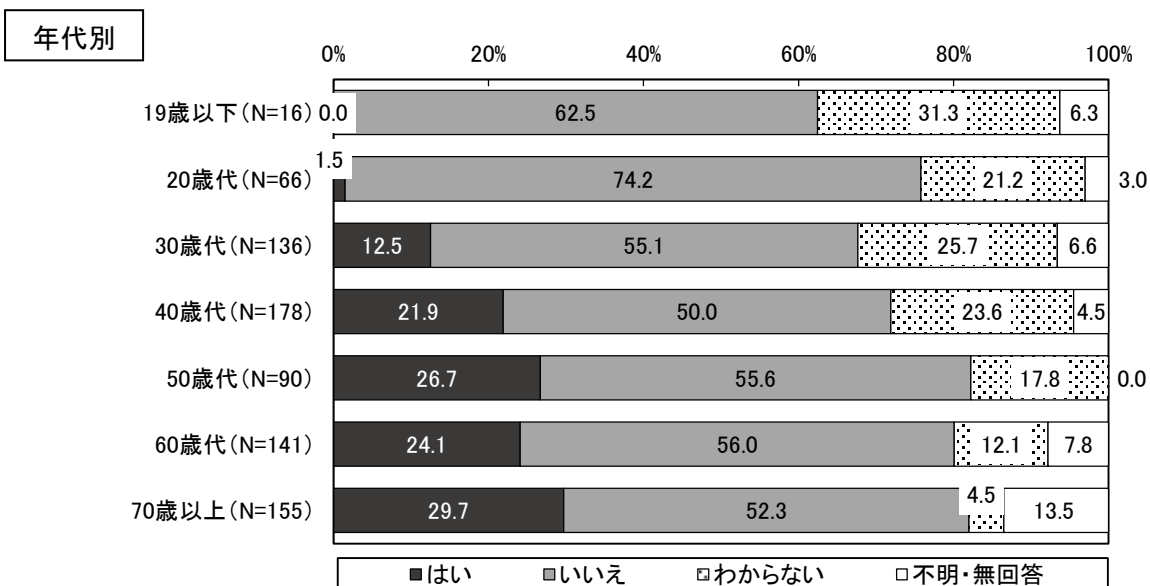
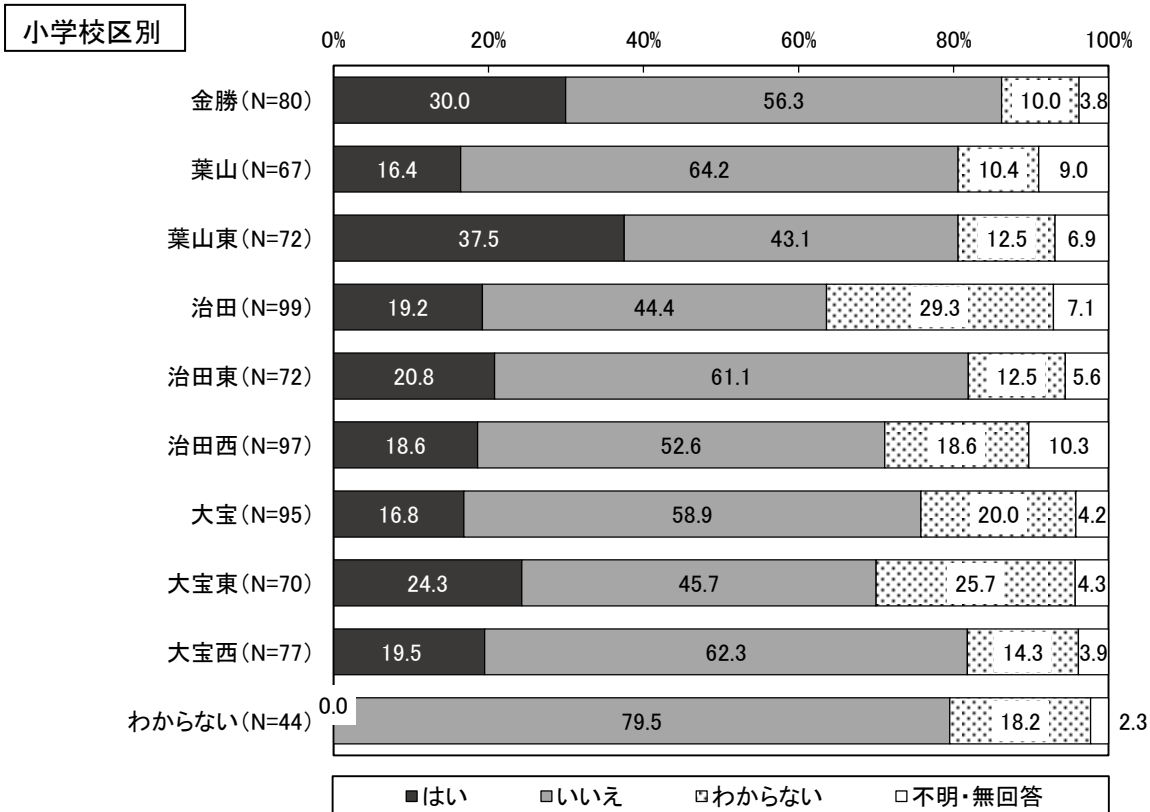
○年代別では、70歳以上の40.6%が参加していると回答し、年代が高いほど参加しているという回答が多くなっています。参加していない割合が高いのは20歳代で、87.9%となっています。



イ) 地域の自主防災組織に入っていますか。

○自主防災組織に入っているという割合が高いのは、「葉山東」の37.5%で、次いで「金勝」となっています。参加していないという割合は、「葉山」が64.2%と最も高く、次いで「大宝西」の62.3%となっています。

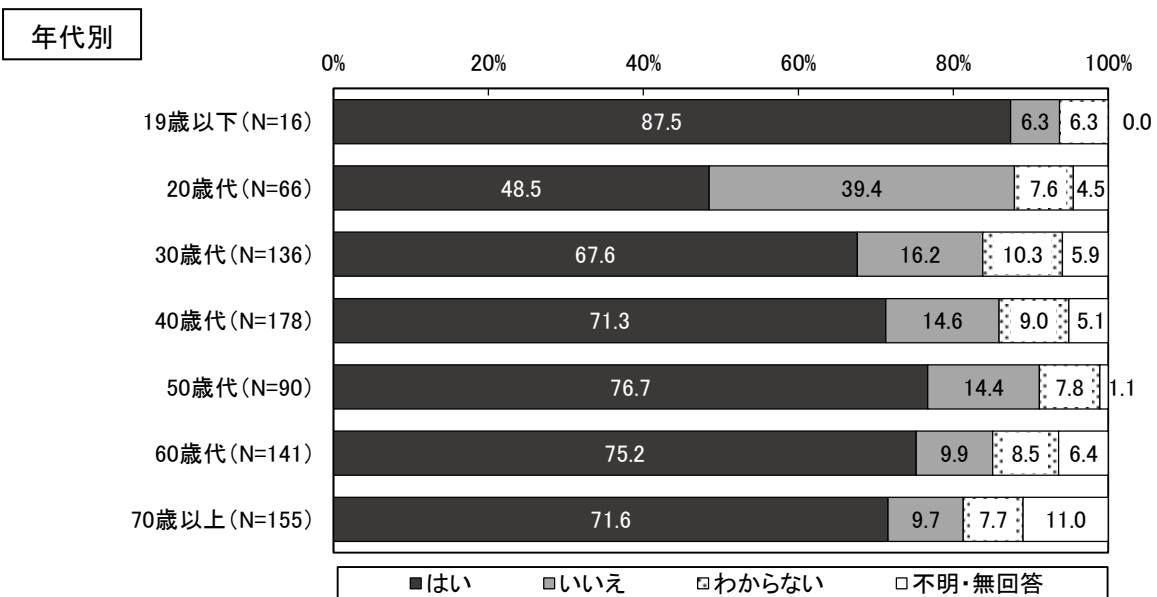
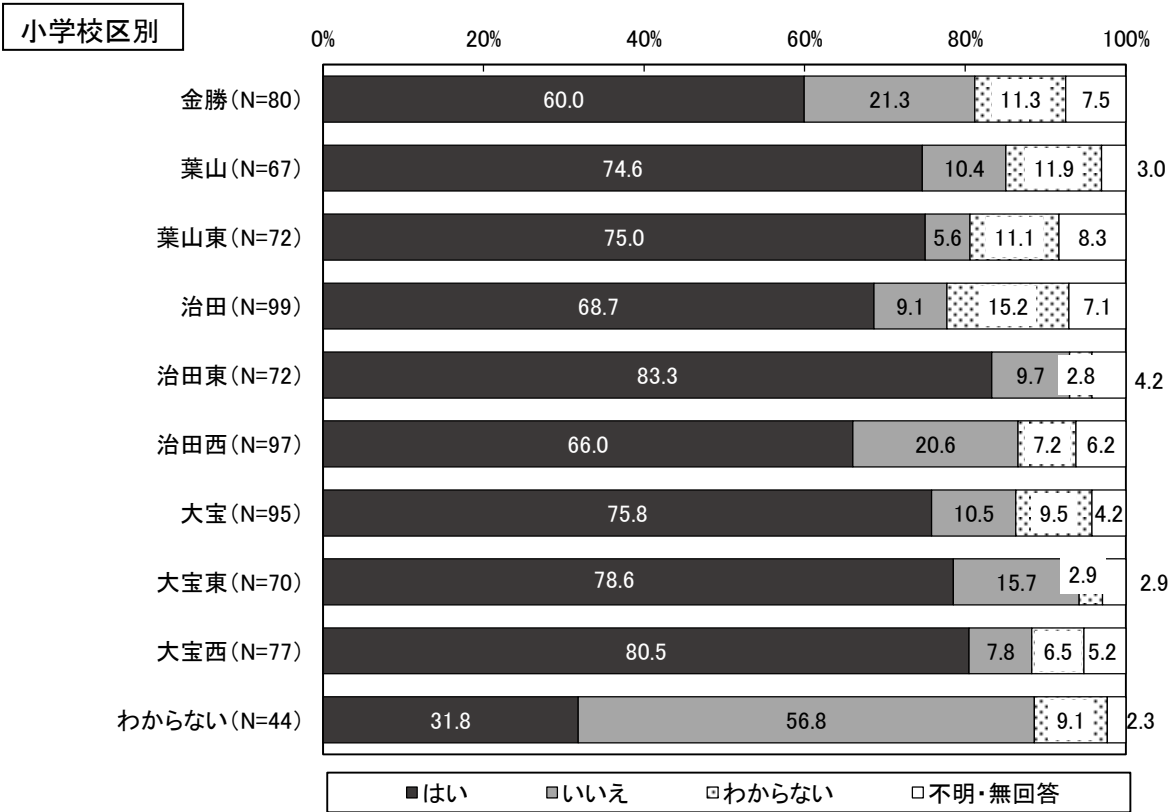
○年代別では、年代が高いほど入っているという回答が多く、70歳以上では29.7%が入っていると回答しています。



ウ) 災害時の避難場所について知っていますか。

○災害時の避難場所について、知っているという割合は「治田東」が83.3%と最も高く、次いで「大宝西」、「大宝東」となっています。

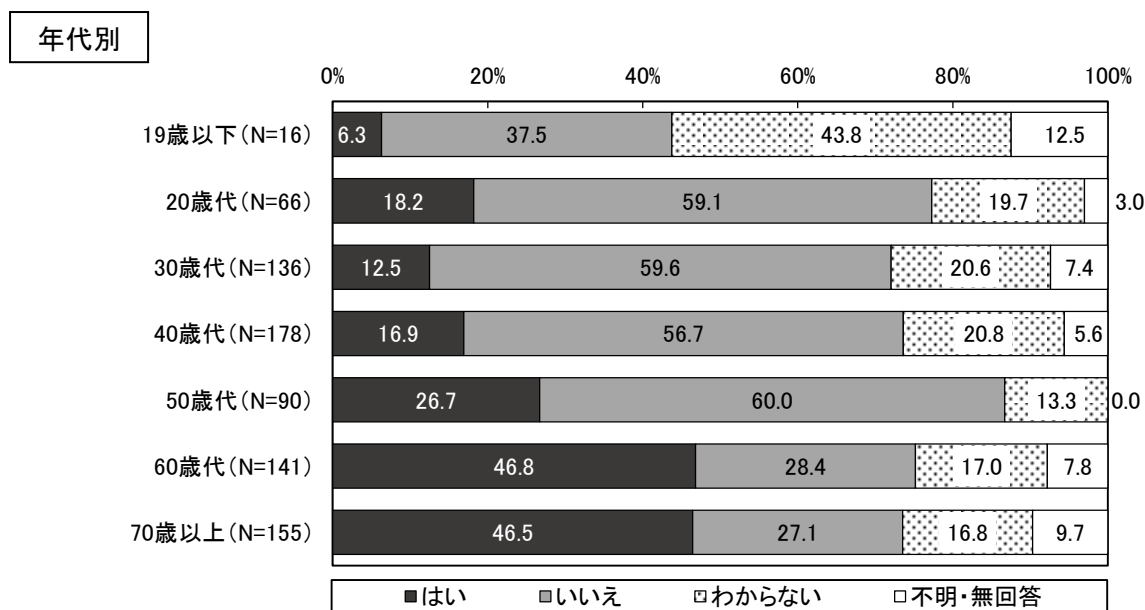
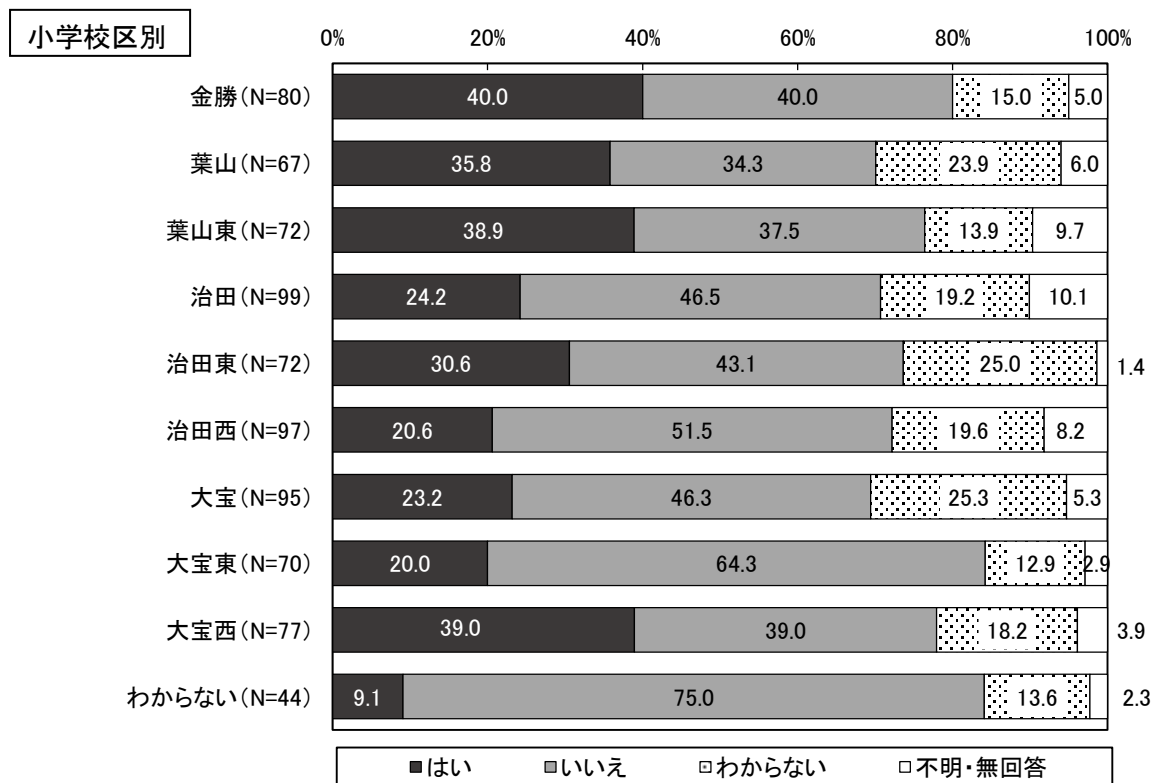
○年代別では、19歳以下の87.5%が知っていると回答し、最も高くなっています。知っている割合が最も低いのは20歳代で、48.5%となっています。



工) 隣近所の方で、自力で避難が困難だと思われる人（ひとり暮らし高齢者や障がいのある人など）を知っていますか。

○校区分別では、知っているという割合が最も高いのは「金勝」の40.0%で、次いで「大宝西」、「葉山東」となっています。

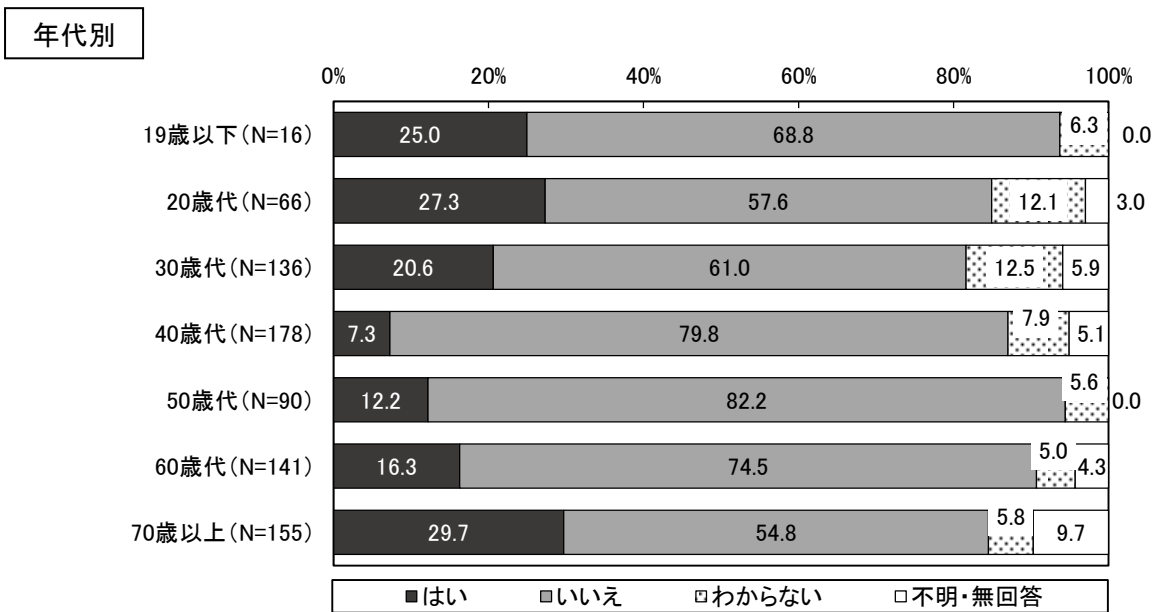
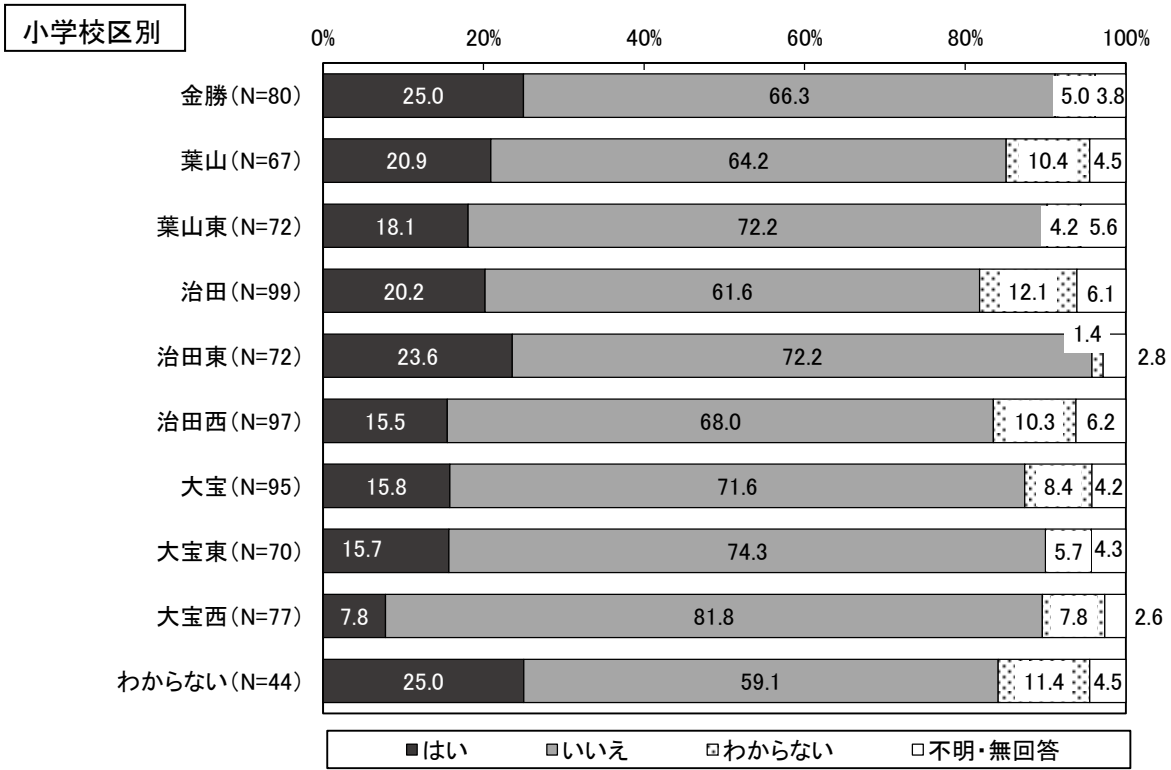
○年代別では、70歳以上の46.5%が知っていると回答し、最も高くなっています。一方、30歳代の59.6%が知らないと回答し、年代別では最も高くなっています。



オ) 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか。

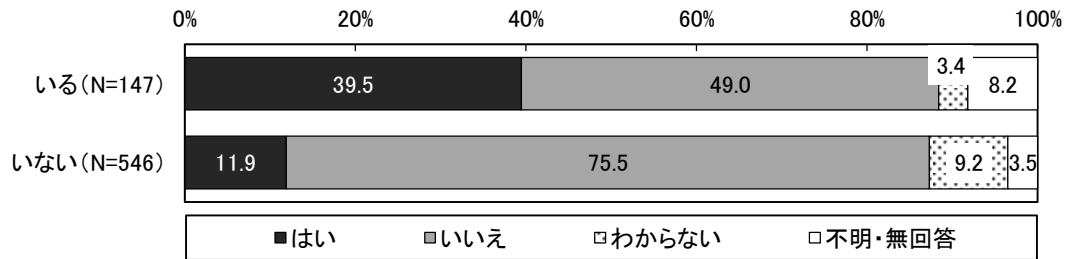
○校区別では、手助けが必要という割合は「金勝」が最も多く、25.0%となっています。必要ないという回答は、「大宝西」が81.8%と最も高く、次いで「大宝東」となっています。

○年代別では、70歳以上の29.7%が手助けが必要と回答し、次いで20歳代の27.3%、19歳以下の25.0%が必要となっています。必要ないという回答は、50歳代で82.2%と最も高く、次いで40歳代の79.8%となっています。



オ) 災害時などに避難の手助けが必要か×家族に配慮の必要な人の有無 (単数回答)

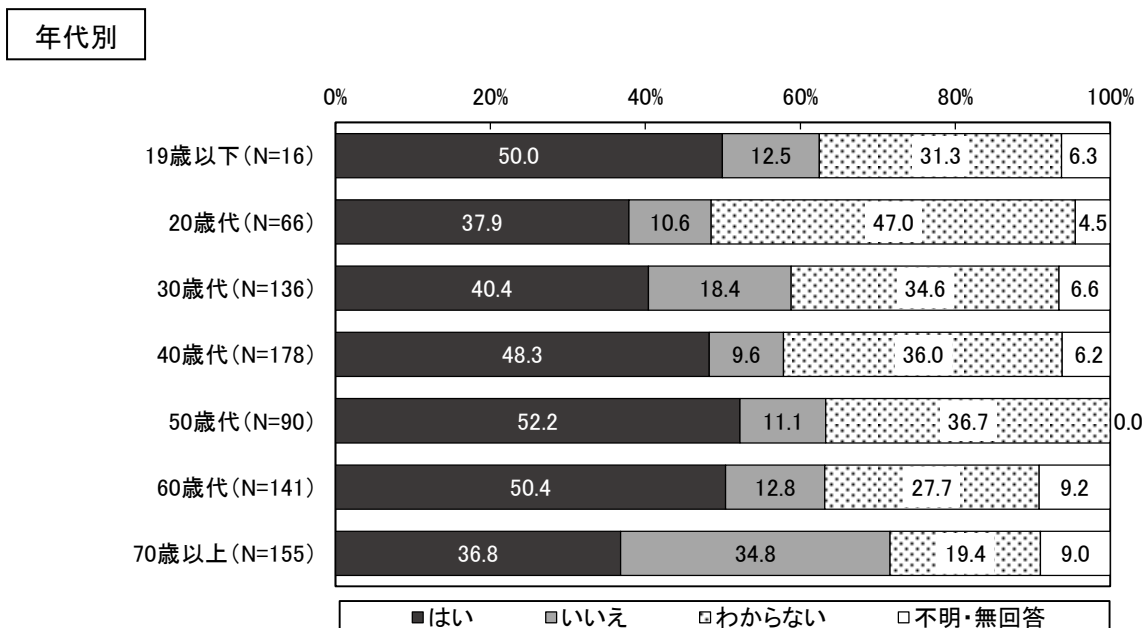
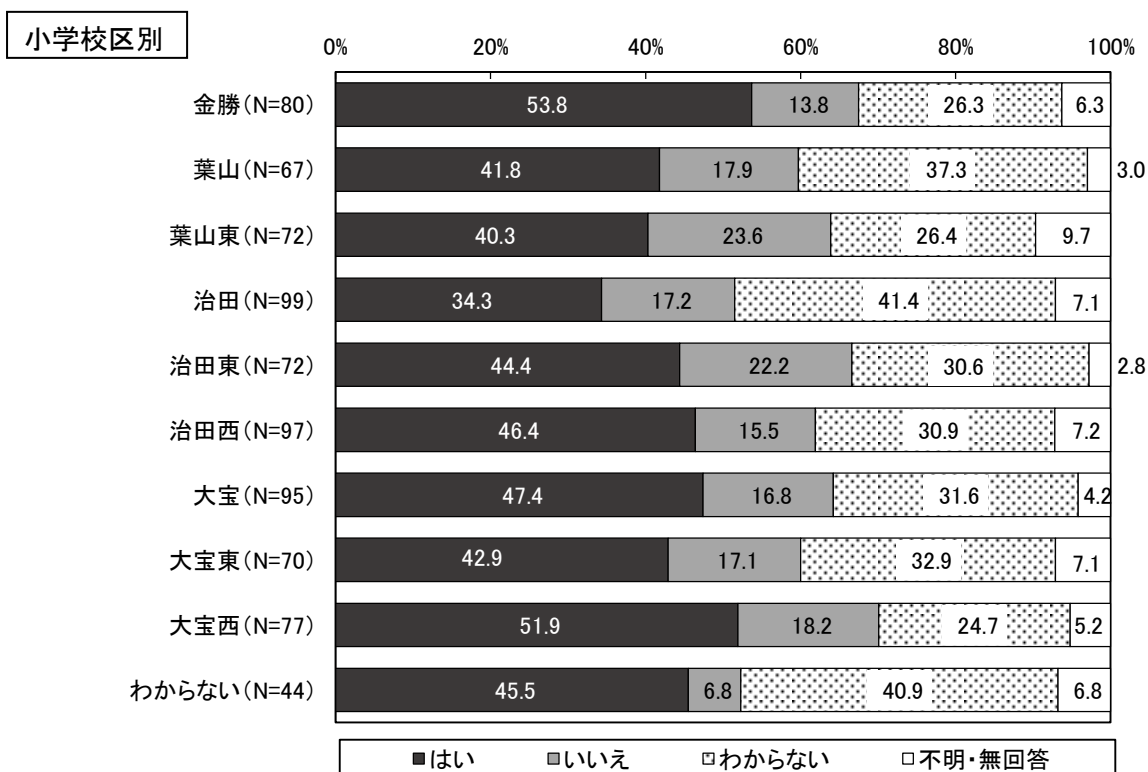
○災害などの緊急時に避難誘導などの手助けについては、ご家族の中に高齢や障がいなどで配慮が必要な人がいるという方の 39.5%が必要と回答しています。配慮が必要な人がいない方は、必要ないという割合が 75.5%となっています。



カ) 災害などの緊急時に、高齢者や障がいのある人など、配慮が必要な人の避難等の手助けができますか。

○校区別では、手助けできるという割合は「金勝」が53.8%と最も高く、次いで「大宝西」、「大宝」となっています。

○年代別で、手助けできるという回答の割合が最も高いのは60歳代で、50.4%となっています。手助けできないという割合が最も高いのは70歳以上で、34.8%となっています。

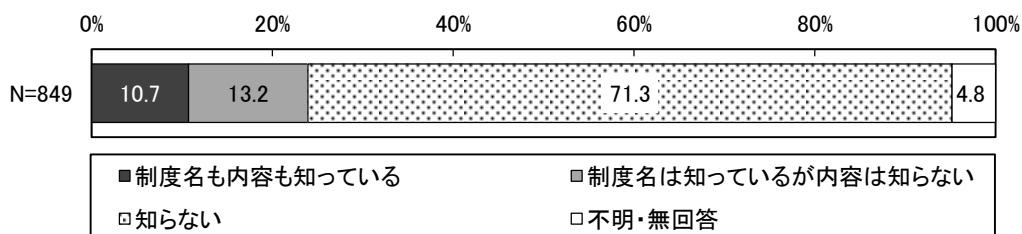


問 18 「災害時避難行動要支援者登録制度」について、知っていますか。(単数回答)

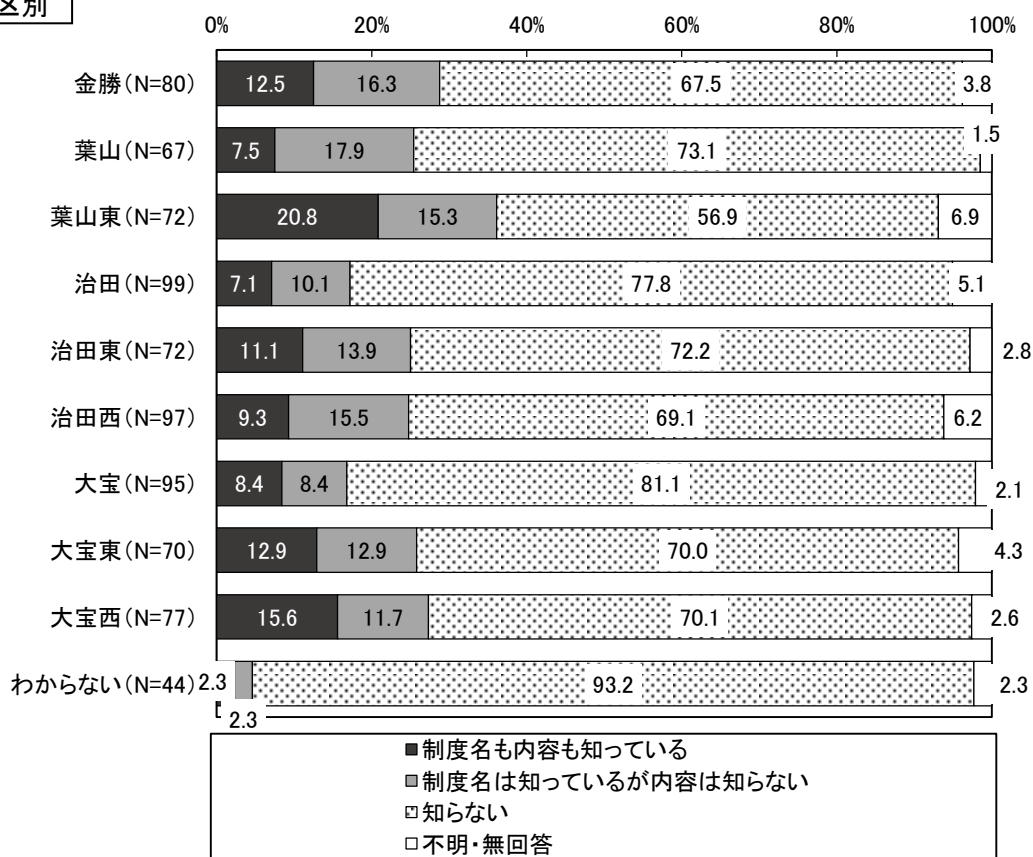
○「災害時避難行動要支援者登録制度」については、71.3%の人が「知らない」と回答しています。

「制度名も内容も知っている」と回答したのは10.7%となっています。

○校区别では、「葉山東」が「制度名も内容も知っている」という割合が最も高く、20.8%となっています。「知らない」という割合は、「大宝」が81.1%と最も高くなっています。

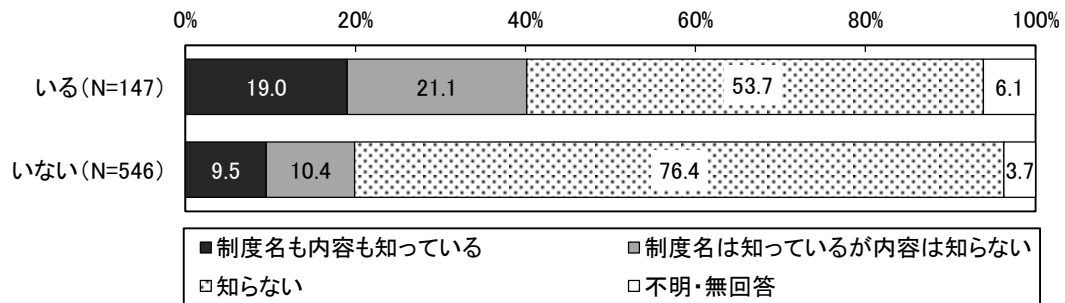


小学校区別



問 18 「災害時避難行動要支援者登録制度」の認知度×家族に配慮が必要な人がいるか
(単数回答)

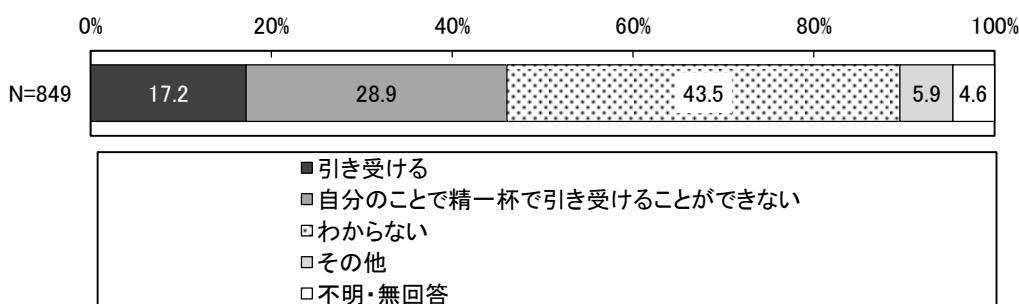
○ご家族の中に高齢や障がいなどで配慮が必要な人がいると回答した方の中で、「災害時避難行動要支援者登録制度」について「制度名も内容も知っている」と回答した割合は、19.0%となっています。しかし、53.7%の方が「知らない」と回答しています。



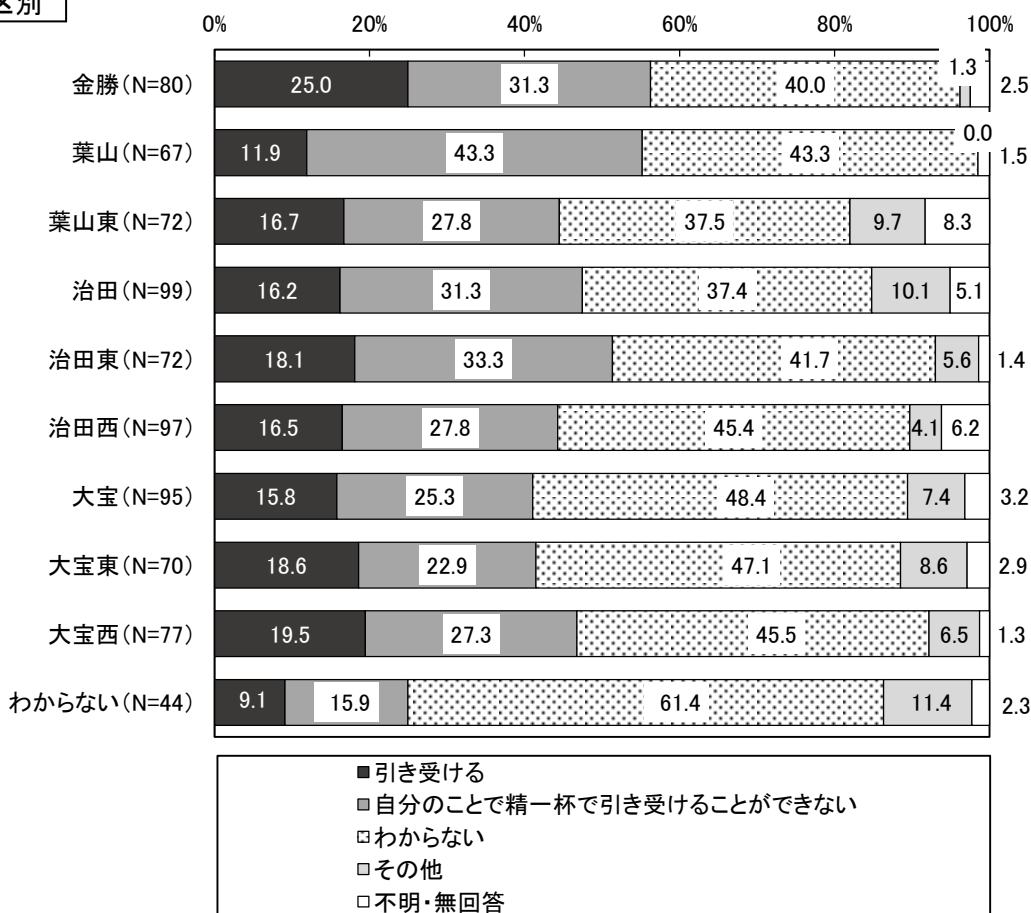
問 19 「要支援者」から「避難支援者」として登録するよう依頼された場合、どのように対応しますか。(単数回答)

○「避難支援者」として登録するよう依頼された場合の対応について、「わからない」が43.5%と最も高く、次いで「自分のことで精一杯で引き受けることができない」が28.9%で、「引き受ける」は17.2%となっています。

○校区别で、「引き受ける」という割合が最も高いのは「金勝」の25.0%で、次の「大宝西」の19.5%より5.5ポイント高くなっています。「引き受けることができない」という割合が最も高いのは「葉山」の43.3%となっています。



小学校区別

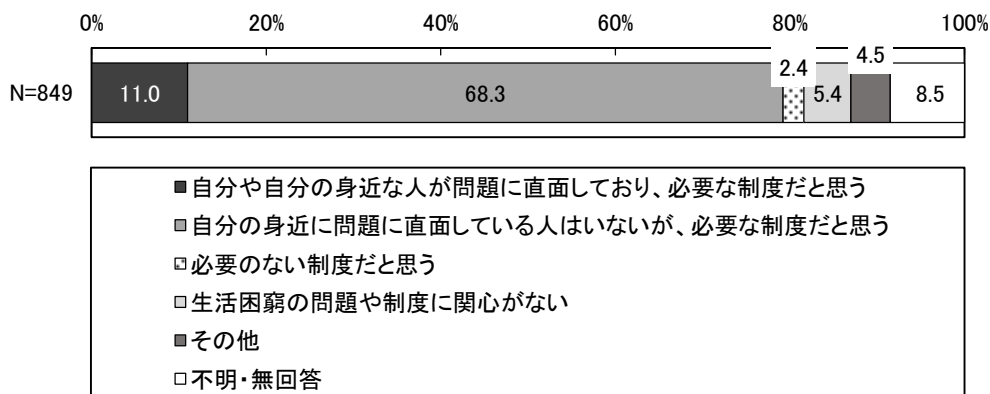


6. 地域における福祉のあり方について

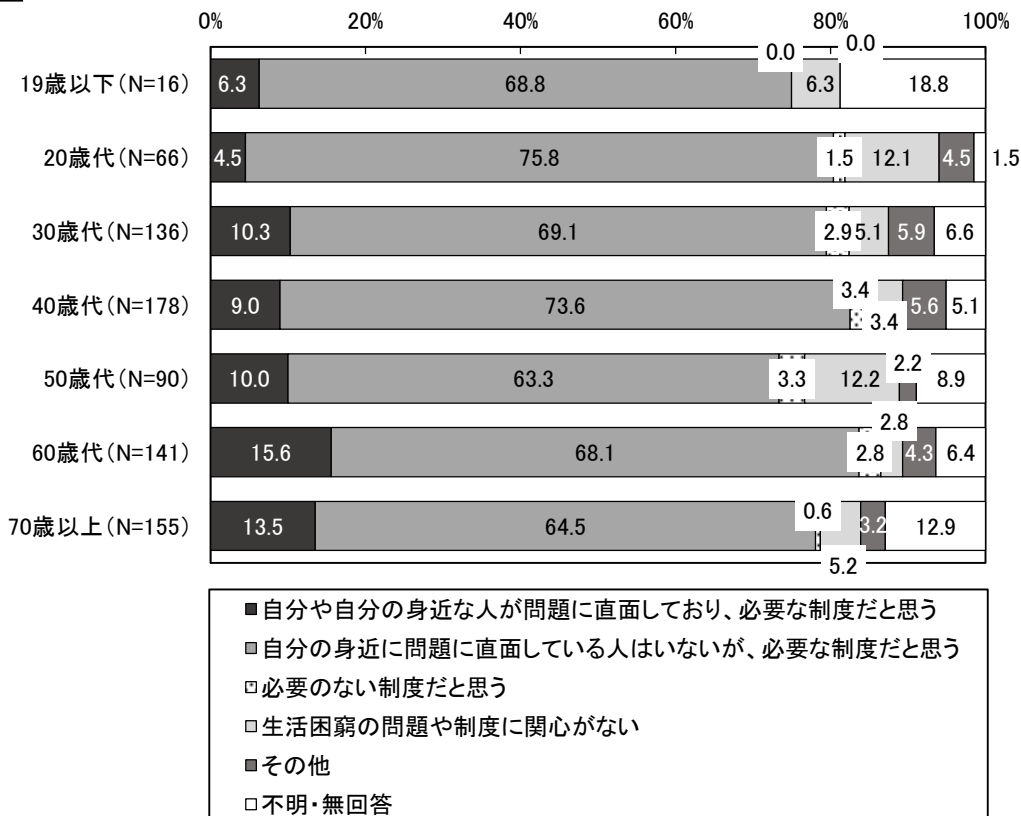
問 20 生活困窮の問題や支援制度についてどう思われますか。(単数回答)

○生活困窮の問題や支援制度については、「自分の身近に問題に直面している人はいないが、必要な制度だと思う」が 68.3%と最も高く、次いで「自分や自分の身近な人が問題に直面しており、必要な制度だと思う」が 11.0%となっています。

○年代別では、「必要な制度だと思う」割合が最も高いのは 60 歳代の 83.7%で、次いで 40 歳代の 82.6%となっています。「関心がない」という割合は 50 歳代が 12.2%と最も高く、次いで 20 歳代の 12.1%となっています。



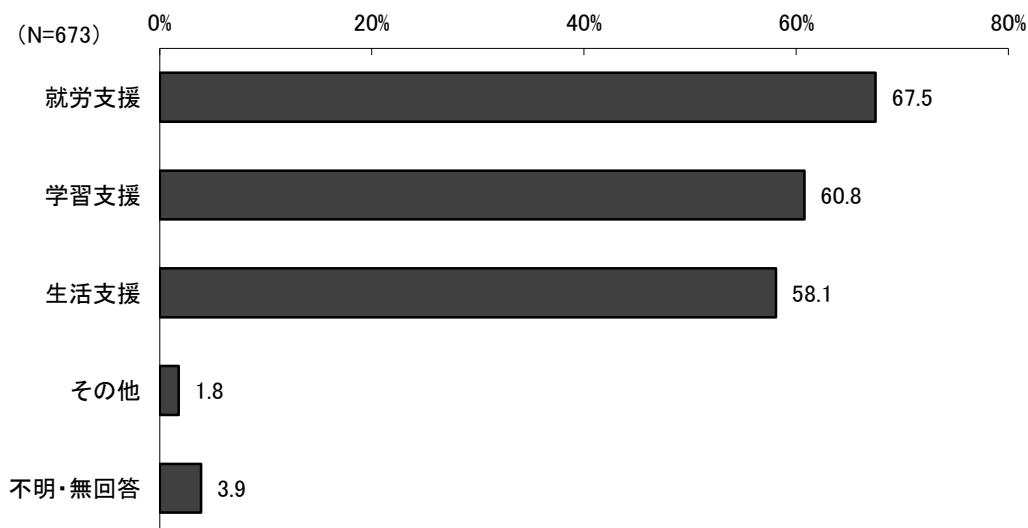
年代別



問 20 で「1」「2」（必要な制度だと思う）と回答した人

問 20-1 生活困窮の問題や支援制度について、具体的にどのような支援が必要だと思いますか。（複数回答）

○必要だと思う支援については、「就労支援」が67.5%と最も高く、次いで「学習支援」が60.8%、「生活支援」が58.1%となっています。



就労支援(求職活動、就労に必要な能力の形成への支援)

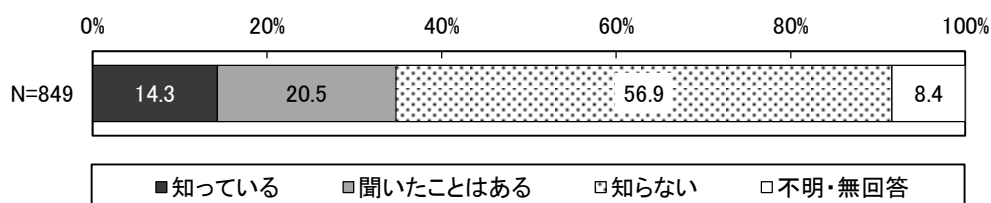
生活支援(生活再建のための貸付や、家計管理など生活力を高めるための支援)

学習支援(生活困窮家庭の子どもたちの学習支援や進学支援など)

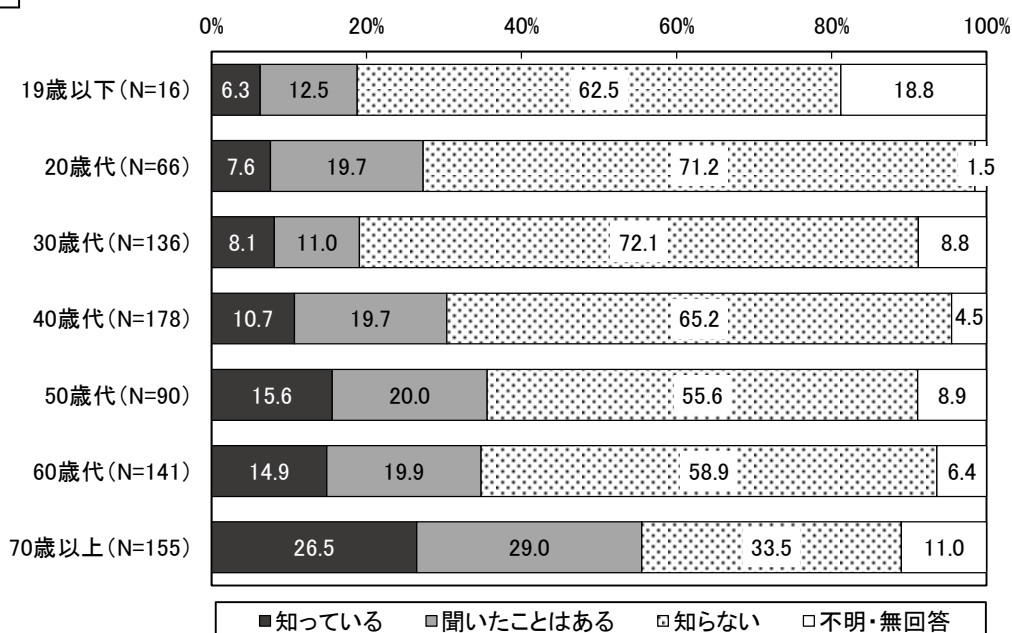
問 21 介護予防・日常生活支援総合事業を知っていますか。(単数回答)

○介護予防・日常生活支援総合事業については、「知らない」が56.9%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が20.5%、「知っている」が14.3%となっています。

○年代別では、「知っている」と回答した割合は70歳以上が最も高く、26.5%となっています。30歳代以下で「知っている」は10%を下回り、19歳以下は6.3%、20歳代は7.6%、30歳代は8.1%となっています。



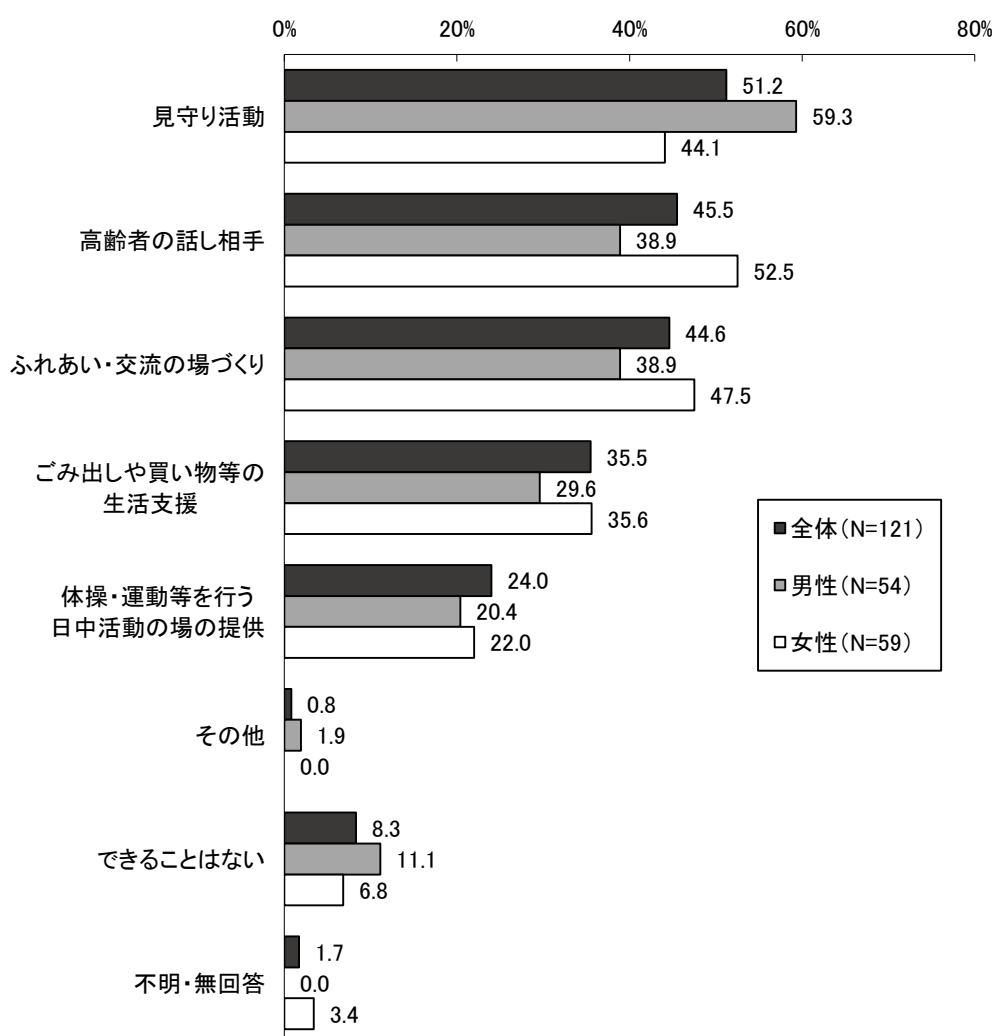
年代別



問21で「1 知っている」と回答した人

問21-1 地域で生活する高齢者を支えるために、どのようなことができますか。 (複数回答)

- 地域で生活する高齢者を支えるためにできることについては、「見守り活動」が51.2%と最も高く、次いで「高齢者の話し相手」が45.5%、「ふれあい・交流の場づくり」が44.6%となっています。
- 校区别で「見守り活動」の割合が高いのは、「葉山東」、「治田」、「大宝」、「大宝東」となっています。「ふれあい・交流の場づくり」の割合が高いのは、「金勝」、「葉山東」、「治田西」、「大宝西」となっています。
- 年代別では、20～40歳代では「見守り活動」の割合が高く、50歳代、70歳以上では「ふれあい・交流の場づくり」、19歳以下、60歳代では「高齢者の話し相手」の割合が高くなっています。



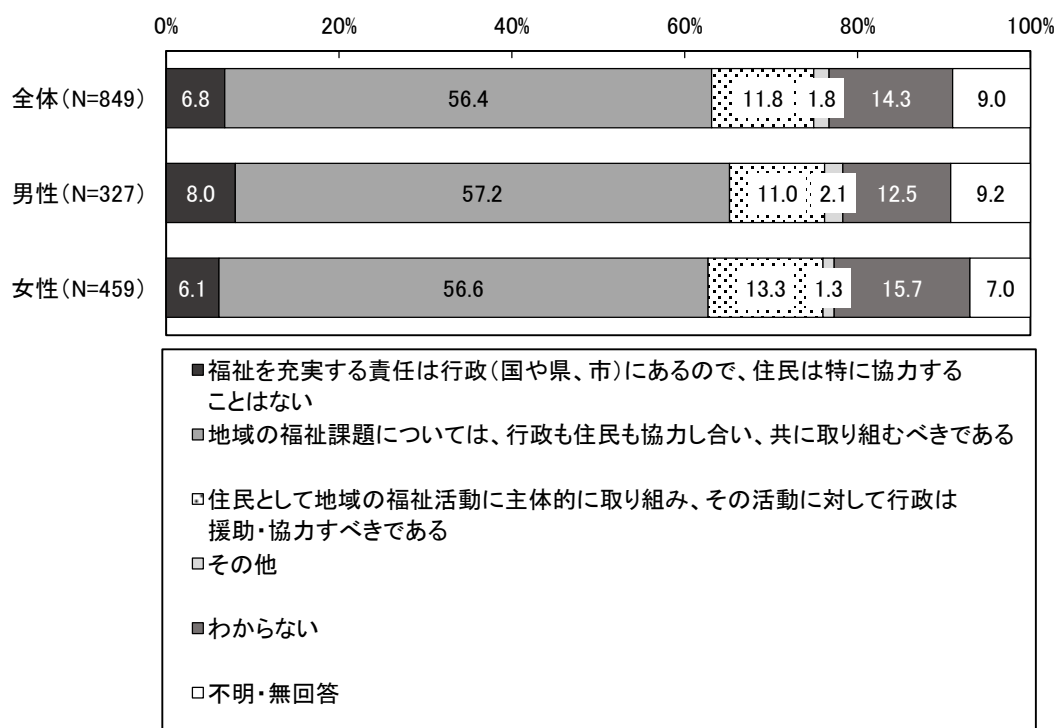
小学校区別 年代別			づ ふ れ あ い ・ 交 流 の 場	日 中 活 動 の 場 を 行 う	体 操 ・ 運 動 等 を 行 う	の ご み 出 し や 買 い 物 等 の 生 活 支 援	高 齢 者 の 話 し 相 手	見 守 り 活 動	そ の 他	で き る こ と は な い	不 明 ・ 無 回 答
小 学 校 区	金勝	(N=15)	66.7	40.0	53.3	66.7	46.7	0.0	6.7	0.0	
	葉山	(N=8)	25.0	25.0	12.5	50.0	37.5	0.0	12.5	0.0	
	葉山東	(N=13)	53.8	23.1	15.4	38.5	53.8	0.0	7.7	0.0	
	治田	(N=10)	30.0	20.0	40.0	50.0	70.0	10.0	10.0	10.0	
	治田東	(N=13)	30.8	15.4	38.5	46.2	38.5	0.0	15.4	0.0	
	治田西	(N=13)	61.5	23.1	30.8	38.5	53.8	0.0	15.4	0.0	
	大宝	(N=12)	41.7	25.0	8.3	50.0	58.3	0.0	0.0	0.0	
	大宝東	(N=9)	44.4	11.1	11.1	55.6	66.7	0.0	11.1	0.0	
	大宝西	(N=16)	43.8	12.5	62.5	37.5	37.5	0.0	6.3	0.0	
	わからない	(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
年 代	19歳以下	(N=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代	(N=5)	40.0	20.0	60.0	80.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	30歳代	(N=11)	27.3	0.0	9.1	36.4	63.6	0.0	9.1	0.0	
	40歳代	(N=19)	36.8	15.8	31.6	36.8	57.9	0.0	5.3	0.0	
	50歳代	(N=14)	50.0	14.3	42.9	35.7	42.9	0.0	7.1	0.0	
	60歳代	(N=21)	42.9	19.0	28.6	52.4	47.6	0.0	4.8	0.0	
	70歳以上	(N=41)	53.7	31.7	36.6	46.3	43.9	2.4	14.6	4.9	

7. 福祉のまちづくりについて

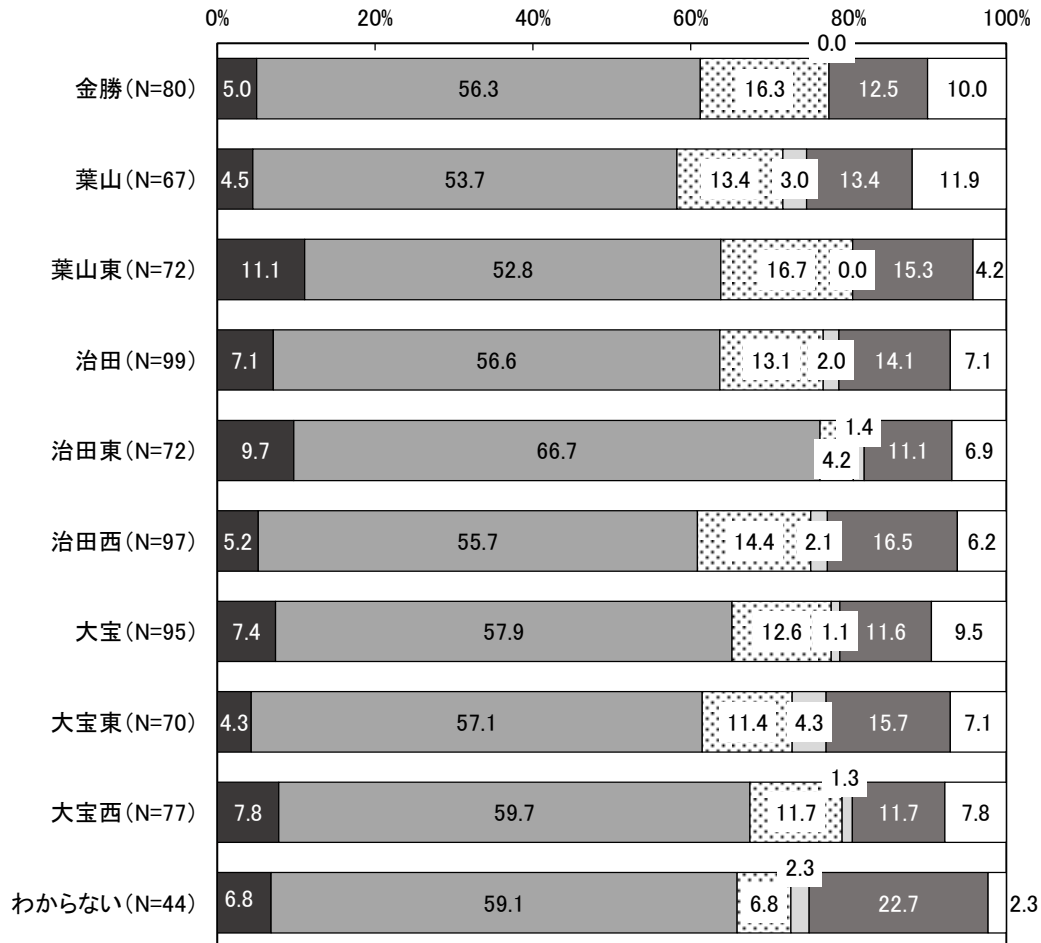
問 22 福祉を充実させていくうえで、行政と地域住民の関係についてどのように考えますか。(単数回答)

○福祉を充実させていくうえでの行政と地域住民の関係については、「地域の福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべきである」が56.4%と最も高く、次いで「わからない」が14.3%、「住民として地域の福祉活動に主体的に取り組む、その活動に対して行政は援助・協力すべきである」が11.8%となっています。

○いずれの校区でも、「地域の福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべき」という割合が高くなっていますが、特に「治田東」は66.7%と他校区よりも目立って高くなっています。

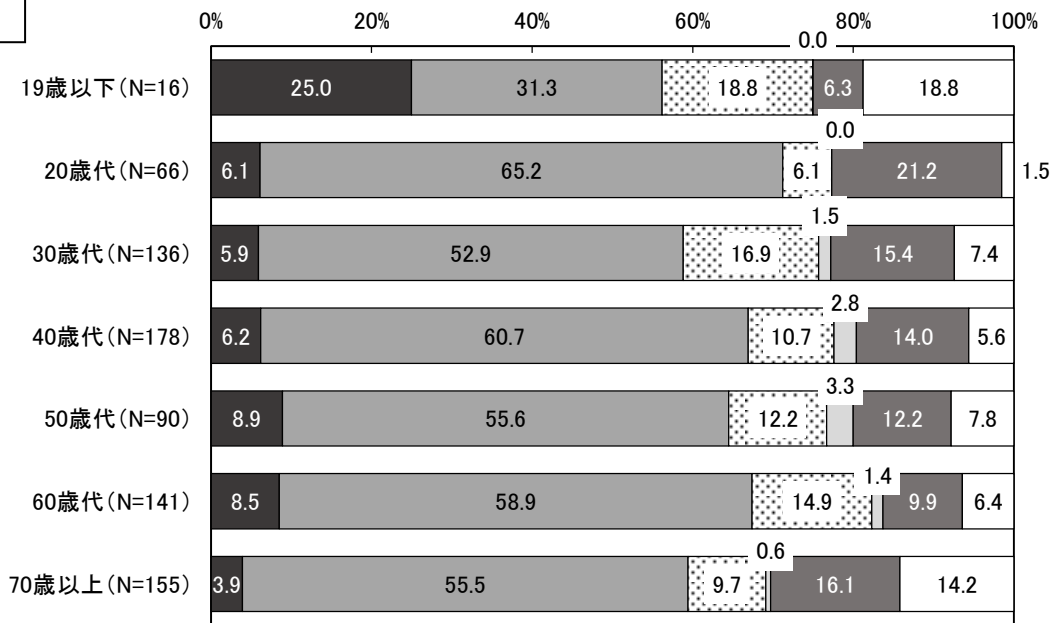


小学校区別



- 福祉を充実する責任は行政(国や県、市)にあるので、住民は特に協力することはない
- 地域の福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべきである
- 住民として地域の福祉活動に主体的に取り組み、その活動に対して行政は援助・協力すべきである
- その他
- わからない
- 不明・無回答

年代別

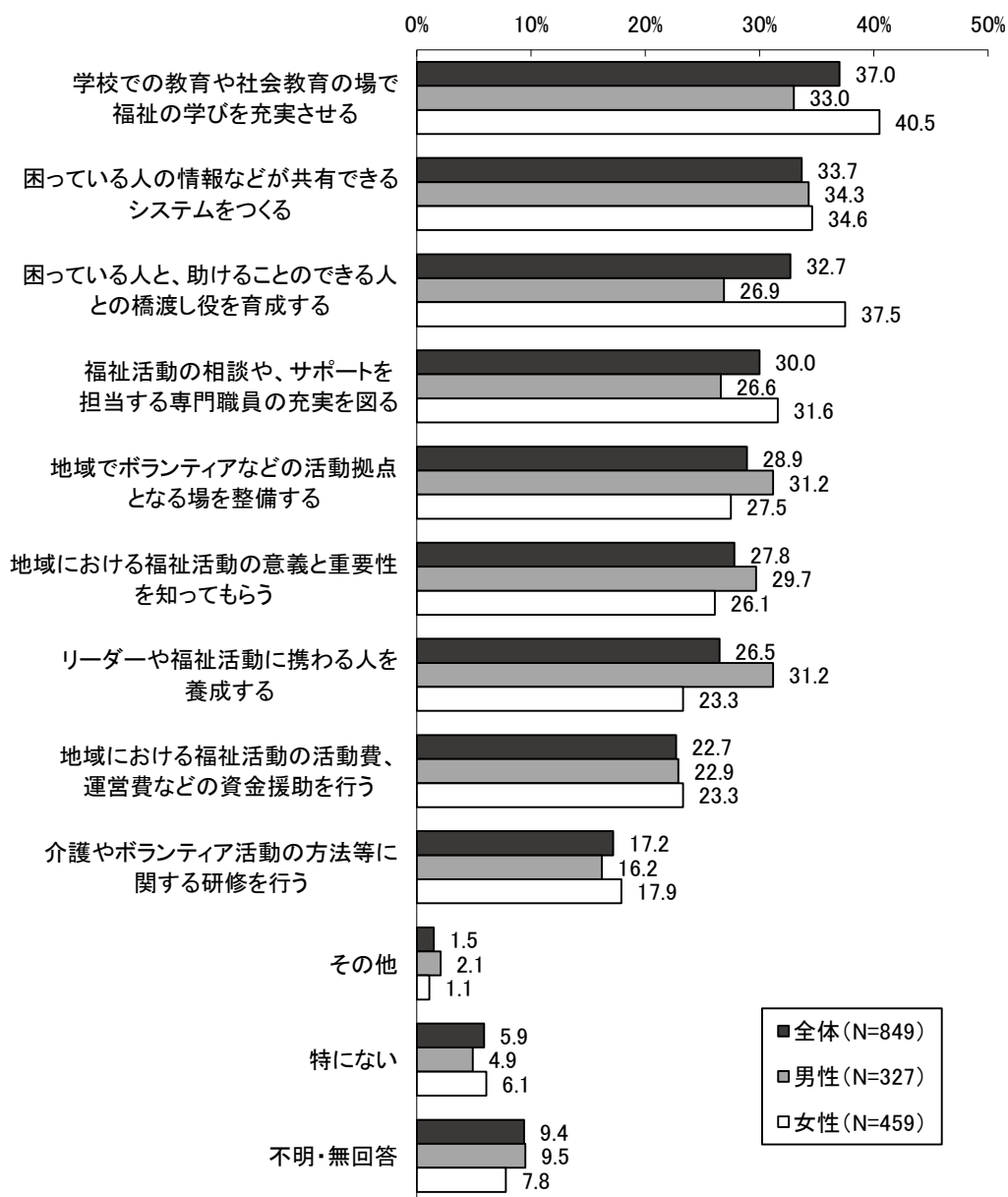


- 福祉を充実する責任は行政(国や県、市)にあるので、住民は特に協力することはない
- 地域の福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべきである
- 住民として地域の福祉活動に主体的に取り組む、その活動に対して行政は援助・協力すべきである
- その他
- わからない
- 不明・無回答

問 23 少子高齢化が進行するなかで、地域における助け合いを活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。（複数回答）

○地域における助け合いを活発にするために必要なことについては、「学校での教育や社会教育の場で福祉の学びを充実させる」が 37.0%と最も高く、次いで「困っている人の情報などが共有できるシステムをつくる」が 33.7%、「困っている人と、助けることができる人との橋渡し役を育成する」が 32.7%となっています。

○年代別では、30 歳代以下は「学校での教育や社会教育の場で福祉の学びを充実させる」が最も高くなっていますが、40～60 歳代は「困っている人の情報などが共有できるシステムをつくる」が高くなっています。70 歳以上は、「地域における福祉活動の意義と重要性を知ってもらう」が最も高くなっています。



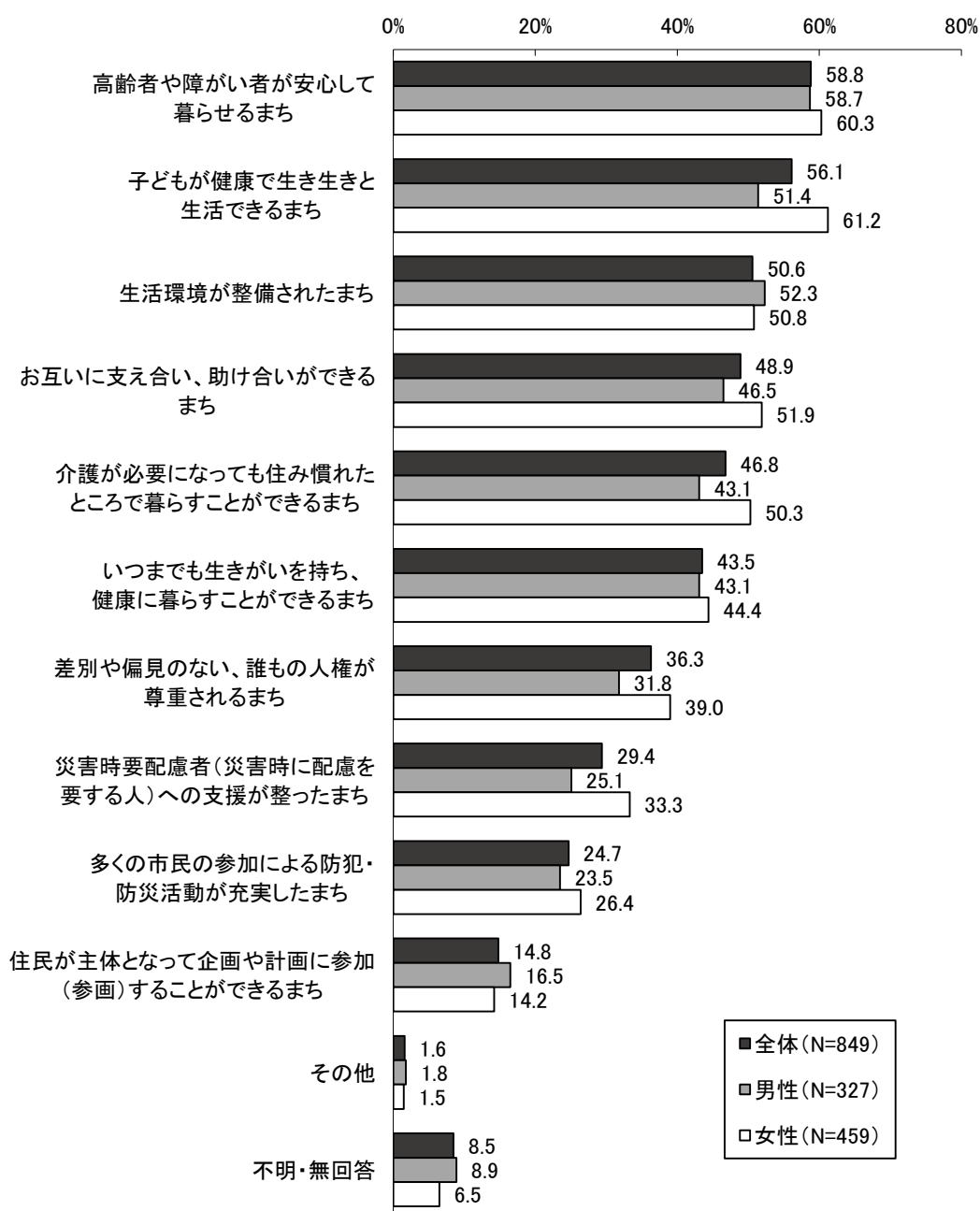
年代別			地域における福祉活動の意義と重要性を知ってもらう	地域でボランティアなどの活動拠点となる場を整備する	地域における福祉活動の活動費、運営費などの資金援助を行う	リーダーや福祉活動に携わる人を養成する	福祉活動の相談や、サポートを担当する専門職員の充実を図る	困っている人との橋渡し役を育成することができる人との	困っている人の情報などが共有できるシステムをつくる	介護やボランティア活動の方法等に関する研修を行う	学校での教育や社会教育の場で福祉の学びを充実させる	その他	特になし	不明・無回答
年代	19歳以下	(N=16)	18.8	31.3	18.8	18.8	6.3	18.8	18.8	18.8	43.8	0.0	0.0	18.8
	20歳代	(N=66)	33.3	21.2	15.2	21.2	24.2	33.3	37.9	18.2	53.0	6.1	6.1	1.5
	30歳代	(N=136)	29.4	30.1	22.8	20.6	34.6	34.6	36.8	12.5	49.3	0.0	2.9	8.1
	40歳代	(N=178)	23.6	30.3	27.0	24.2	30.9	37.6	41.0	16.3	37.1	0.6	6.2	5.6
	50歳代	(N=90)	21.1	31.1	33.3	21.1	28.9	31.1	36.7	18.9	31.1	2.2	2.2	8.9
	60歳代	(N=141)	24.8	31.2	19.9	36.2	31.9	31.9	36.9	20.6	33.3	2.1	5.7	7.1
	70歳以上	(N=155)	34.8	27.1	20.6	30.3	27.1	31.0	21.9	18.1	27.1	1.3	9.7	15.5

問24 栗東市をどのような「福祉のまち」にしたいですか。(複数回答)

○栗東市をどのような「福祉のまち」にしたいかについては、「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち」が58.8%と最も高く、次いで「子どもが健康で生き生きと生活できるまち」が56.1%、「生活環境が整備されたまち」が50.6%となっています。

○校区別でも、ほとんどの校区で「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち」の割合が最も高くなっていますが、「葉山東」と「治田」では「子どもが健康で生き生きと生活できるまち」が最も高くなっています。

○年代別では、40歳代以下は「子どもが健康で生き生きと生活できるまち」が最も高くなっていますが、50歳代以上は「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち」が最も高くなっています。

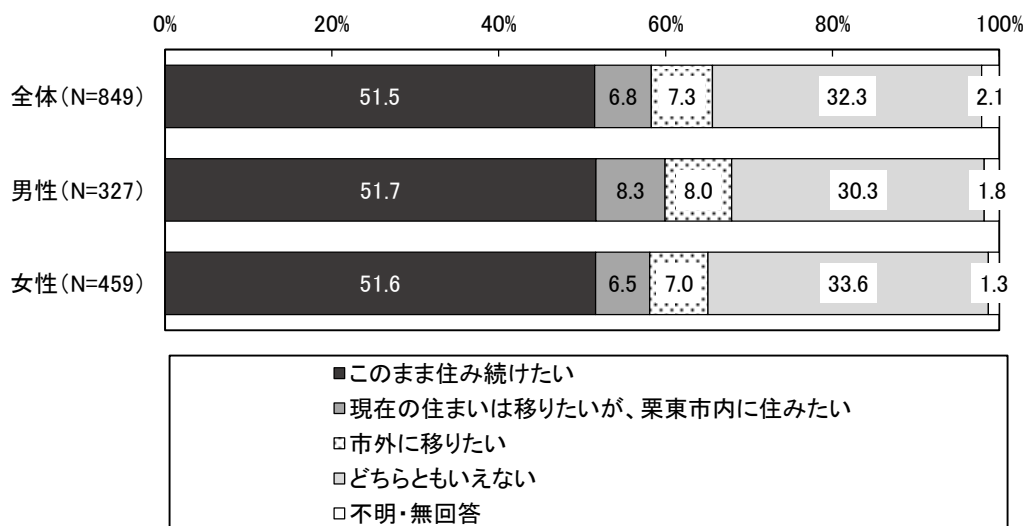


小学校区別 年代別			お互い ができる まち	お互い に支え 合い、 助け 合える まち	住民が 主体と なつて 企画 や計画 に参加 できる まち	生活環 境が整 備され たまち	差別や 偏見の ない、 誰も の権利 が尊重 される まち	子ども が健康 で生き 生きと 生活で きるま ち	高齢者 や障が い者が 安心し て暮ら せるま ち	介護が 必要に なつて も住 み慣れ たとこ ろで暮 らすこ とがで きるま ち	いつま でも生 きがい を持 ち、健 康に暮 らすこ とがで きるま ち
小学校区	金勝	(N=80)	52.5	20.0	47.5	35.0	47.5	60.0	41.3	38.8	
	葉山	(N=67)	49.3	11.9	43.3	37.3	52.2	64.2	50.7	50.7	
	葉山東	(N=72)	58.3	20.8	51.4	40.3	69.4	65.3	58.3	55.6	
	治田	(N=99)	45.5	15.2	44.4	38.4	60.6	60.6	50.5	42.4	
	治田東	(N=72)	52.8	12.5	51.4	37.5	50.0	56.9	54.2	45.8	
	治田西	(N=97)	48.5	14.4	51.5	28.9	53.6	60.8	39.2	39.2	
	大宝	(N=95)	50.5	10.5	54.7	40.0	67.4	58.9	43.2	44.2	
	大宝東	(N=70)	57.1	17.1	61.4	34.3	57.1	60.0	55.7	38.6	
	大宝西	(N=77)	42.9	14.3	59.7	36.4	59.7	67.5	49.4	44.2	
	わからない	(N=44)	40.9	15.9	54.5	36.4	56.8	34.1	29.5	45.5	
年代	19歳以下	(N=16)	37.5	6.3	37.5	25.0	62.5	43.8	31.3	31.3	
	20歳代	(N=66)	45.5	7.6	54.5	43.9	69.7	53.0	34.8	43.9	
	30歳代	(N=136)	52.2	14.7	58.1	34.6	66.9	51.5	38.2	44.1	
	40歳代	(N=178)	45.5	14.0	56.2	36.5	62.4	56.2	49.4	38.2	
	50歳代	(N=90)	42.2	17.8	47.8	38.9	48.9	55.6	42.2	48.9	
	60歳代	(N=141)	52.5	14.2	51.1	35.5	53.9	70.2	54.6	50.4	
	70歳以上	(N=155)	58.7	20.6	41.9	33.5	43.9	68.4	56.8	42.6	

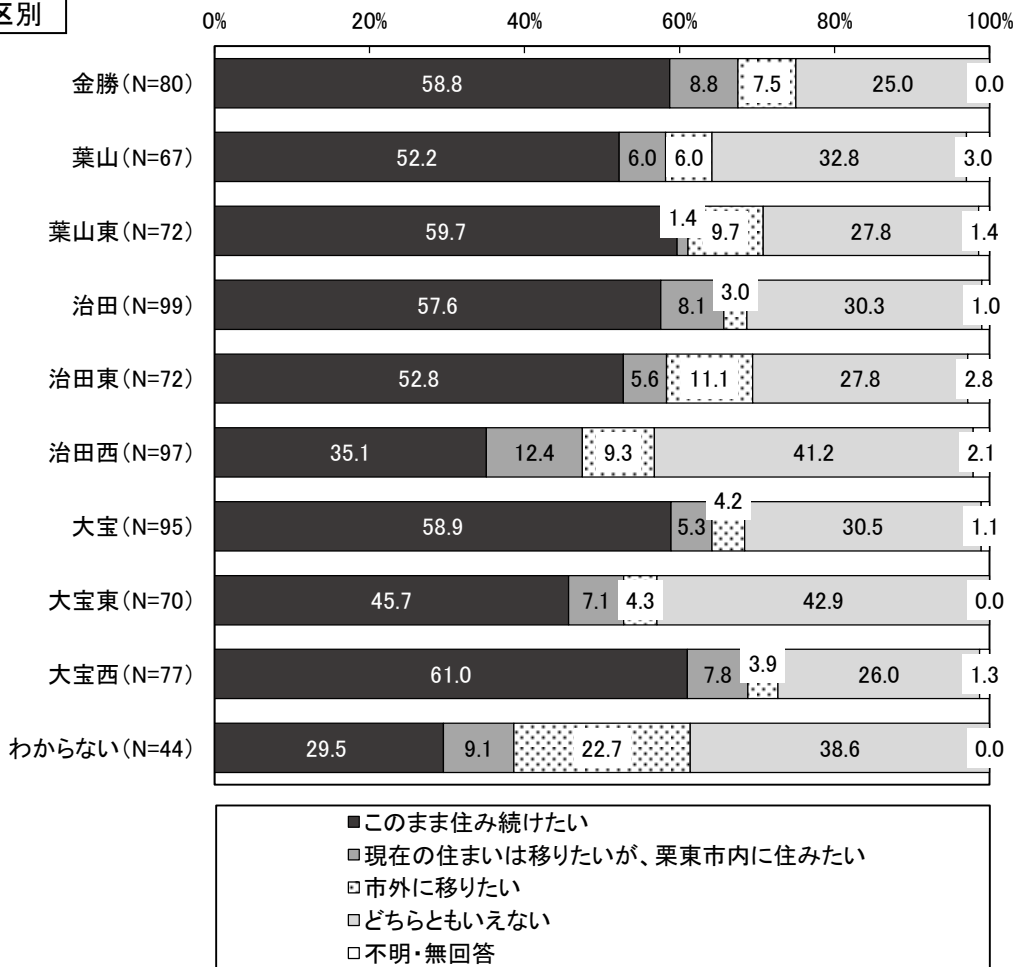
		支援が 必要と するま ち	災害時 の要 配慮者 への 対応	防犯・ 防犯活 動の充 実に よる	その他	不明・ 無回答
小学校区	金勝	26.3	30.0	1.3	11.3	
	葉山	32.8	22.4	1.5	9.0	
	葉山東	48.6	30.6	4.2	4.2	
	治田	30.3	30.3	2.0	5.1	
	治田東	34.7	27.8	0.0	9.7	
	治田西	27.8	23.7	1.0	7.2	
	大宝	21.1	20.0	3.2	5.3	
	大宝東	37.1	27.1	0.0	5.7	
	大宝西	22.1	20.8	2.6	10.4	
	わからない	22.7	18.2	0.0	2.3	
年代	19歳以下	12.5	0.0	0.0	18.8	
	20歳代	28.8	24.2	1.5	1.5	
	30歳代	25.7	27.2	0.0	7.4	
	40歳代	29.2	28.1	1.7	4.5	
	50歳代	36.7	22.2	2.2	8.9	
	60歳代	29.1	27.0	1.4	7.1	
	70歳以上	33.5	23.2	3.2	12.3	

問 25 これからも現在のところに住み続けますか。(単数回答)

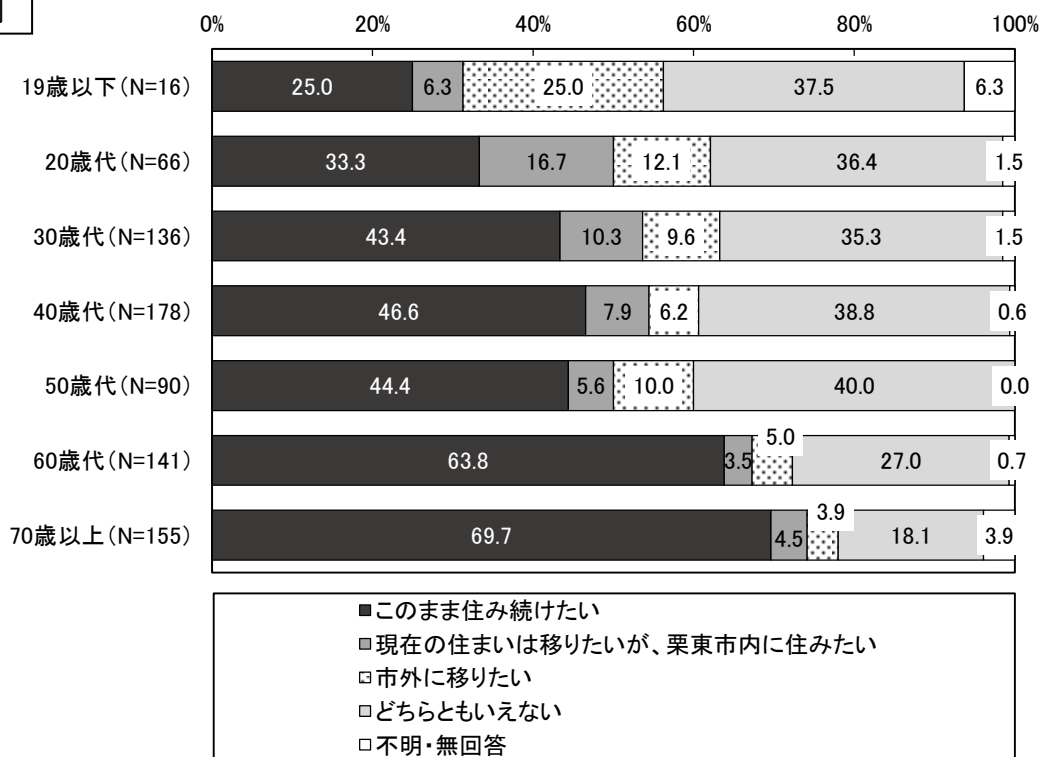
- 現在のところへの居住意向については、男女ともに「住み続けたい」が半数以上を占めています。
- 「このまま住み続けたい」という回答について、校区別では、「大宝西」が61.0%と最も高く、次いで「葉山東」、「大宝」の順になっています。最も低いのは、「治田西」の35.1%で、「現在の住まいは移りたいが、栗東市内に住みたい」という割合も9校区で最も高くなっています。
- 年代別では、70歳以上をはじめ、年代が高いほうが「このまま住み続けたい」の割合も高くなっており、「市外に移りたい」の割合が最も高いのは19歳以下の25.0%となっています。



小学校区別

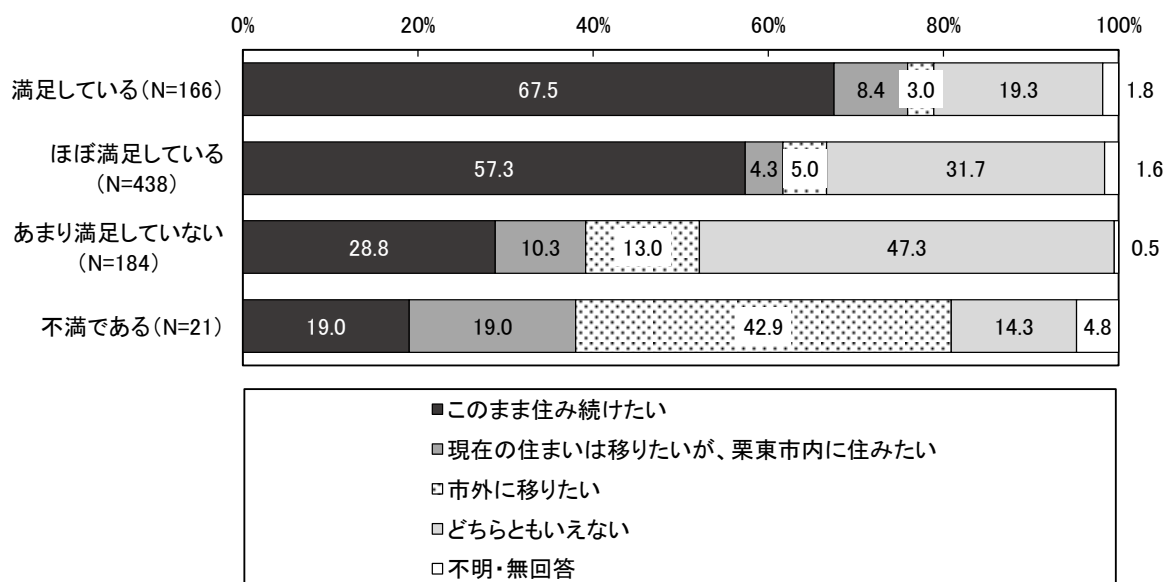


年代別



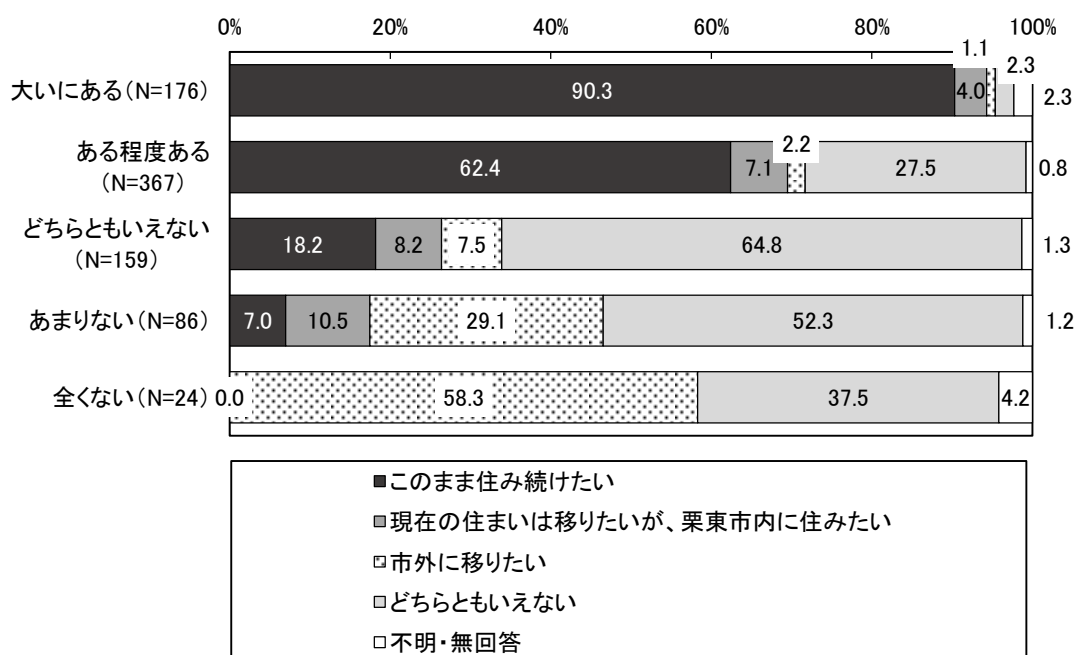
問 25 現在のところに住み続けるか×近所付き合いの満足度（単数回答）

○今後も現在のところに住み続けるかについては、ご近所付き合いに「満足している」と回答した方の67.5%が「このまま住み続けたい」と回答しています。ご近所付き合いに「不満である」と回答した方の42.9%が「市外に移りたい」と回答しています。



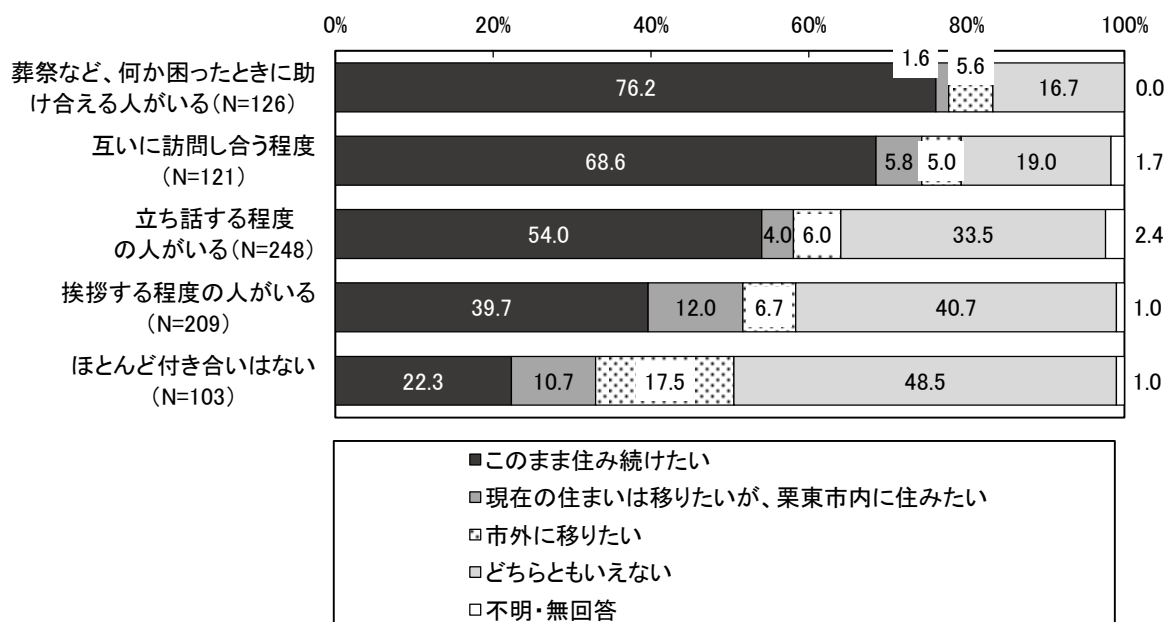
問 25 現在のところに住み続けるか×地域への愛着（単数回答）

○地域への愛着が「大いにある」と回答した方の90.3%、「ある程度ある」と回答した方の62.4%が「このまま住み続けたい」と回答しています。一方、地域への愛着が「あまりない」と回答した方の29.1%、「全くない」と回答した方の58.3%が、「市外に移りたい」と回答し、高い割合を示しています。



問 25 現在のところに住み続けるか×ご近所との関係（単数回答）

○現在のところに住み続けるかについて、ご近所との関係で「葬祭など、何か困ったときに助け合える人がある」と回答した方の 76.2%、「互いに訪問し合う程度の人がある」と回答した方の 68.6%が「このまま住み続けたい」と回答しています。ご近所との関係で「ほとんど付き合いはない」と回答した方の 17.5%が「市外に移りたい」と回答しています。



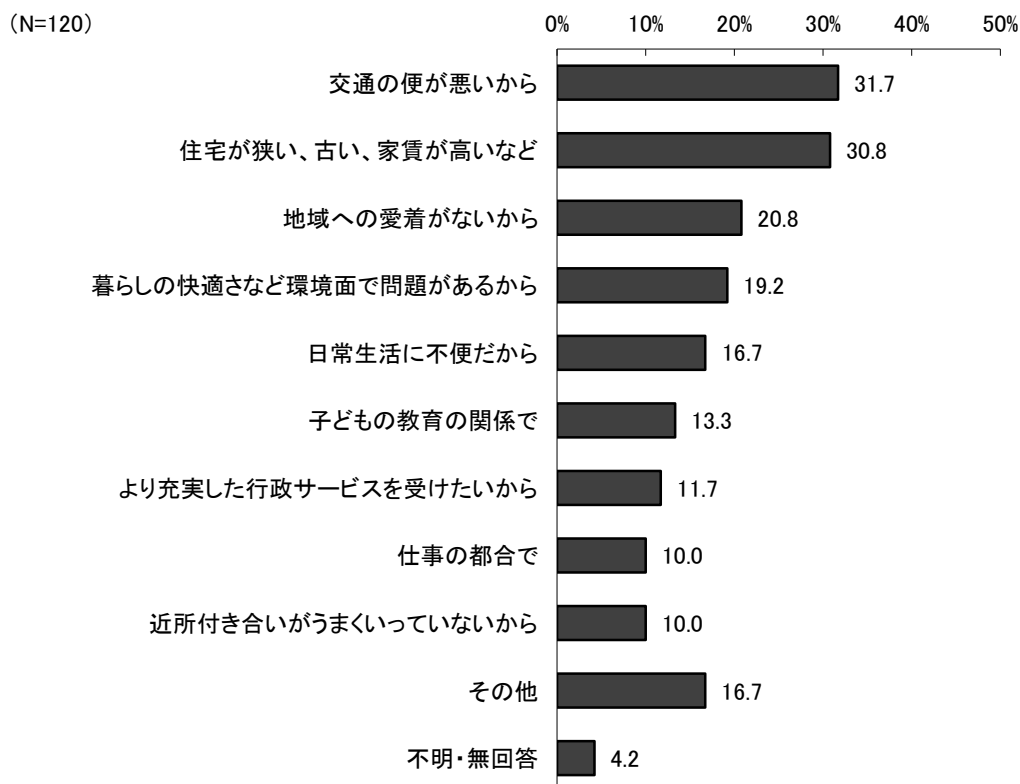
問 25 で「2」「3」（転出・転居したい）と回答した人

問 25-1 転出・転居したい理由は何ですか。（複数回答）

○転出・転居したい理由については、「交通の便が悪いから」が31.7%と最も高く、次いで「住宅が狭い、古い、家賃が高いなど」が30.8%、「地域への愛着がないから」が20.8%となっています。

○校区別では、「治田西」、「大宝東」、「大宝西」で「住宅が狭い、古い、家賃が高いなど」が最も高く、「金勝」、「葉山」、「大宝」では「交通の便が悪いから」の割合が最も高くなっています。

○年代別では、20～40歳代は「住宅が狭い、古い、家賃が高いなど」の割合が最も高く、60歳代以上では「交通の便が悪いから」の割合が最も高くなっています。



小学校区別 年代別		仕事の都合で	子どもの教育の関係で	近所付き合いがうまく いっていないから	日常生活に不便だから	暮らしの快適さなど環境 面で問題があるから	地域への愛着がないから	交通の便が悪いから	住宅が狭い、古い、家賃 が高いなど	より充実した行政サービス を受けたいから	その他	不明・無回答
小学校区	金勝 (N=13)	15.4	7.7	7.7	15.4	23.1	23.1	38.5	7.7	15.4	7.7	15.4
	葉山 (N=8)	12.5	12.5	12.5	25.0	25.0	50.0	50.0	12.5	12.5	25.0	12.5
	葉山東 (N=8)	0.0	12.5	37.5	62.5	0.0	12.5	50.0	25.0	12.5	12.5	0.0
	治田 (N=11)	0.0	0.0	9.1	18.2	9.1	18.2	27.3	36.4	0.0	18.2	9.1
	治田東 (N=12)	8.3	0.0	8.3	16.7	50.0	16.7	33.3	8.3	16.7	16.7	0.0
	治田西 (N=21)	9.5	9.5	4.8	9.5	14.3	23.8	23.8	38.1	4.8	23.8	0.0
	大宝 (N=9)	11.1	22.2	0.0	0.0	22.2	33.3	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1
	大宝東 (N=8)	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	75.0	12.5	25.0	0.0
	大宝西 (N=9)	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	22.2	22.2	66.7	22.2	11.1	0.0
	わからない (N=14)	21.4	50.0	21.4	28.6	35.7	21.4	35.7	28.6	7.1	7.1	0.0
年代	19歳以下 (N=5)	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	80.0	80.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	20歳代 (N=19)	21.1	15.8	0.0	15.8	26.3	15.8	15.8	47.4	5.3	26.3	0.0
	30歳代 (N=27)	18.5	29.6	11.1	18.5	11.1	11.1	29.6	44.4	11.1	11.1	0.0
	40歳代 (N=25)	8.0	16.0	20.0	12.0	16.0	20.0	32.0	32.0	12.0	16.0	8.0
	50歳代 (N=14)	7.1	0.0	7.1	21.4	21.4	28.6	21.4	28.6	0.0	42.9	0.0
	60歳代 (N=12)	0.0	0.0	8.3	8.3	25.0	41.7	50.0	16.7	8.3	0.0	8.3
	70歳以上 (N=13)	0.0	0.0	15.4	15.4	23.1	7.7	46.2	0.0	30.8	0.0	15.4

3. 調査結果のまとめ

1. 近所との関係・地域について

- 地域の行事への参加について、「ある」という回答は、「葉山東」、「大宝西」、「大宝」で高い割合となっています。
- 年代別では、60歳代が87.9%と最も高くなっています。19歳以下、20歳代が参加した活動は、「お祭り」や「子ども会活動」が高い割合となっており、子どもに家族で参加した経験を回答したと考えられます。30歳代以上は全体的に自治会活動が高い割合となっていますが、40歳代、50歳代は「PTA活動」や「子ども会活動」、70歳以上は「老人クラブ活動」という回答も多く、この世代がこれらの活動の主要な担い手となっていると考えられます。
- 小学校区別では、「治田西」、「治田」、「治田東」は「子ども会活動」への参加が多く、「大宝」は「PTA活動」、「治田」、「葉山東」は「お祭り」という回答の割合が高くなっています。
- 地域の活動に参加したことがない理由については、20歳代から60歳代は「時間的な余裕がない」という割合が高くなっていますが、70歳以上は「すべてに関心がない」、「人との関係をあまり持ちたくない」という割合が高く、孤独な様子がうかがえます。
- 地域への愛着（住み続けたいと思う）があるという回答は、小学校区別では「大宝西」、「大宝」で高く、年代別では50歳代以上、居住歴では「20年以上」で最も高くなっています。居住歴が「10～15年未満」、「1～5年未満」も地域への愛着があるという回答が多く、住み始めてから徐々に愛着が生まれている様子がうかがえます。近所付き合いの満足度とも密接なつながりがあり、近所との付き合いに「満足している」と回答した人の8割以上、「ほぼ満足している」と回答した人の7割以上が地域に愛着があると回答しています。
- 地域への愛着がある理由では、「安心して住める」、「地域の人と親しくしている」が高くなっています。「生まれ育ったまちだから」という回答では男性の割合が高くなっています。男性に比べて女性のほうが低いのは、ほかの地域から嫁いできたということが考えられます。
- 近所との関係について、「金勝」と「葉山東」では「葬祭など、何か困ったときに助け合える人がいる」の割合が高く、それ以外の地域では「立ち話をする程度」の割合が高くなっています。年代別では、30歳代以下は「挨拶する程度」、40歳代以上は「立ち話をする程度」の割合が高く、年代が低いほど近所付き合いが希薄になっている様子がうかがえます。
- 地域とのつながりが「ある」という回答については、「葉山東」で目立って高く、「金勝」、「葉山」、「大宝西」も比較的高くなっています。「あまりない」という回答は、「大宝東」、「治田西」で高くなっています。年代別では、70歳以上が「ある」という回答が多く、20歳代、30歳代では「あまりない」という割合が高くなっています。
- 地域とのつながりについて、地域への愛着が「大いにある」という回答した人の約6割が「ある」と回答しており、地域とのつながりと、地域への愛着が密接な関係があることが示されています。

2. 日常生活について

- 自分自身のことで不安（不満）に思っていることについては、「老後の介護に関すること」、「健康に関すること」が高い割合となっています。特に、40歳代以上で高い割合となっています。30歳代では「子育て・教育に関すること」が高い割合を示し、世代間の違いが浮き彫りになっています。
- 住んでいる地域で不安（不満）に思っていることについては、「公共交通機関の整備」が最も高く、小学校区別では「金勝」、「葉山」、「葉山東」で高い割合となっています。年代別では、50歳代と70歳以上で高くなっています。一方、全体的には「不安（不満）はない」という回答の割合も高くなっています。
- 困ったときの相談相手としては、「家族」という回答が8割以上を占めています。次いで、「友人・知人」も高い割合を示し、特に19歳以下では9割以上となっています。60歳代、70歳以上では、「医療機関」や「市役所」という回答もやや多くなっています。

3. ボランティア活動について

- 福祉への関心については、70歳以上の21.3%が「非常に関心がある」と回答し、高い割合となっています。「どちらかといえば関心がある」を合わせると、50歳代以上では7割以上が関心があると回答しています。
- ボランティア活動をしているという割合は全体で18.6%となっており、していないという回答の77.5%を大きく下回っています。小学校区別では、「葉山東」、「金勝」、「治田東」でしているという回答が多く、「葉山東」と「金勝」の活動内容は「環境関係」が多くなっています。
- 年代別では、ボランティア活動をしている割合は60歳代以上で高く、19歳以下と30歳代では低くなっています。地域とのつながりが「ある」と回答した人の36.6%がボランティア活動をしていると回答しています。地域とのつながりが「あまりない」と回答した人でボランティア活動をしていると回答したのは、10.0%となっています。
- ボランティア活動の内容については、男性は「環境関係」、「防災・防犯関係」の割合が高く、女性は「福祉関係」、「教育関係」の割合が高くなっています。活動場所については、男性は「自治会内」、女性は「市内」の割合が高くなっており、男女の違いが浮き彫りになっています。
- ボランティア活動に参加しない理由については、41.3%が「時間がない」と回答し、60歳代以下では最も多い理由となっています。「参加したいが、どうしたらよいかわからない」という回答も全体で20.5%を占め、特に20歳代では35.2%、60歳代で26.3%が回答し、高い割合を示しています。

4. 災害への備えについて

- 災害への備えについては、災害時の避難場所を知っているという人は7割以上と高くなっていますが、地域の防災活動に参加している人は27.0%、自主防災組織に入っている人は21.0%と低くなっています。
- 小学校区別では、「葉山東」と「金勝」で、防災活動への参加や自主防災組織に入っているという割合が、ほかの地域と比べて高くなっています。
- 年代別では、60歳代以上が防災活動に参加している割合が高く、20歳代では低くなっています。
- 避難場所を知っているという回答が多いのは、小学校区別では「治田東」、「大宝西」、「大宝東」で、年代別では19歳以下と50歳代となっています。19歳以下で多いのは、学校などで学んだためと考えられます。一方、「金勝」、「治田西」では、約2割が知らないと回答しています。
- 災害時に自力で避難が困難な人を知っているという回答が多いのは、「金勝」、「大宝西」、「葉山東」で、問8の地域とのつながりが「あると思う」という回答が多かった校区と合致しています。災害時に避難の手助けができるという回答が多かったのも、「金勝」、「大宝西」となっています。
- 自力で避難が困難な人知らないという回答が多いのは、「大宝東」、「治田西」で、問8で地域とのつながりが「あまりない」という回答が多かった地域と重なります。
- 災害時に自力で避難が困難な人を知っているという割合は60歳代以上で高くなっていますが、手助けができるという割合が高かったのは、19歳以下、50歳代、60歳代の順になっています。70歳以上では、手助けが必要という回答は25.0%ですが、手助けができるという回答も36.8%となっています。
- 避難行動要支援者登録制度については、「知らない」という回答が71.3%を占め、「制度名も内容も知っている」の割合は10.7%となっています。家族に高齢や障がいにより配慮が必要な人がいる人のうちでも、53.7%が「知らない」と回答し、「制度名も内容も知っている」という回答は19.0%となっています。
- 要支援者から避難支援者として登録するよう依頼された場合について、28.9%が「自分のことで精一杯で引き受けることができない」と回答し、「引き受ける」の17.2%を上回っています。小学校区別で「引き受ける」という割合が他地域より高いのは「金勝」で、25.0%が「引き受ける」と回答しています。

5. 福祉のまちづくりについて

- 生活困窮の問題や支援制度について、約8割が「必要な制度だと思う」と回答しています。問14で「福祉に非常に関心がある」と回答した人の20.2%が「身近な人が問題に直面しており、必要な制度だと思う」と回答しています。「福祉に関心がない」と回答した人では、「身近な人が問題に直面しており、必要な制度だと思う」という回答は8.2%となっています。
- 介護予防・日常生活支援総合事業について、56.9%が「知らない」と回答しています。「知らない」と回答しているのは、30歳代、20歳代が多くを占めています。70歳以上は、26.5%が「知っている」、29.0%が「聞いたことはある」と回答し、年代が高いほど認知度は高くなっています。
- 高齢者を支えるためにできることについては、男性は「見守り活動」、女性は「高齢者の話し相手」、「ふれあい・交流の場づくり」が多くなっています。
- 福祉を充実させていくうえでの行政と地域住民の関係については、すべての地域、年代で「地域の福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべきである」が高い割合を示しています。特に、小学校区別では、「治田東」、年代別では20歳代が高くなっています。
- 地域での助け合いを活発にするために重要なことについては、男性は「困っている人の情報などが共有できるシステムをつくる」、「地域でボランティアなどの活動拠点となる場を整備する」、「リーダーや福祉活動に携わる人を養成する」が高くなっていますが、女性は「学校での教育や社会教育の場で福祉の学びを充実させる」、「困っている人と、助けることのできる人との橋渡し役を育成する」が高くなっています。
- 栗東市のまちの理想像について、全体的には「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち」が高い割合となっています。年代別では、50歳代以上でその割合が高くなっていますが、40歳代以下では「子どもが生き生きと暮らせるまち」の割合が高くなっています。
- これからも現在のところに住み続けたいという回答の割合が高い地域は、「大宝西」、「葉山東」、「大宝」、「金勝」となっています。問2のご近所との付き合いについて「満足している」という回答が多かった地域や、問8の地域とのつながりが「あると思う」という回答が多かった地域とほぼ重なります。また、問4の地域に愛着があると回答した人の9割が「これからも住み続けたい」と回答しています。問6のご近所との関係について、「葬祭など何か困ったときに助け合える人がいる」と回答した人の76.2%、「互いに訪問し合う程度の人がいる」と回答した人の68.6%が「住み続けたい」と回答しています。
- 「市外に移りたい」という割合が最も高いのは、小学校区別では「治田東」、年代別では19歳以下となっています。
- 転居したい理由について、全体では「交通の便が悪いから」の割合が最も高く、次いで「住宅が狭い、古い、家賃が高いなど」となっています。「交通の便が悪いから」の割合が高いのは、小学校区別では、「葉山」、「葉山東」、「金勝」などとなっています。「住宅が狭い、古い、家賃が高いなど」の割合が高いのは、「大宝東」、「大宝西」、「治田西」となっています。年代別では、20~40歳代で「住宅が狭い、古い、家賃が高い」という回答が多く、子育て世代の住居事情がうかがえます。

4. 調査結果から見える課題

- 地域活動への参加割合は全体的に高くなっていますが、若い世代の参加率は低く、どのように参加率を高めていくかが課題になっています。地域活動への参加については、地域とのつながりがあると思うと回答した方の参加率は高くなっていますが、若い世代では地域とのつながりがあると思うという回答も低くなっています。若い世代が興味を持てる活動を通じて、地域とのつながりを深めていく取り組みが必要です。
- ボランティア活動についても、30歳代以下の参加が低くなっています。ボランティア活動に参加しない理由について、「参加したいがどうしたらよいかわからない」という回答が2割程度を占め、特に20歳代で35.2%とほかの年代と比べて高くなっています。ボランティア活動を活発にするために栗東市が取り組むべきことについて、20～30歳代の回答では、「情報提供」や「コーディネート機能の充実」が高い割合となっていることから、参加したいがどうしたらよいかわからないという若い世代に対する効果的なアプローチが求められます。
- 災害時に自力で避難が困難な人を知っている割合が高いのは、地域とのつながりがあると回答した地域と重なっています。避難行動要支援者から避難支援者として登録するように依頼された場合、「引き受ける」と回答した割合が高い地域も同様に重なっており、災害対策の面からも地域とのつながりを深める取り組みが求められます。
- 避難行動要支援者登録制度については、家族に高齢や障がいなどで配慮が必要な人がいると回答した人の中でも、53.7%が知らないと回答しており、一層の周知が必要です。
- 介護予防・日常生活支援総合事業については、年代が低いほど知らない割合が高く、若い世代への周知が必要です。地域で生活する高齢者を支えるためにできることでは、男性や20～40歳代の若い世代は「見守り活動」という回答が多く、女性や50歳代以上では「高齢者の話し相手」や「ふれあい・交流の場づくり」の割合が高く、性別や年代に応じた支援のあり方が求められます。
- 地域活動に参加したことがないと回答した70歳以上の方の理由について、「人との関係をあまり持ちたくないから」が21.4%、「すべてに関心がないから」が25.0%とほかの年代よりも高くなっています。ボランティア活動についても、参加していない70歳以上の方の理由で最も多い回答は「参加したくない」で、孤独な高齢者の姿が浮かび上がってきます。一方で、70歳以上の25.8%がボランティア活動をしていると回答しており、60歳代の次に高い割合になっています。二極化が進むなかで、高齢者の孤立化を防ぐ取り組みが求められます。

調査票

第3期栗東市地域福祉計画策定のための アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には日ごろから福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。

栗東市では、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりをめざしています。そこで、市民、関係機関、団体等と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みをつくるために「第3期栗東市地域福祉計画（平成30～34年度予定）」の策定を行います。

このアンケート調査は、18歳以上の市民2,000人の方々を無作為に選び、皆様の福祉に対する考え、地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きすることで、今後策定する地域福祉計画に反映していきたいと考えております。

また、このアンケート調査に際しまして、あなた個人のお名前や回答の内容が公表されることはありません。プライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年1月 栗東市

ご記入にあたってのお願い

- この調査票は、お名前・ご住所をご記入いただく必要はありません。
- ご記入は、ご本人にお願いいたします。ご本人のご記入が困難な場合は、ご家族などがご本人のお考えをお聞きの上、またはご意向を汲み取って、代理でご記入をお願いいたします。
- お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容をご記入ください。
- 本調査の結果は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ございません。思いのままをお答えいただきますようお願い申し上げます。
- ご記入いただいた調査票は、1月23日（月）までに、同封の封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

栗東市役所 社会福祉課

電話：077-551-0118（直通）

FAX：077-553-3678

はじめにお読みください・・・

地域福祉って、なに？

地域の誰もが自分らしく、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、限られた人に対する支援だけではなく、地域の絆を大切に、市民同士で助け合い、支え合うことが必要です。

地域のさまざまな構成員が自発的に「自分に何ができるか」を考え、行動できる地域をつくっていく取り組みや仕組みづくりを「地域福祉」といいます。

近年は、孤立死や空き家の増加、ひきこもりや虐待といった社会的課題が生じており、制度化されたサービスだけでは対応しきれない問題もあります。社会の変化のなかで、誰もがこのような福祉課題に直面する恐れがあります。「誰かの課題はみんなの課題」との意識を持ち、地域における助け合い・支え合いについて考えていく必要があります。



栗東市がめざしている“地域福祉”の「基本目標」

パートナーシップによる地域づくり

その実現のためには！

地域のことや、日ごろ感じる生活の課題などを一番よく知っている、地域の皆様の参加と協力が不可欠です。

市民参加の一環として、アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

地域との関わりについておたずねします。

問1 あなたは地域の活動や行事に参加したことがありますか。(ひとつに○)

1 ある

2 ない

問1で「1 ある」と回答した方におたずねします。

問1-1 それは、どのような活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 自治会の行事

6 防犯・防災活動

11 葬式の手伝い

2 老人クラブ活動

7 教育・子育てに関する行事

12 ボランティア活動

3 子ども会活動

8 スポーツ関係

13 その他の各種団体活動

4 PTA活動

9 趣味・娯楽の活動

14 その他

5 交通安全活動

10 お祭り

()

問1で「2 ない」と回答した方におたずねします。

問1-2 それは、どのような理由ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 興味のある行事、イベントがないから

5 時間的な余裕がないから

2 人との関係をあまり持ちたくないから

6 知らない人ばかりで参加しにくいから

3 情報が入りにくいから

7 すべてに関心がないから

4 地域の情報は必要ないから

8 その他 ()

問2 あなたは、今のご近所との付き合いに満足(普段から協力や助け合える関係が築けているなど)していますか。(ひとつに○)

1 満足している

3 あまり満足していない

2 ほぼ満足している

4 不満である

問3 あなたの考える「地域」の範囲をお答えください。(ひとつに○)

1 となり、近所という範囲

4 中学校区という範囲

2 自治会という範囲

5 栗東市全体という範囲

3 小学校区という範囲

6 その他 ()

問4 あなたは、今住んでいる地域に愛着(住み続けたいと思うなど)がありますか。(ひとつに○)

1 大いにある

4 あまりない

2 ある程度ある

5 全くない

3 どちらともいえない

問4で「1 大いにある」、「2 ある程度ある」と回答した方におたずねします。

問4-1 愛着があると感じるのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 生まれ育ったまちだから | 4 自然などの環境がよいから |
| 2 親・兄弟など家族がいるから | 5 安心して住めるから |
| 3 地域の人と親しくしているから | 6 その他 () |

問4で「3 どちらともいえない」、「4 あまりない」、「5 全くない」と回答した方におたずねします。

問4-2 愛着がない、どちらともいえないと感じるのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 生まれ育ったまちではないから | 4 自然などの環境がよくないから |
| 2 親・兄弟など家族が近くにいないから | 5 安心して住めないから |
| 3 地域の人と親しくしていないから | 6 その他 () |

問5 地域住民が安心して暮らせるためにあなた自身ができると考えられることは何ですか。

※小学校区程度の範囲でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 見守り・声かけ運動 | 7 寄付や募金 |
| 2 環境美化活動 | 8 話し相手 |
| 3 災害など緊急時の救助活動 | 9 福祉への関心を持つ |
| 4 各種ボランティア活動 | 10 情報提供 |
| 5 地域行事への参加 | 11 その他 () |
| 6 家事支援 | |

問6 あなたと、ご近所の人との関係は次のどれに近いですか。(ひとつに○)

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1 葬祭など、何か困ったときに助け合える人がいる | |
| 2 互いに訪問し合う程度の人がいる | 5 ほとんど付き合いはない |
| 3 立ち話する程度の人がいる | 6 その他 () |
| 4 挨拶する程度の人がいる | |



問7 あなたが、暮らしのなかで、隣近所で手助けしてほしいことはありますか。

また、あなたが、隣近所で手助けできると考えられることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

手助けしてほしいこと	<ul style="list-style-type: none">1 相談事の相手になる2 買い物や近くまでの外出などに付き合う・手伝う3 子どもを預かったり、公園での遊びの見守りなどをする4 ひとり暮らしの高齢者、障がい者などの見守りをする5 簡単な家の修理や掃除、庭の草刈りなどを手伝う6 病気など緊急時に看病したり医者を呼ぶなど手助けをする7 地震などの災害時に地域の防災組織として安否確認などをする8 その他 ()9 今はない
手助けできること	<ul style="list-style-type: none">1 相談事の相手になる2 買い物や近くまでの外出などに付き合う・手伝う3 子どもを預かったり、公園での遊びの見守りなどをする4 ひとり暮らしの高齢者、障がい者などの見守りをする5 簡単な家の修理や掃除、庭の草刈りなどを手伝う6 病気など緊急時に看病したり医者を呼ぶなど手助けをする7 地震などの災害時に地域の防災組織として安否確認などをする8 その他 ()9 特にない

問8 あなたは、自分が地域とのつながりがあると思いますか。(ひとつに○)

- 1 あると思う
- 2 あまりないと思う
- 3 わからない

問9 あなたが現在住んでいる地域のよいところはどんなところだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

<ul style="list-style-type: none">1 お互いが協力し合うなど住民間のコミュニケーションがとれている2 地域の活動が活発である3 自然が多くまちなみが美しい4 歴史や伝統文化を感じることができる5 昔から守ってきた祭りなどがある6 買い物など日常生活が便利である7 公共施設が整備されている8 京阪神方面などに出るのに交通が便利である9 公共施設や交通機関などのバリアフリー（段差をなくしたり、スロープを付けたりなど）が進んでいる10 病院や診療所などの医療機関が身近にある11 その他 ()12 よいところはない

問10 栗東市内では、小学校区ごとに地域振興協議会があり、さまざまな地域活動に取り組んでいます。あなたは参加されたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 役員として参加(参画)したことがある
- 2 学区運動会・球技大会など体育部会の催し
- 3 学区敬老会や福祉に関する講演会・ボランティア活動など、福祉部会等の催し
- 4 生活環境美化活動やごみの減量化に関する研修など、生活環境部会等の催し
- 5 交通安全や防災・防犯など、交通(生活)安全部会等の催し
- 6 人権・同和問題講演会など、社会同和教育部会等の催し
- 7 子育て講演会やこども110番・パトロールなど、青少年育成部会等の催し
- 8 各学区コミュニティセンターを主会場に催されるふれあいフェスティバル(祭り)など
- 9 男女共同参画セミナーや手づくり講座など各種研修会
- 10 その他()
- 11 さまざまな催しがあることは知っているが、参加したことがない
- 12 地域振興協議会を知らない

日常生活の課題についておたずねします。

問11 あなたが、自分自身のことによって現在、不安(不満)に思っていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 老後の介護に関すること | 6 子育て・教育に関すること |
| 2 健康に関すること | 7 地震などの災害時における防災体制 |
| 3 家族のこと | 8 その他() |
| 4 住宅、生活環境のこと | 9 不安(不満)はない |
| 5 仕事のこと | |

問12 あなたが、住んでいる地域のなかで不安(不満)に感じていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1 近所の人との人間関係 | 7 医療機関の充実 |
| 2 相談体制の整備 | 8 福祉サービスの充実 |
| 3 住宅・生活環境 | 9 その他() |
| 4 公共交通機関の整備 | 10 不安(不満)はない |
| 5 教育施設の整備 | |
| 6 商業・娯楽施設の充実(スーパー、コンビニなど) | |



問13 あなた自身がさまざまな場面で困ったとき、誰に相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|---------------------|
| 1 家族 | 9 民生委員・児童委員 |
| 2 友人・知人 | 10 ケアマネジャー |
| 3 職場の同僚・上司 | 11 福祉施設・福祉専門機関 |
| 4 学校(園)の先生 | 12 弁護士 |
| 5 自治会・隣近所 | 13 その他() |
| 6 市役所 | 14 どこに相談したらよいかわからない |
| 7 医療機関 | 15 相談する人がいない |
| 8 社会福祉協議会 | |

ボランティア活動についておたずねします。

問14 あなたは、福祉に関心をお持ちですか。(ひとつに○)

- | | |
|-----------------|---------|
| 1 非常に関心がある | 3 関心がない |
| 2 どちらかといえば関心がある | |

問15 あなたは、市内・市外を問わずボランティア活動をしていますか。(ひとつに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問15で「1 はい」と回答した方におたずねします。

問15-1-1 それは、どのような方面の活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1 福祉関係(例:障がい児・者、高齢者の支援など) | 6 文化関係(例:文化や芸術を伝える活動など) |
| 2 環境関係(例:環境美化活動など) | 7 国際交流関係(例:通訳、ガイドなど) |
| 3 防災・防犯関係(例:自衛消防団など) | 8 その他() |
| 4 教育関係(例:学習支援、学校での活動など) | |
| 5 青少年関係(例:スポーツの指導、非行防止パトロールなど) | |

問15-1-2 それの、主な活動場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1 自治会内 | 5 市外(県内) |
| 2 小学校区内 | 6 県外 |
| 3 中学校区内 | 7 その他() |
| 4 市内 | |

問15で「2 いいえ」と回答した方におたずねします。

問15-2 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1 参加したいが時間がない | 3 参加したくない |
| 2 参加したいが、どうしたらよいかわからない | 4 その他() |

地域における福祉のあり方についておたずねします。

(生活困窮者支援制度の創設、介護保険制度の改正に関して)

※生活困窮者支援制度について

国では生活困窮者の自立支援策の強化を図るため、平成27年4月から生活困窮者自立支援制度がスタートしました。

制度では、自立支援に向けた相談、住居の確保支援、就労支援、生活支援、学習支援等、多様な支援が地域の参加協力のもとに期待されています。

問 20 あなたは生活困窮の問題や支援制度について、どう思われますか。(ひとつに○)

- 1 自分や自分の身近な人が問題に直面しており、必要な制度だと思う
- 2 自分の身近に問題に直面している人はいないが、必要な制度だと思う
- 3 必要のない制度だと思う
- 4 生活困窮の問題や制度に関心がない
- 5 その他 ()

問 20 で「1」、「2」と回答した方におたずねします。

問 20-1 あなたは生活困窮の問題や支援制度について、具体的にどのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 就労支援 (求職活動、就労に必要な能力の形成への支援)
- 2 生活支援 (生活再建のための貸付や、家計管理など生活力を高めるための支援)
- 3 学習支援 (生活困窮家庭の子どもたちの学習支援や進学支援など)
- 4 その他 ()

※介護保険制度の改正について

平成27年4月の介護保険法改正により、介護予防サービスの一部が、市町村が主体となる「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行し、住民の参画と、地域の支え合いのなかで充実していくことが求められています。

問 21 あなたは、介護予防・日常生活支援総合事業を知っていますか。(ひとつに○)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

問 21 で「1」と回答した方におたずねします。

問 21-1 地域で生活する高齢者を支えるために、あなたはどのようなことができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 ふれあい・交流の場づくり
- 2 体操・運動等を行う日中活動の場の提供
- 3 ごみ出しや買い物等の生活支援
- 4 高齢者の話し相手
- 5 見守り活動
- 6 その他 ()
- 7 できることはない

福祉のまちづくりについておたずねします。

問22 あなたは、福祉を充実させていくうえで、行政と地域住民の関係についてどのように考えますか。(最も近い考え方ひとつに○)

- 1 福祉を充実する責任は行政（国や県、市）にあるので、住民は特に協力することはない
- 2 地域の福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべきである
- 3 住民として地域の福祉活動に主体的に取り組み、その活動に対して行政は援助・協力すべきである
- 4 その他（具体的に _____)
- 5 わからない

問23 少子高齢化が進行するなかで、地域における助け合いを活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 地域における福祉活動の意義と重要性を知ってもらう
- 2 地域でボランティアなどの活動拠点となる場を整備する
- 3 地域における福祉活動の活動費、運営費などの資金援助を行う
- 4 リーダーや福祉活動に携わる人を養成する
- 5 福祉活動の相談や、サポートを担当する専門職員の充実を図る
- 6 困っている人と、助けることのできる人との橋渡し役を育成する
- 7 困っている人の情報などが共有できるシステムをつくる
- 8 介護やボランティア活動の方法等に関する研修を行う
- 9 学校での教育や社会教育の場で福祉の学びを充実させる
- 10 その他
- 11 特にない

問24 あなたは、栗東市をどのような「福祉のまち」にしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 お互いに支え合い、助け合いができるまち
- 2 住民が主体となって企画や計画に参加（参画）することができるまち
- 3 生活環境が整備されたまち
- 4 差別や偏見のない、誰もの人権が尊重されるまち
- 5 子どもが健康で生き生きと生活できるまち
- 6 高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち
- 7 介護が必要になっても住み慣れたところで暮らすことができるまち
- 8 いつまでも生きがいを持ち、健康に暮らすことができるまち
- 9 災害時要配慮者（災害時に配慮を要する人）への支援が整ったまち
- 10 多くの市民の参加による防犯・防災活動が充実したまち
- 11 その他（ _____)

「第3期栗東市地域福祉計画」策定に関する意識調査
結果報告書

編集・発行：栗東市役所 社会福祉課

住所：〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号

TEL：077-551-0118 FAX：077-553-3678